

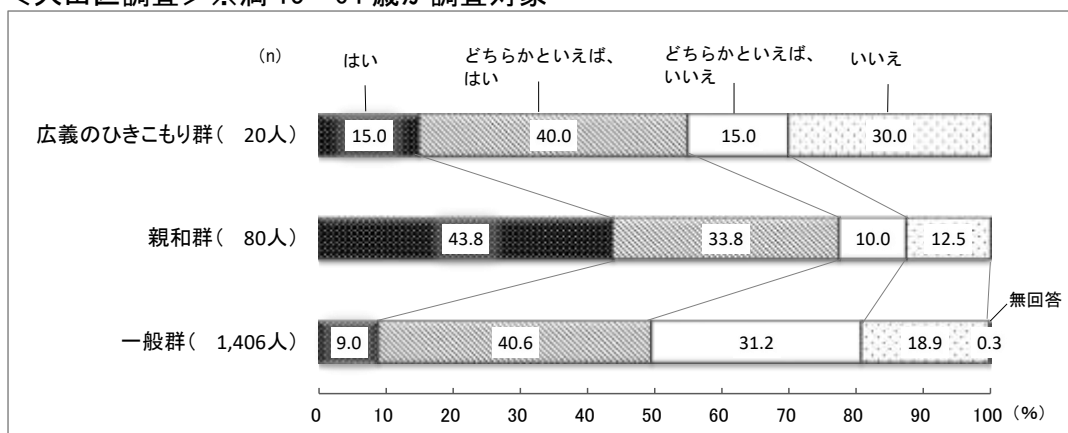
■ ふだんの意識や態度について

Q38 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

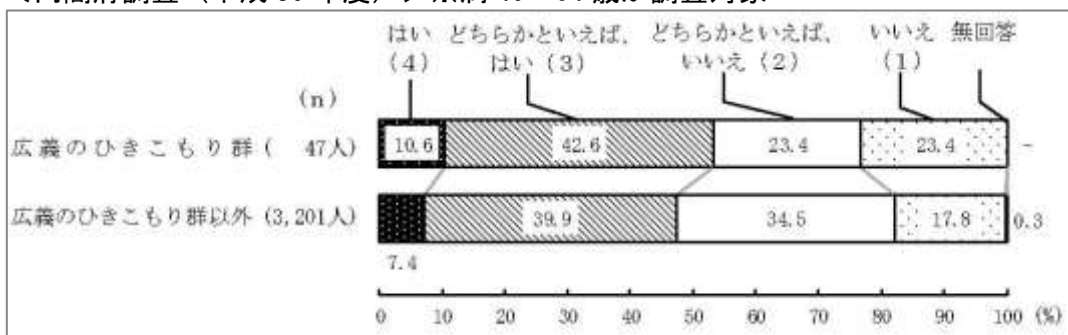
(1) 自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺する

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が40.0%、「いいえ」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査(平成30・27年度)のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査(平成30年度)と比べて大きな差はみられない。

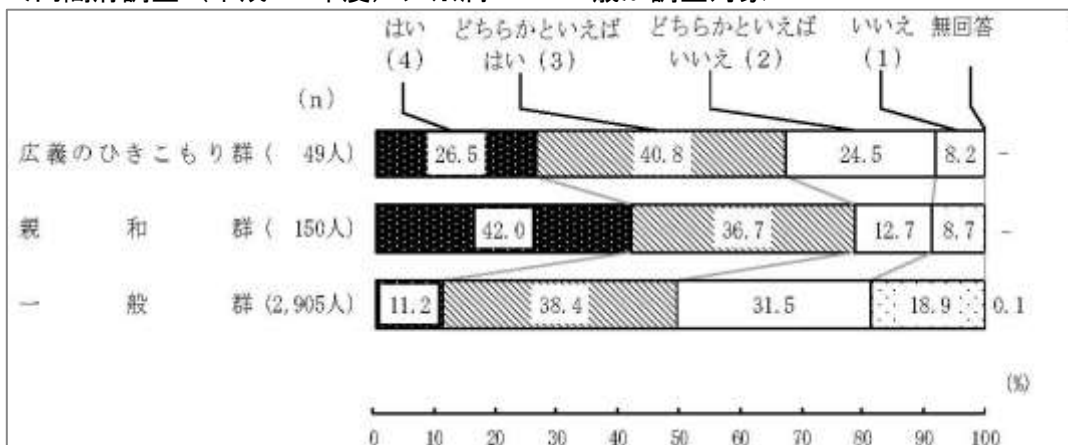
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査(平成30年度)> ※満40~64歳が調査対象



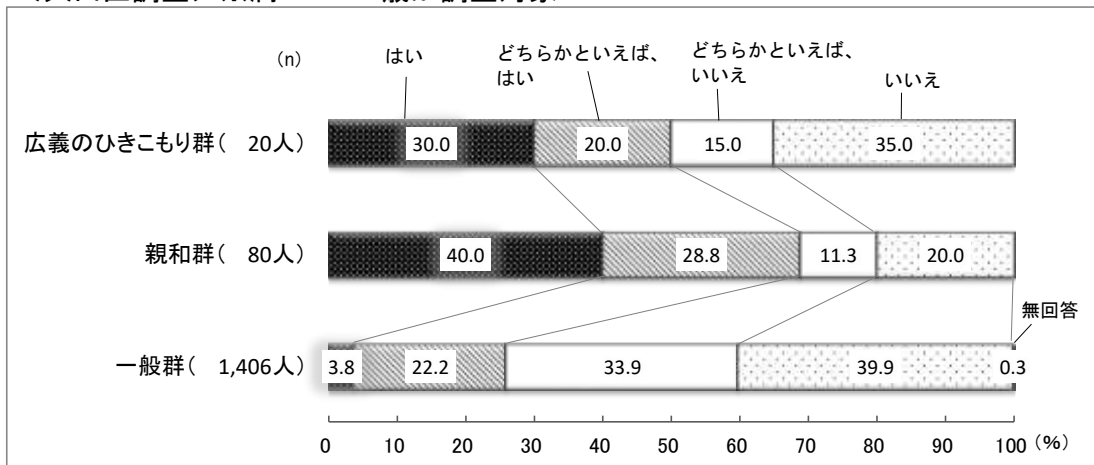
<内閣府調査(平成27年度)> ※満15~39歳が調査対象



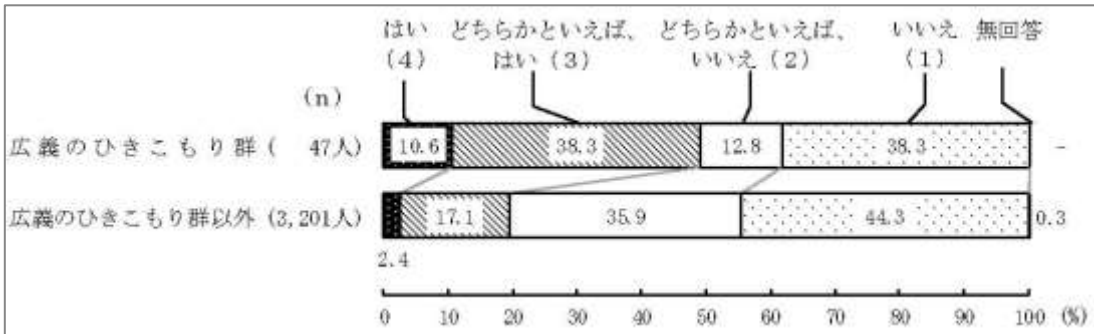
(2) 人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりはしないかと不安になる

- 大田区のひきこもり群は「いいえ」が35.0%、「はい」が30.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」「いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- 大田区、内閣府調査（平成30・27年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。一方、一般群と比べると「はい」の割合が高く、対人緊張や不安が強い傾向にある。

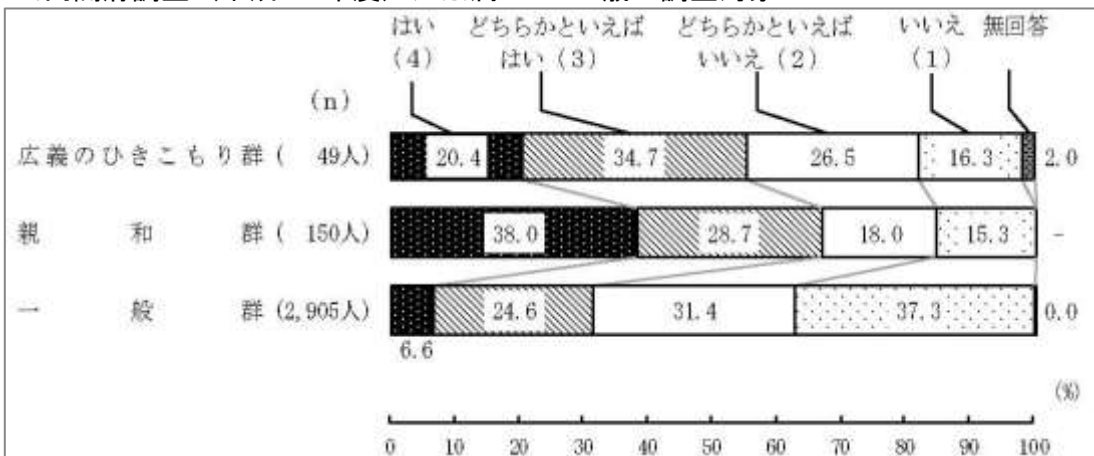
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



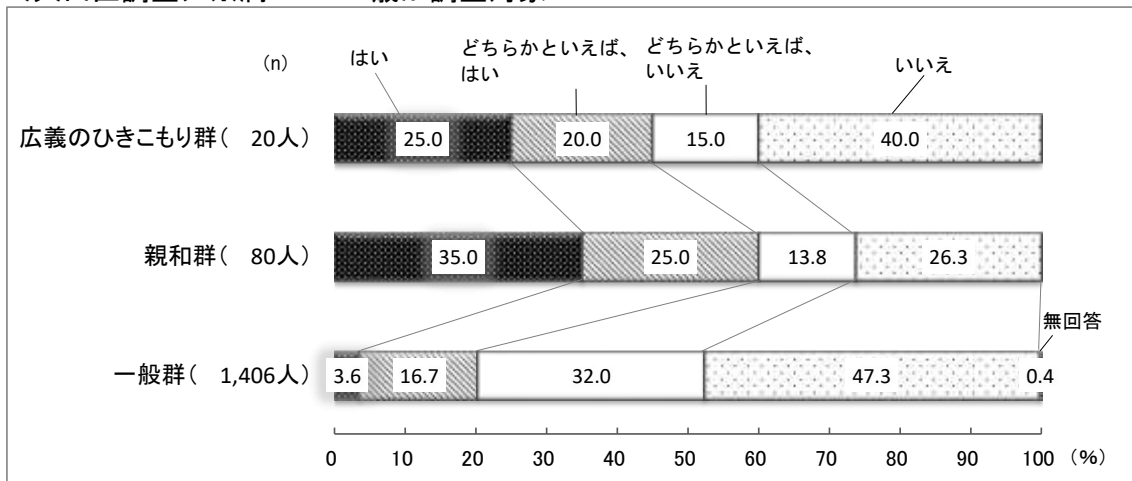
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象



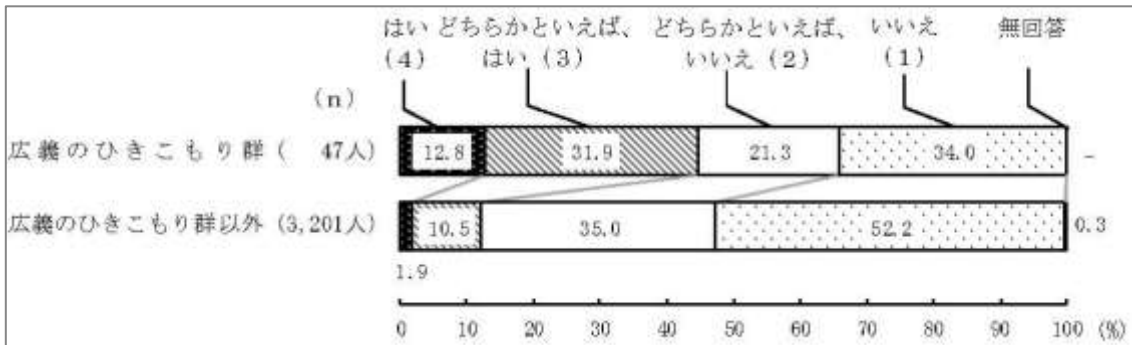
(3) 周りの人に自分が変な人に思われているのではないかと不安になる

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が40.0%、「はい」が25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区、内閣府調査（平成30・27年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。一方、一般群と比べると「はい」の割合が高く、対人緊張や不安が強い傾向にある。

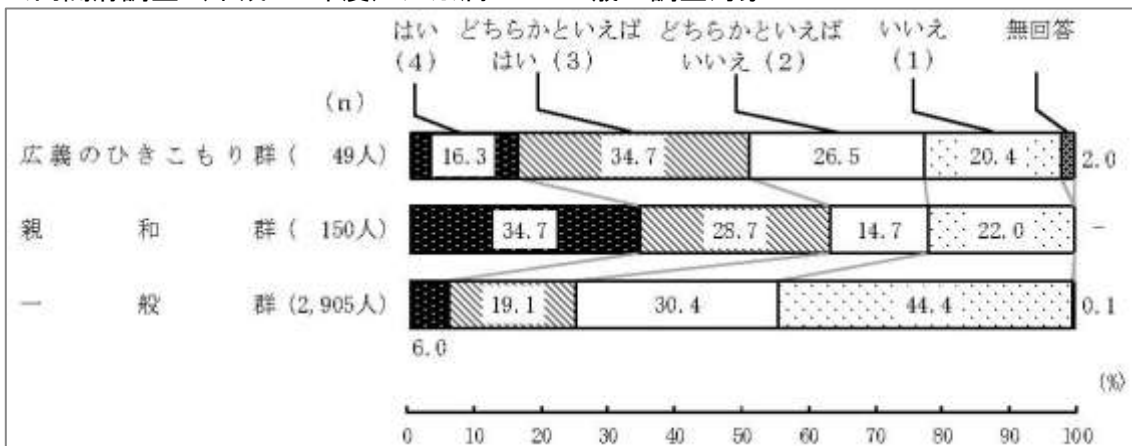
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



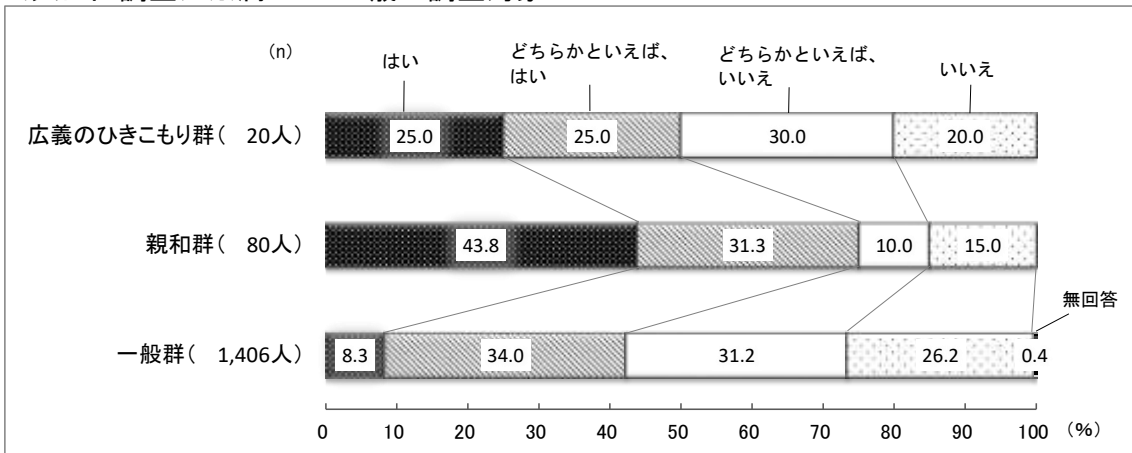
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



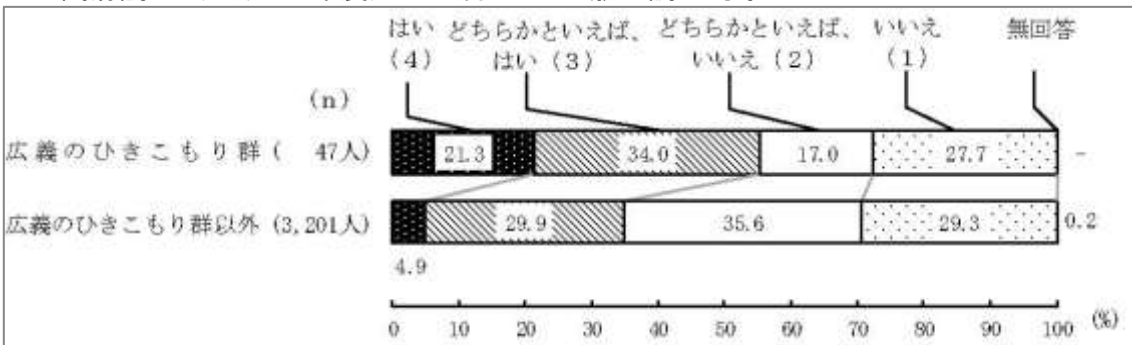
(4) 他人から間違いや欠点を指摘されると、憂うつな気分が続く

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」が 30.0%、「はい」「どちらかといえば、はい」がそれぞれ 25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 30 年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が、内閣府調査（平成 27 年度）では「どちらかといえば、いいえ」の割合が高い。
- ・大田区、内閣府調査（平成 30・27 年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。

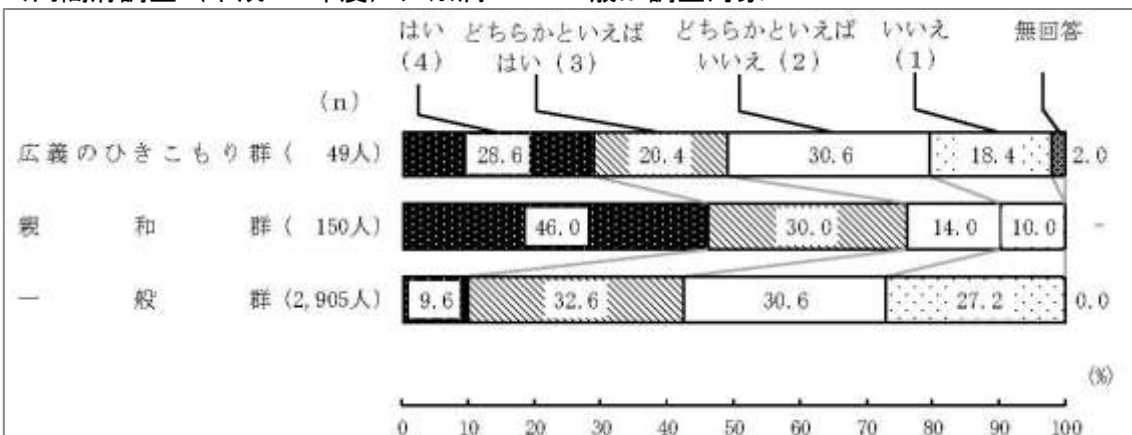
＜大田区調査＞※満 15～64 歳が調査対象



＜内閣府調査（平成 30 年度）＞※満 40～64 歳が調査対象



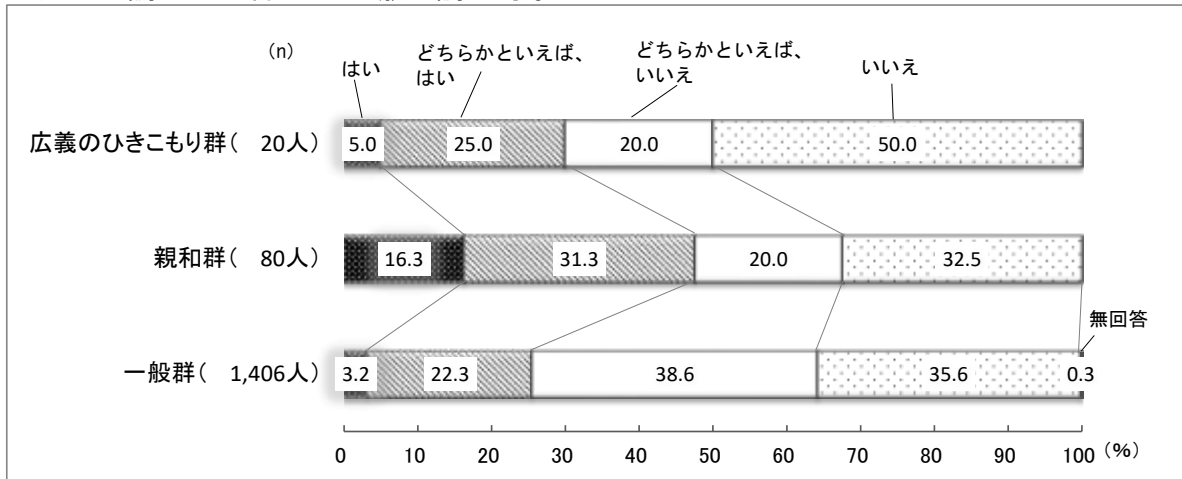
＜内閣府調査（平成 27 年度）＞※満 15～39 歳が調査対象



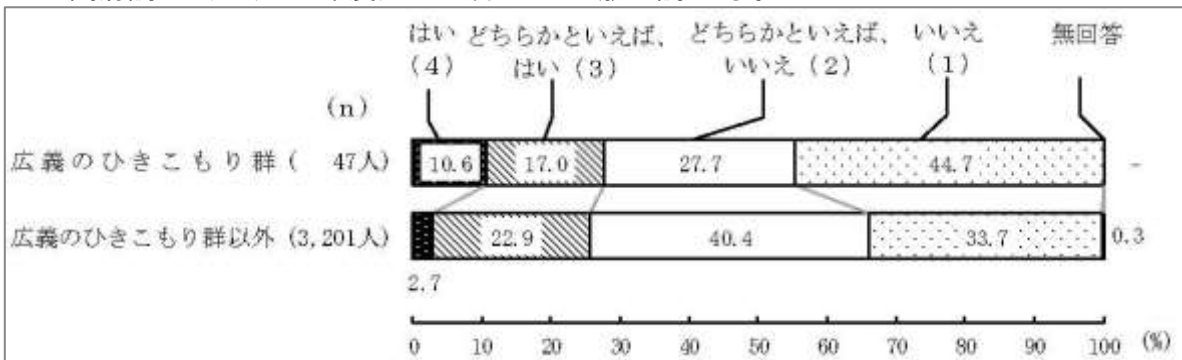
(5) 大事なことを決めるときは、家族や目上の人の言うことに従わないと不安だ

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が50.0%、「どちらかといえば、はい」が25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「いいえ」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられない。

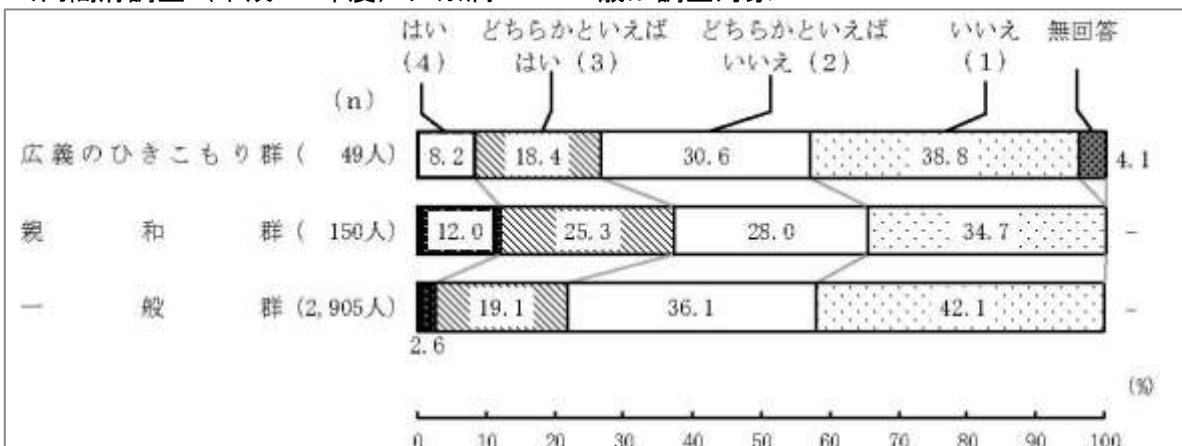
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



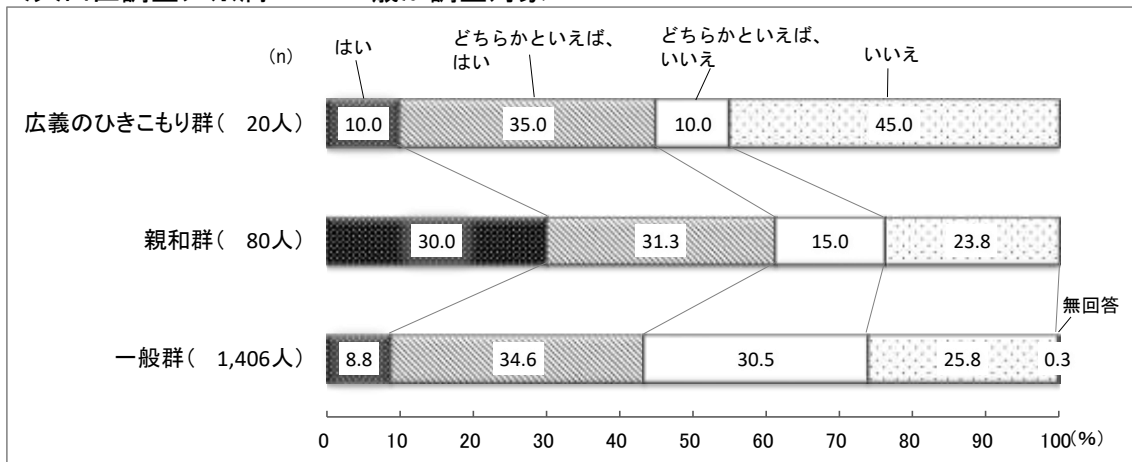
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



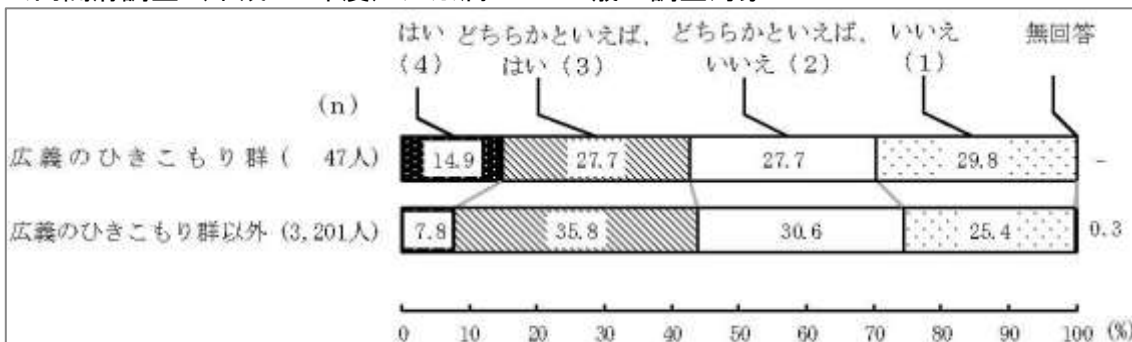
(6) 大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が45.0%、「どちらかといえば、はい」が35.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「どちらかといえば、いいえ」の割合が高い。
- ・大田区、内閣府調査（平成30・27年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。

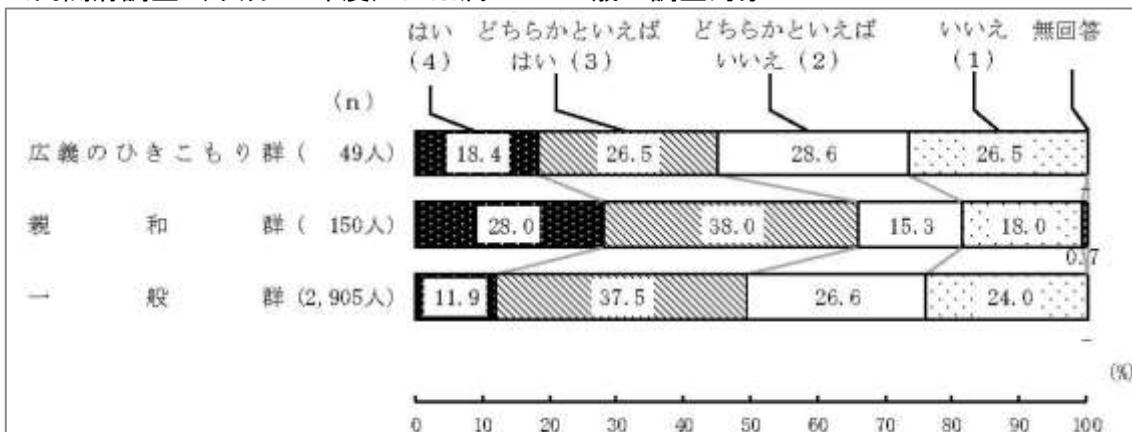
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



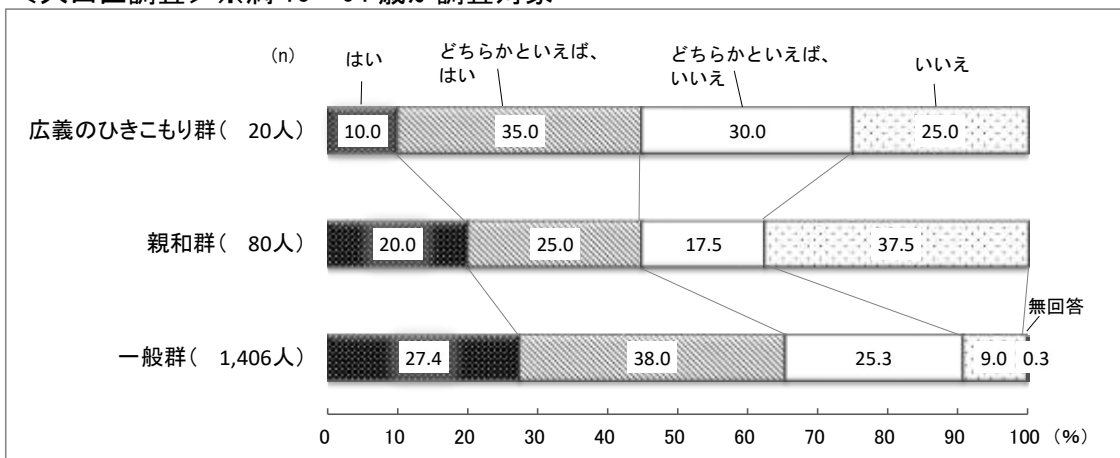
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



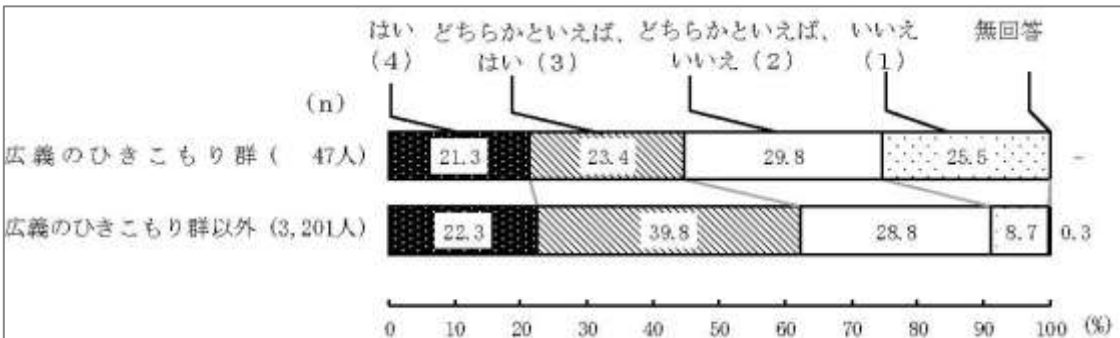
(7) 初対面の人とすぐに会話できる自信がある

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が35.0%、「どちらかといえば、いいえ」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「いいえ」の割合が高い。
- ・大田区では、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、内閣府調査（平成30年度）と比べて大きな差はみられない。一方、一般群と比べると「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」の割合が高く、対人関係を築くことを苦手と感じていることがうかがえる。

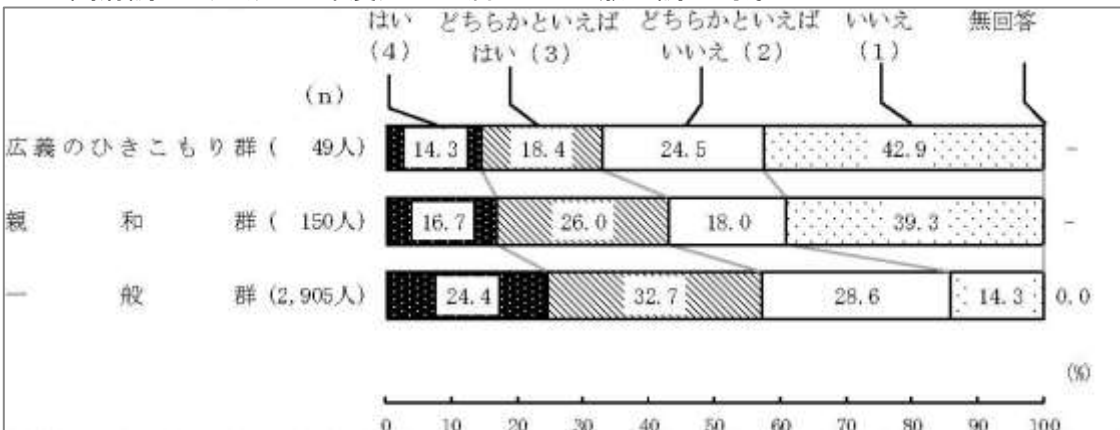
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



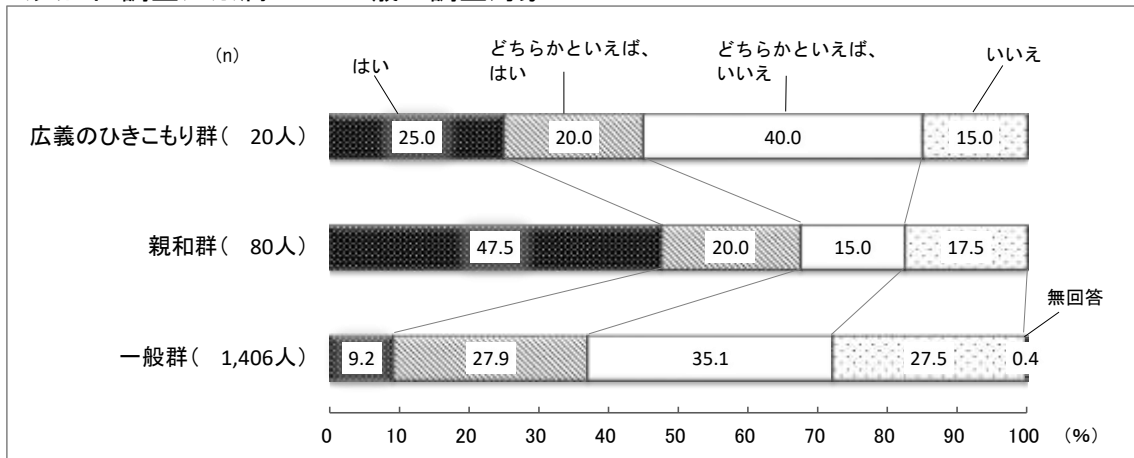
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象



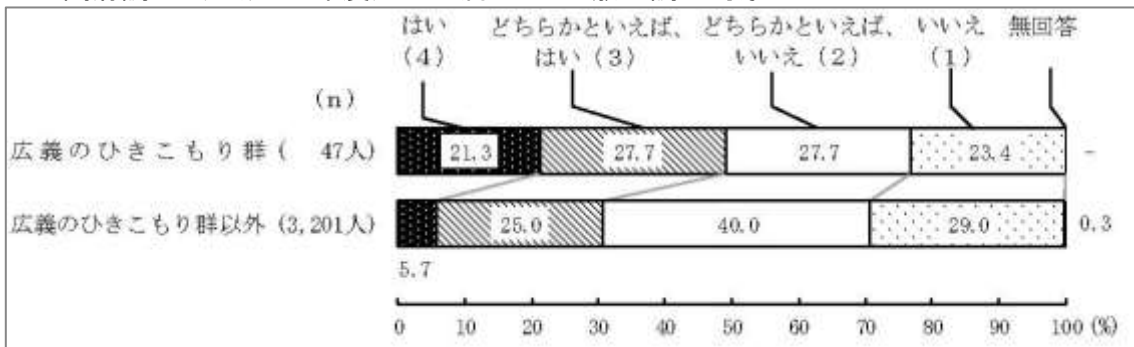
(8) 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」が40.0%、「はい」が25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」「どちらかといえば、いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「はい」の割合が高い。
- ・大田区、内閣府調査（平成30・27年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。一方、一般群と比べると「はい」の割合が高く、対人関係に悩みやすい傾向にある。

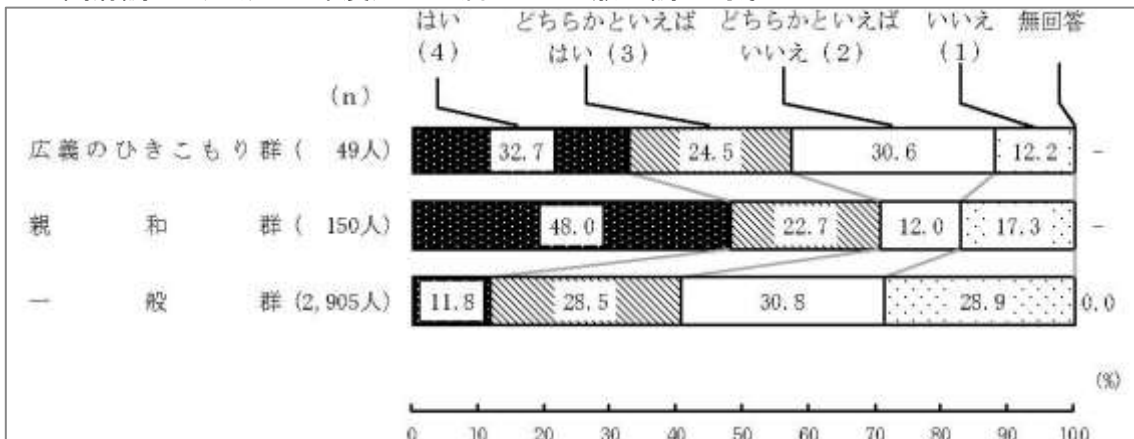
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



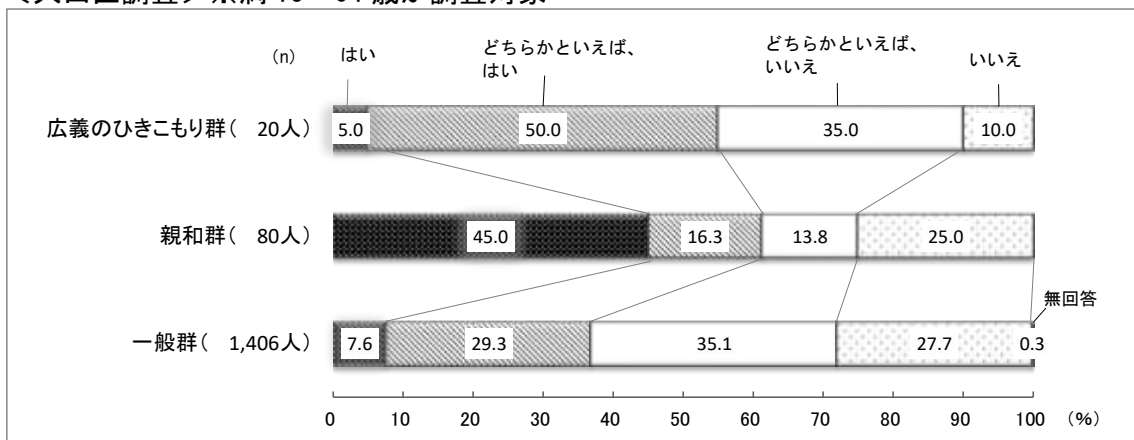
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



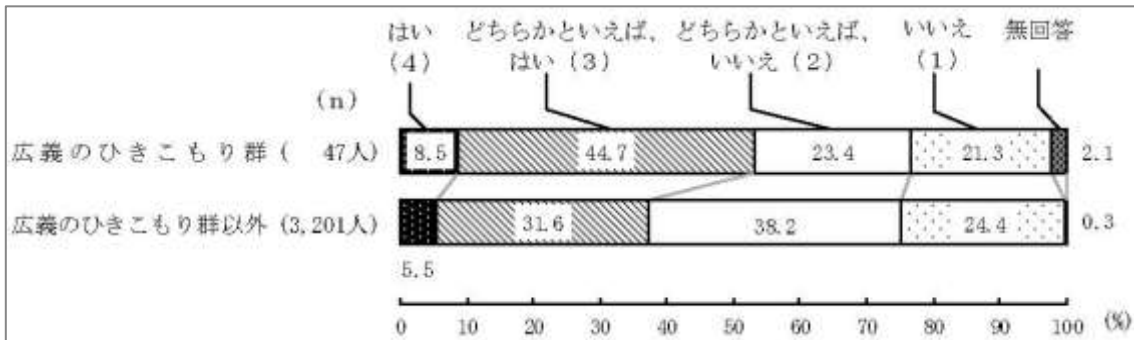
(9) 自分の感情を表に出すのが苦手だ

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が50.0%、「どちらかといえば、いいえ」が35.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区、内閣府調査（平成30・27年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。一方、一般群と比べると「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせた割合が高く、感情表出が苦手な傾向にある。

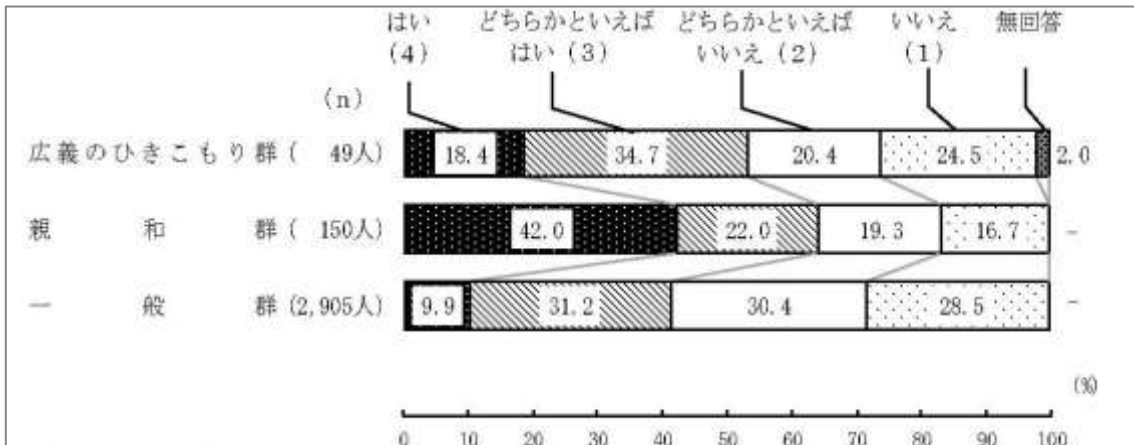
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



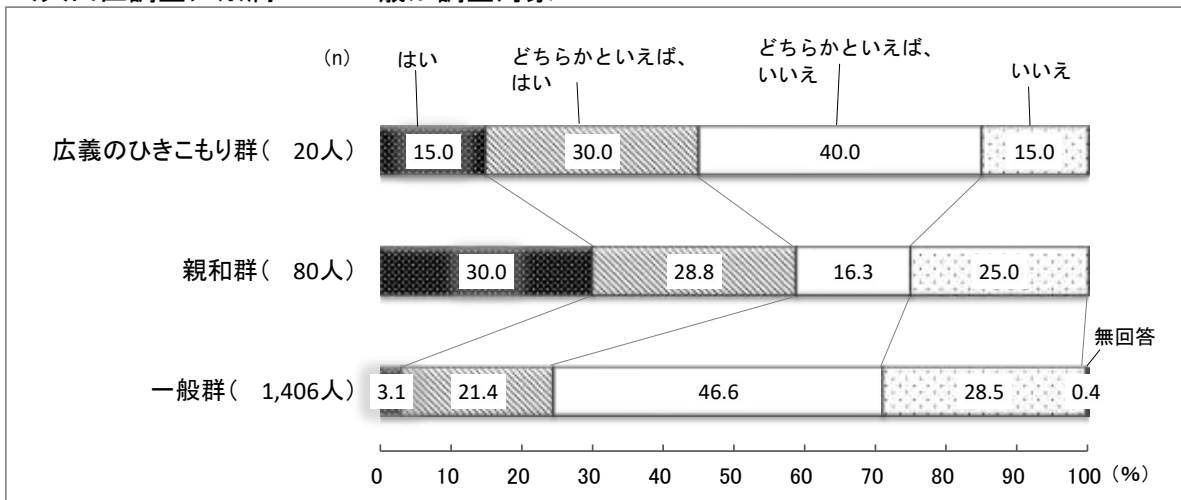
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



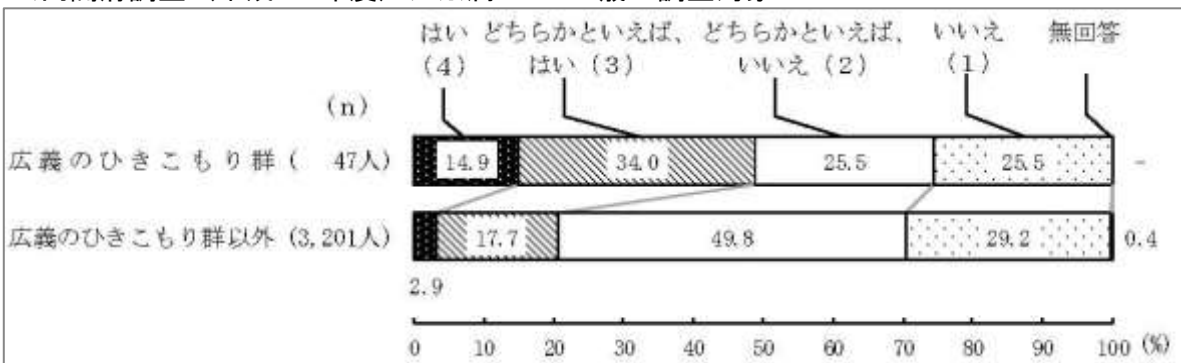
(10) 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない

- 大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」が40.0%、「どちらかといえば、はい」が30.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30年度）と比べて大きな差はみられない。一方、一般群と比べると「はい」の割合が高く、問題対処が苦手と感じていることがうかがえる。

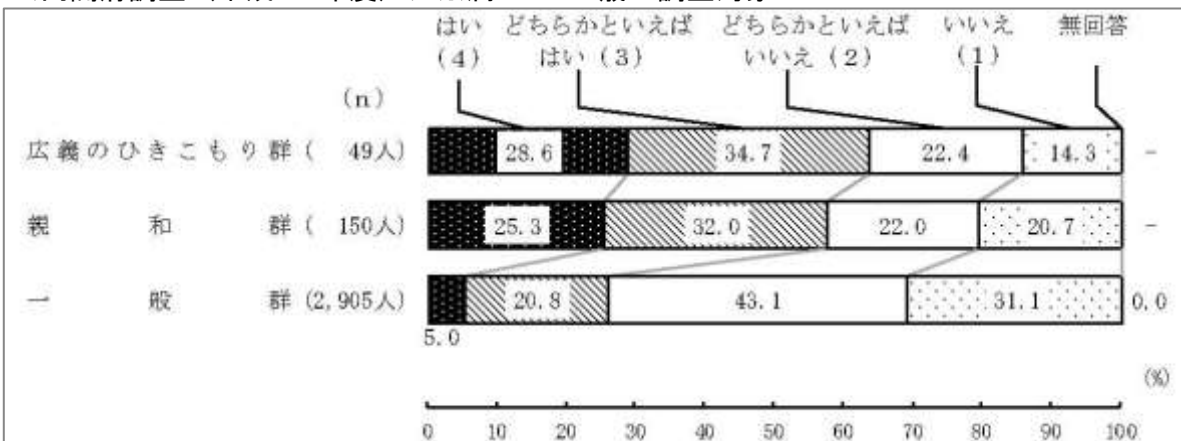
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



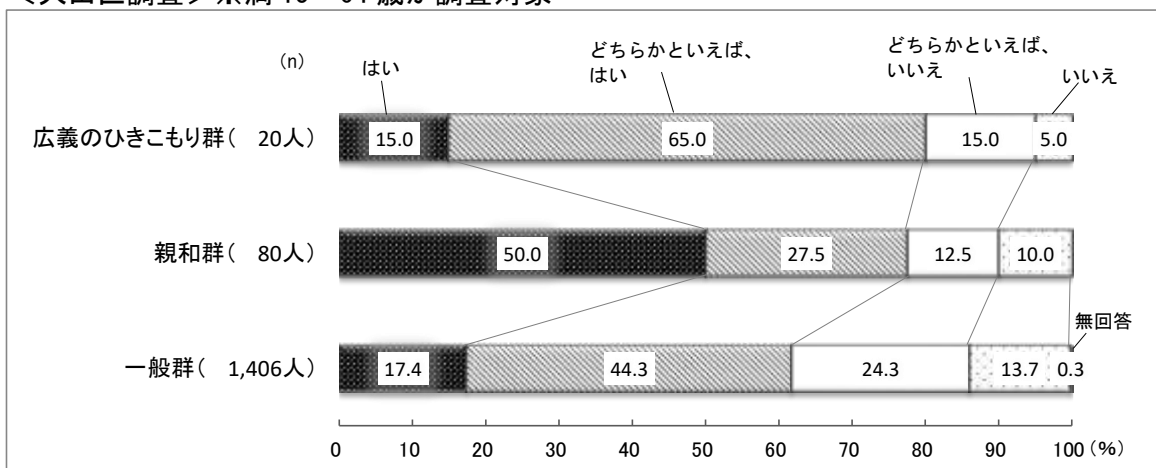
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



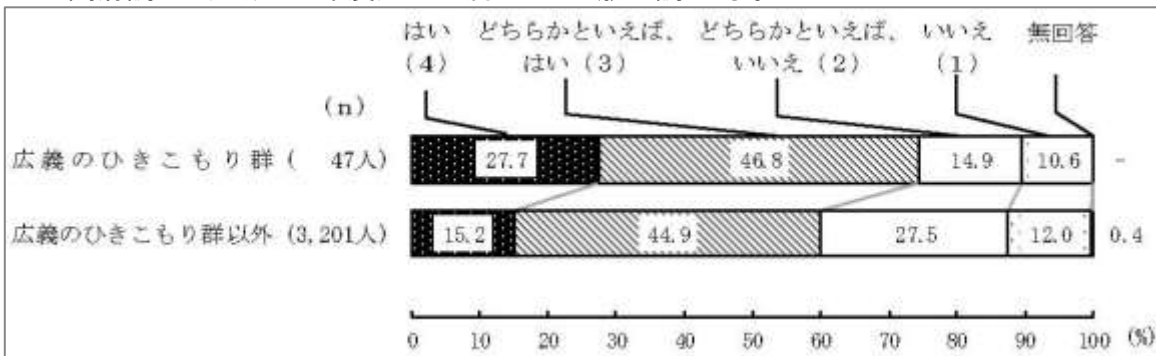
(11) たとえ親であっても、自分のやりたいことに口出ししないで欲しい

- 大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が65.0%、「はい」「どちらかといえば、いいえ」がそれぞれ15.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が、内閣府調査（平成27年度）では「はい」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられず、他人からの干渉を嫌がる傾向にある。

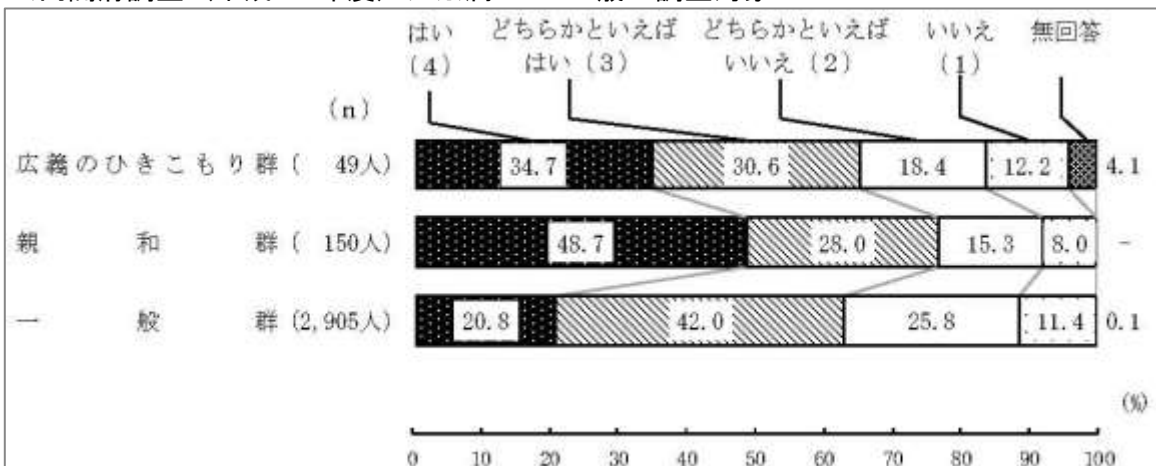
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



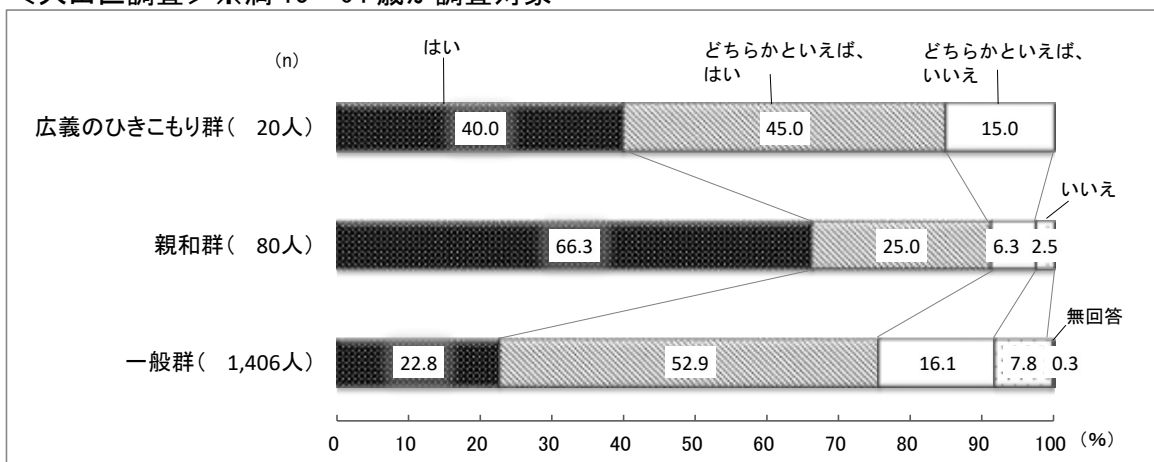
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象



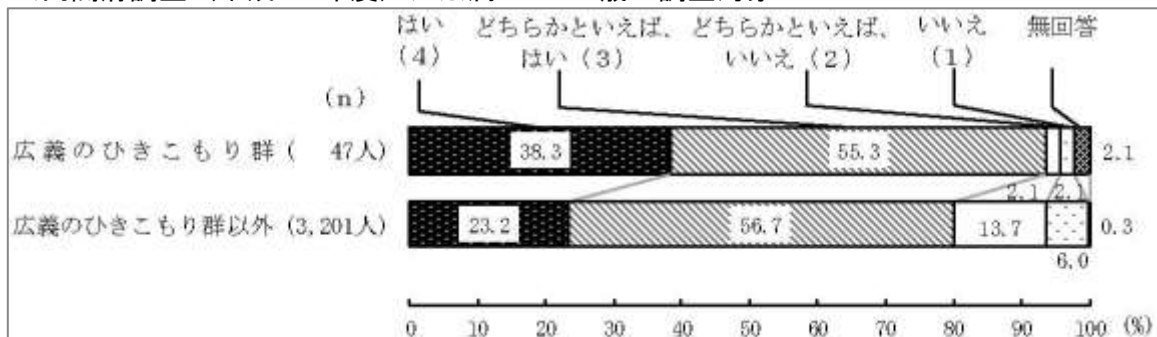
(12) 自分の生活のことで、人から干渉されたくない

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が45.0%、「はい」が40.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30年度）と比べて大きな差はみられず、「はい」「どちらかといえば、はい」が合わせて8割以上を占めており、他人からの干渉を嫌がる傾向にある。

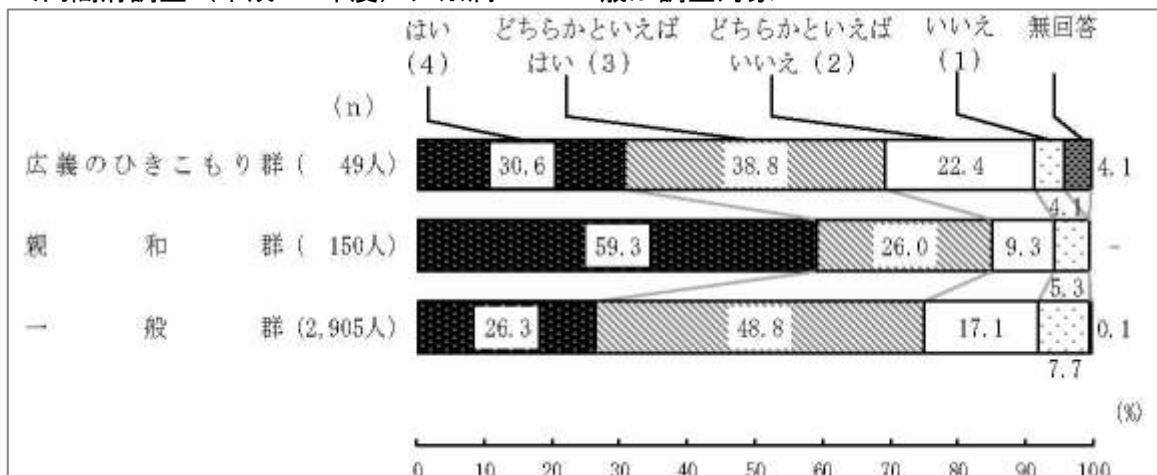
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



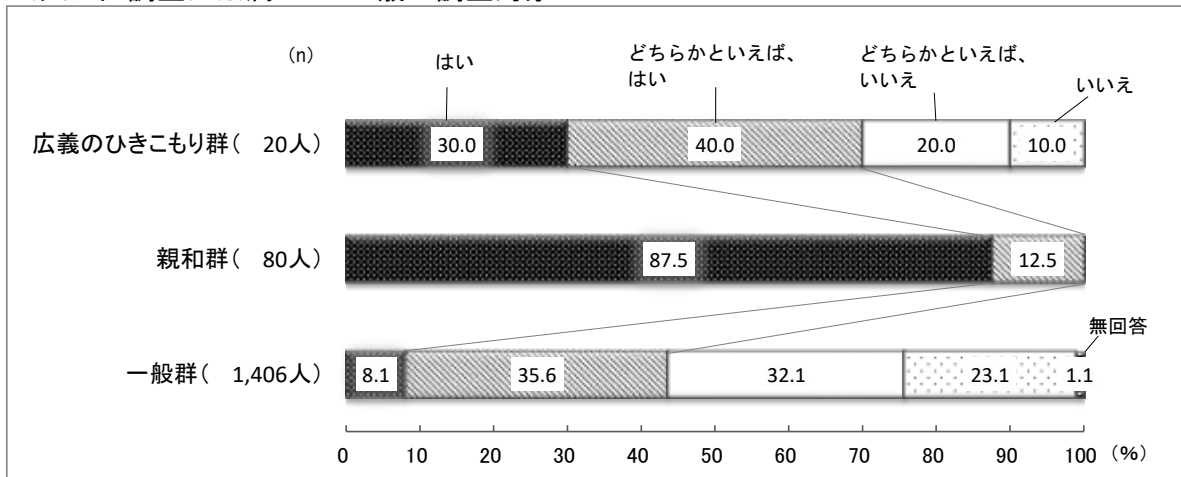
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象



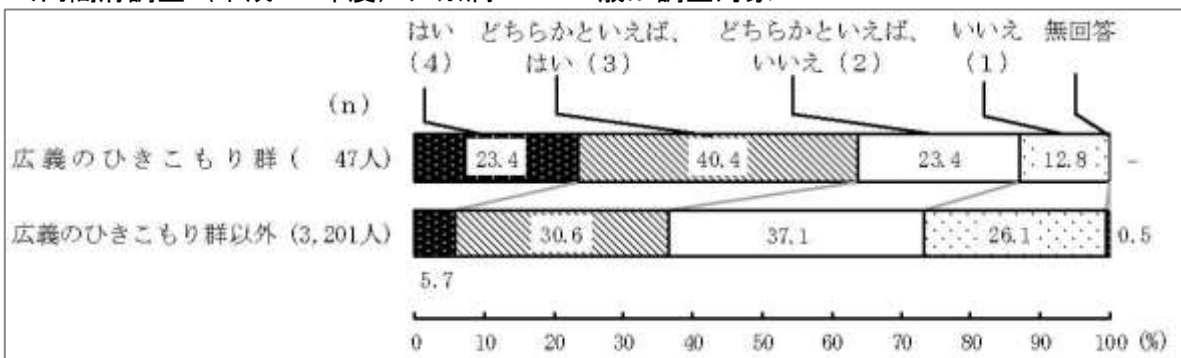
(13) 家や自室に閉じこもっていて、外に出ない人たちの気持ちがわかる

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が40.0%、「はい」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられない。

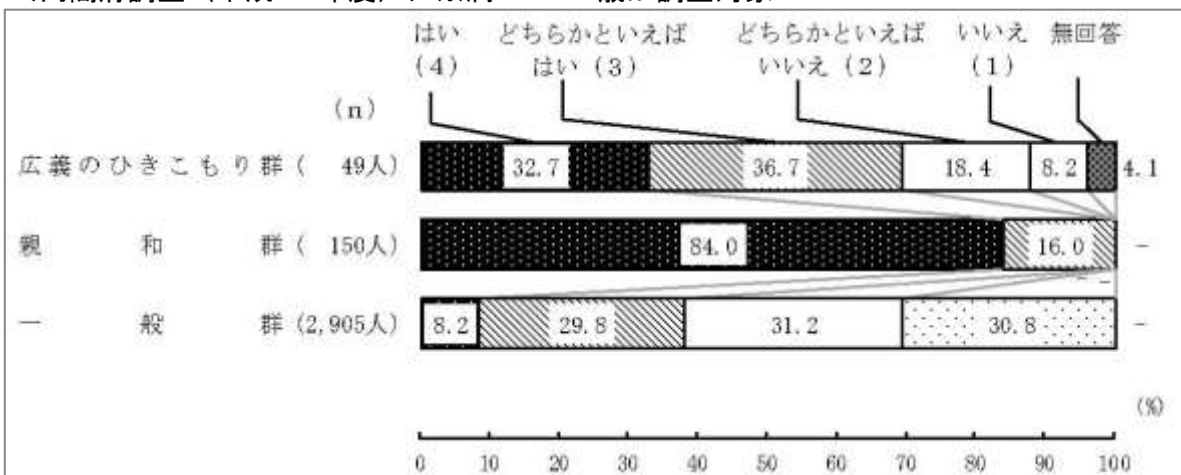
<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）>※満40～64歳が調査対象



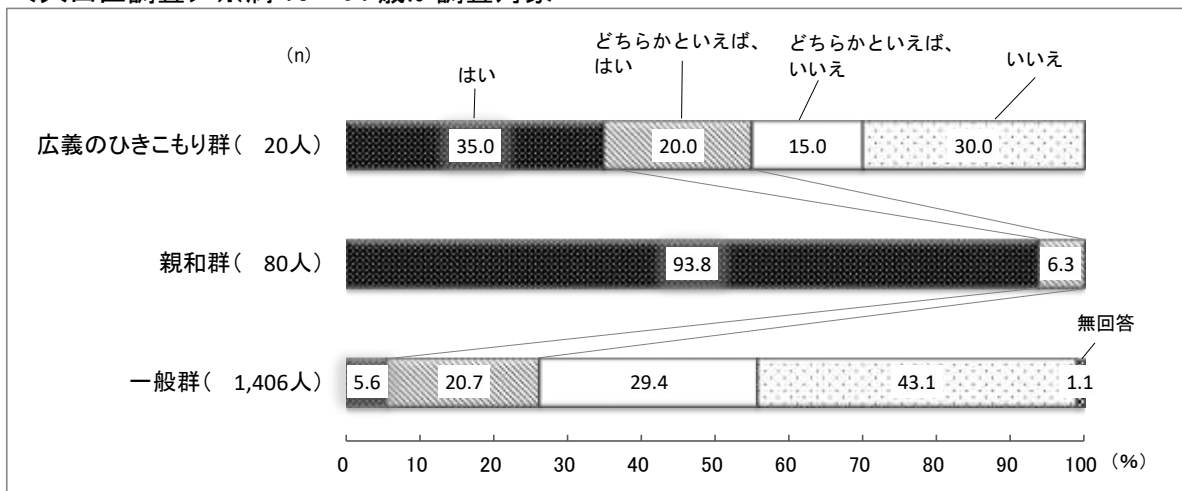
<内閣府調査（平成27年度）>※満15～39歳が調査対象



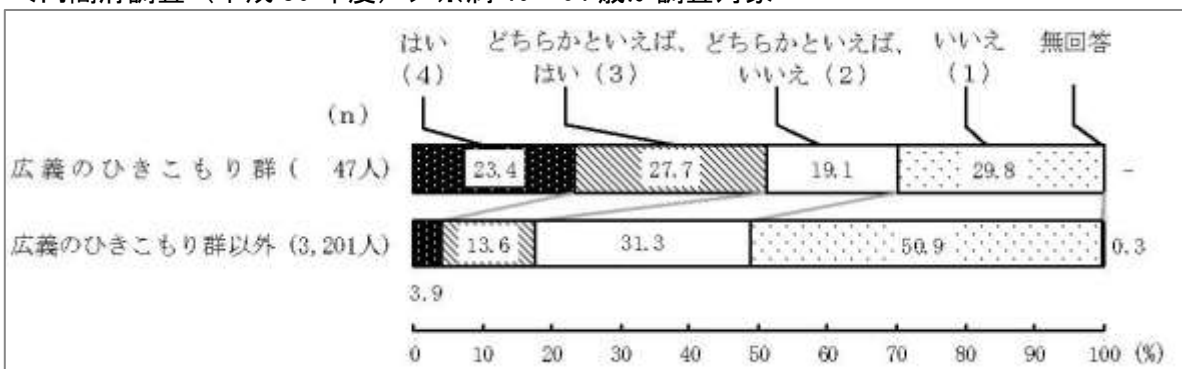
(14) 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

- 大田区のひきこもり群は「はい」が35.0%、「いいえ」が30.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- 大田区、内閣府調査（平成30年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。

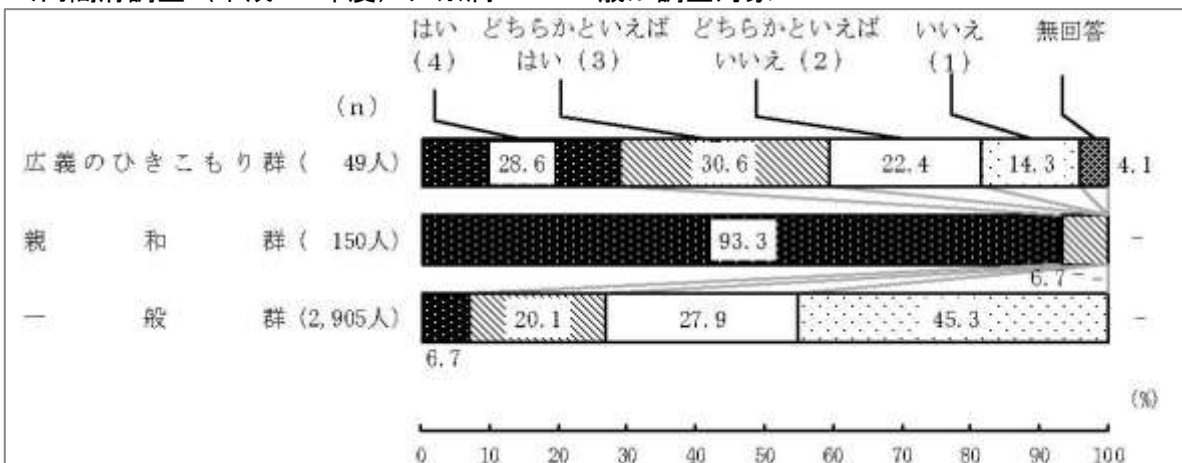
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



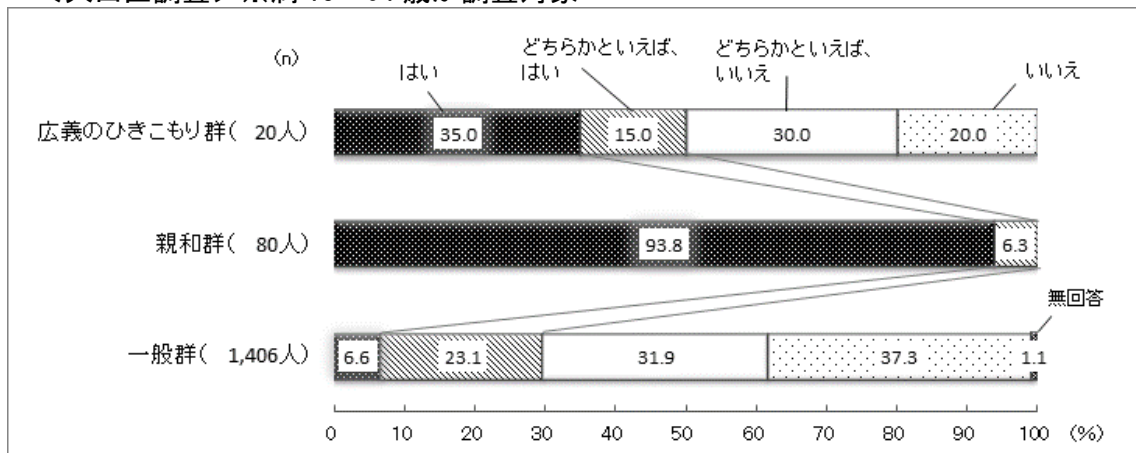
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



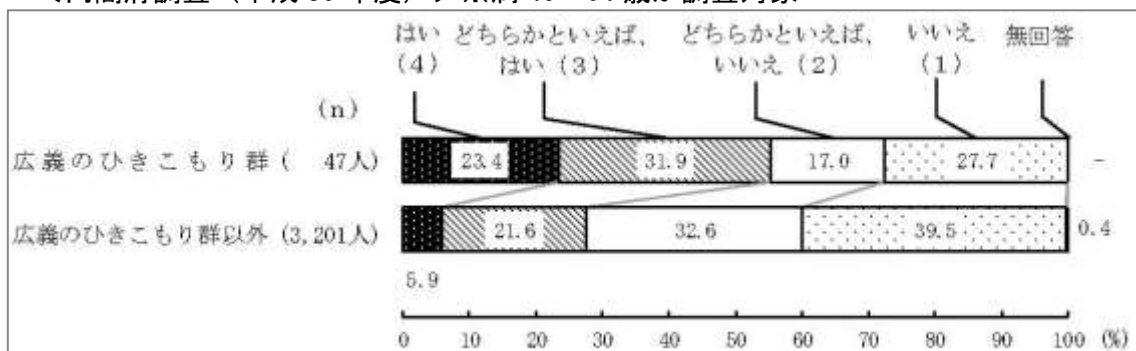
(15) 嫌な出来事があると、外に出たくなる

- 大田区のひきこもり群は「はい」が35.0%、「どちらかといえば、いいえ」が30.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が、内閣府調査（平成27年度）では「はい」「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- 大田区、内閣府調査（平成30・27年度）ともに、「はい」「どちらかといえば、はい」と「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」をそれぞれ合わせた割合は同程度になり、大きな差はみられない。

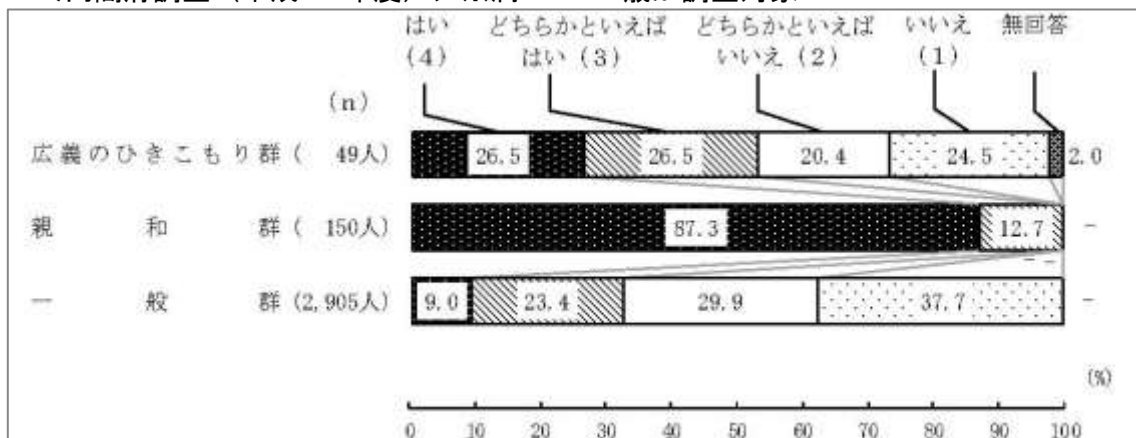
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



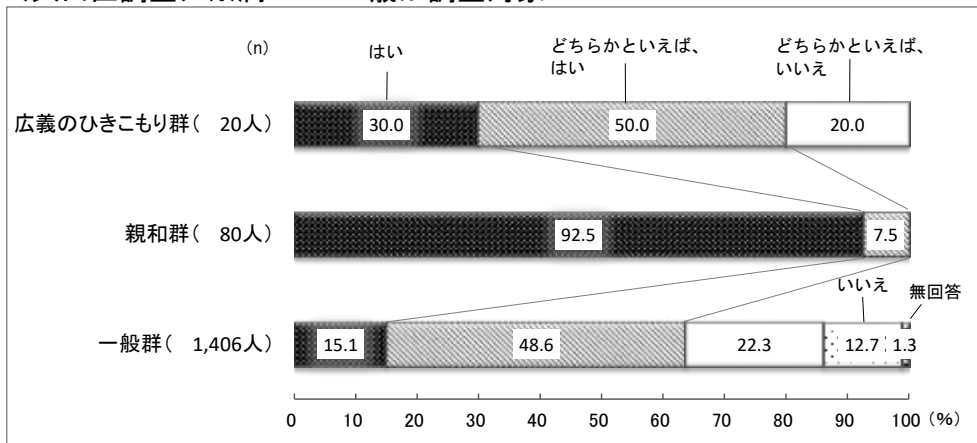
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象



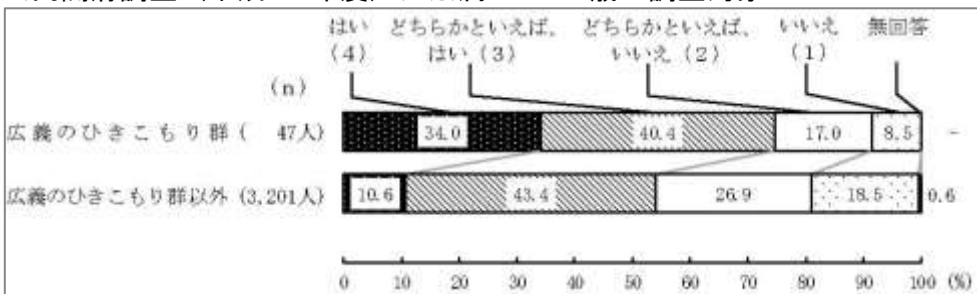
(16) 理由があるなら、家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

- 大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が50.0%、「はい」が30.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が、内閣府調査（平成27年度）では「はい」の割合が高い。
- 大田区では、「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせて8割を占めており、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられない。

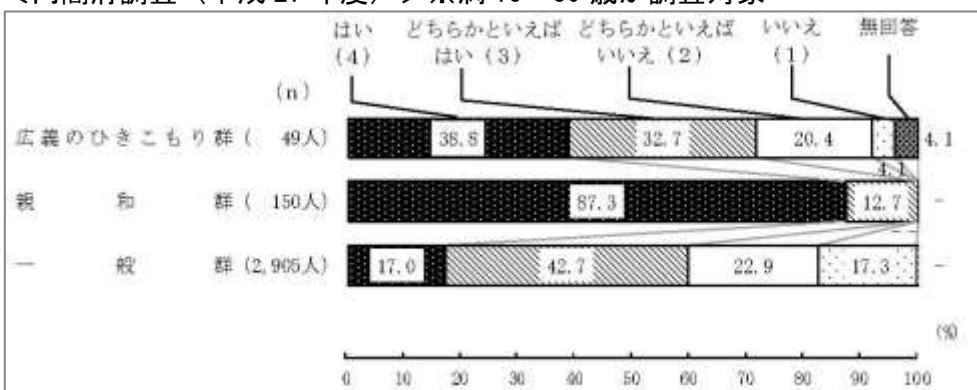
<大田区調査>※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）>※満40~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成27年度）>※満15~39歳が調査対象

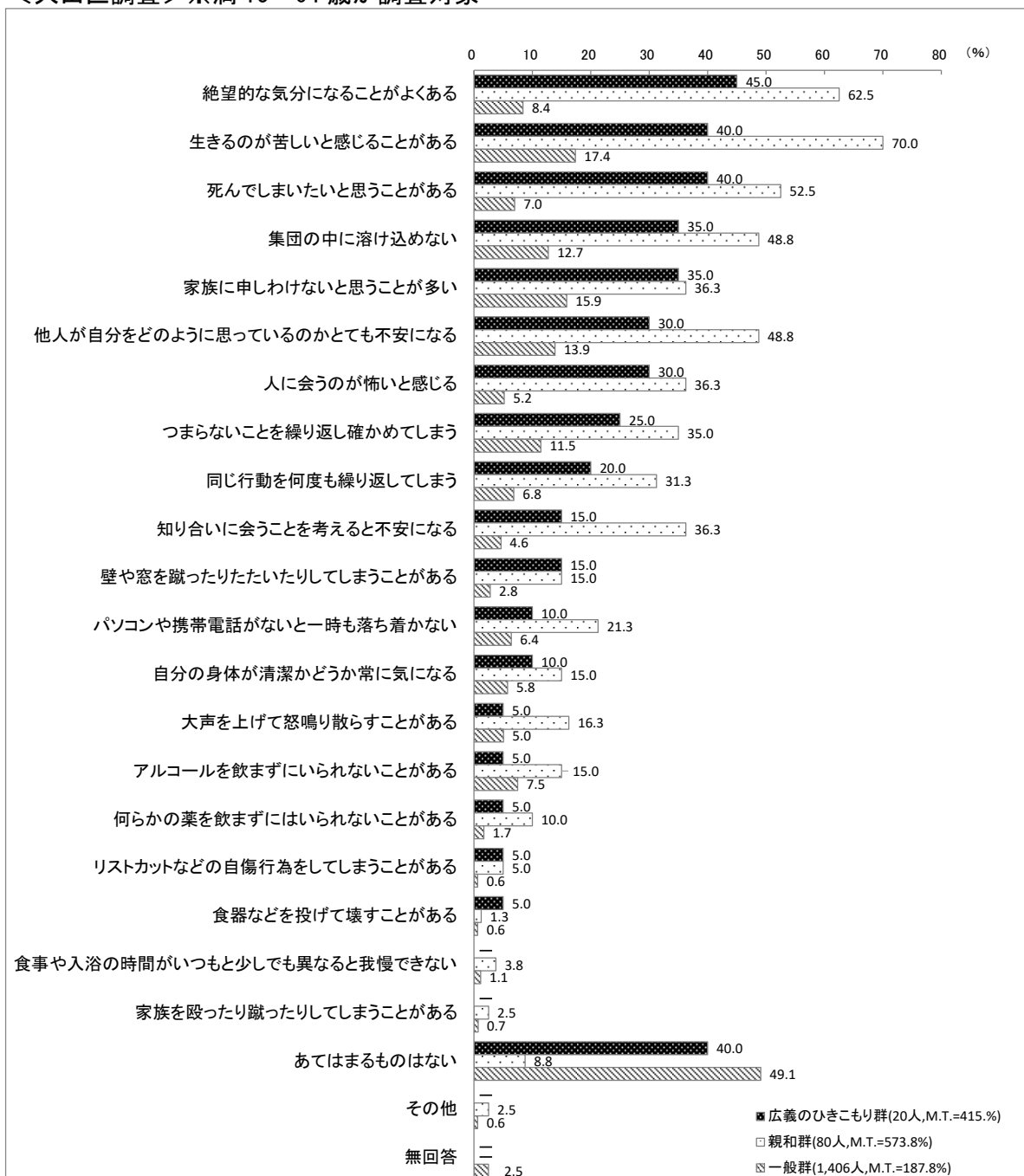


Q38(1)~(16)の結果をまとめると、大田区のひきこもり群は、内閣府調査と大きな差はみられず、人間関係への不安が強く、対人コミュニケーションや人づきあい、感情表出が苦手という傾向にある。また、生活の中で問題に直面した際に、周囲へ助けや支援を求めることが苦手な傾向もみられる。

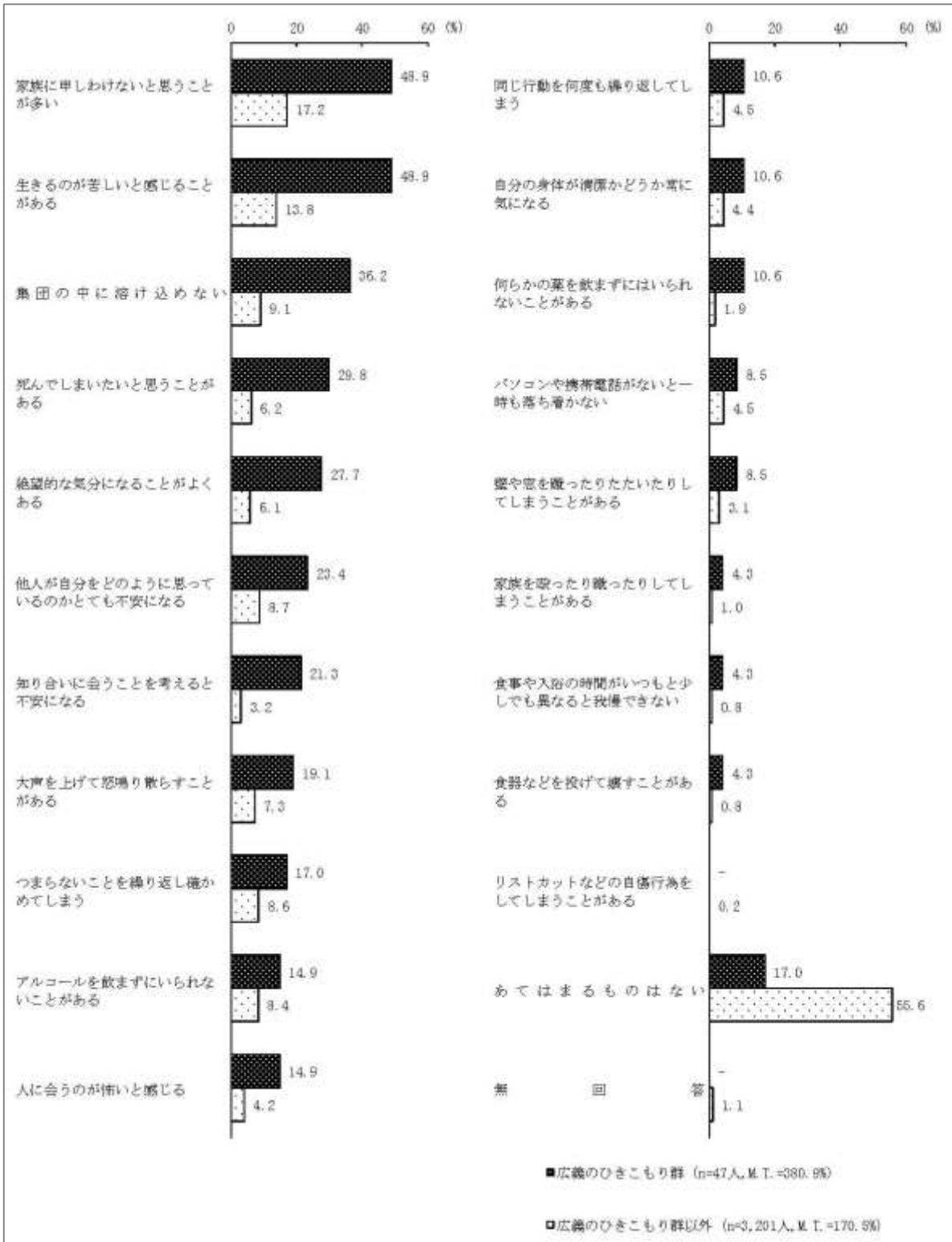
Q39 次に挙げられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。
(複数回答)

- ・大田区のひきこもり群は「絶望的な気分になることがよくある」が45.0%、「生きるのが苦しいと感じることがある」「死んでしまいたいと思うことがある」がそれぞれ40.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「家族に申しわけないと思うことが多い」「生きるのが苦しいと感じることがある」が上位となっている。

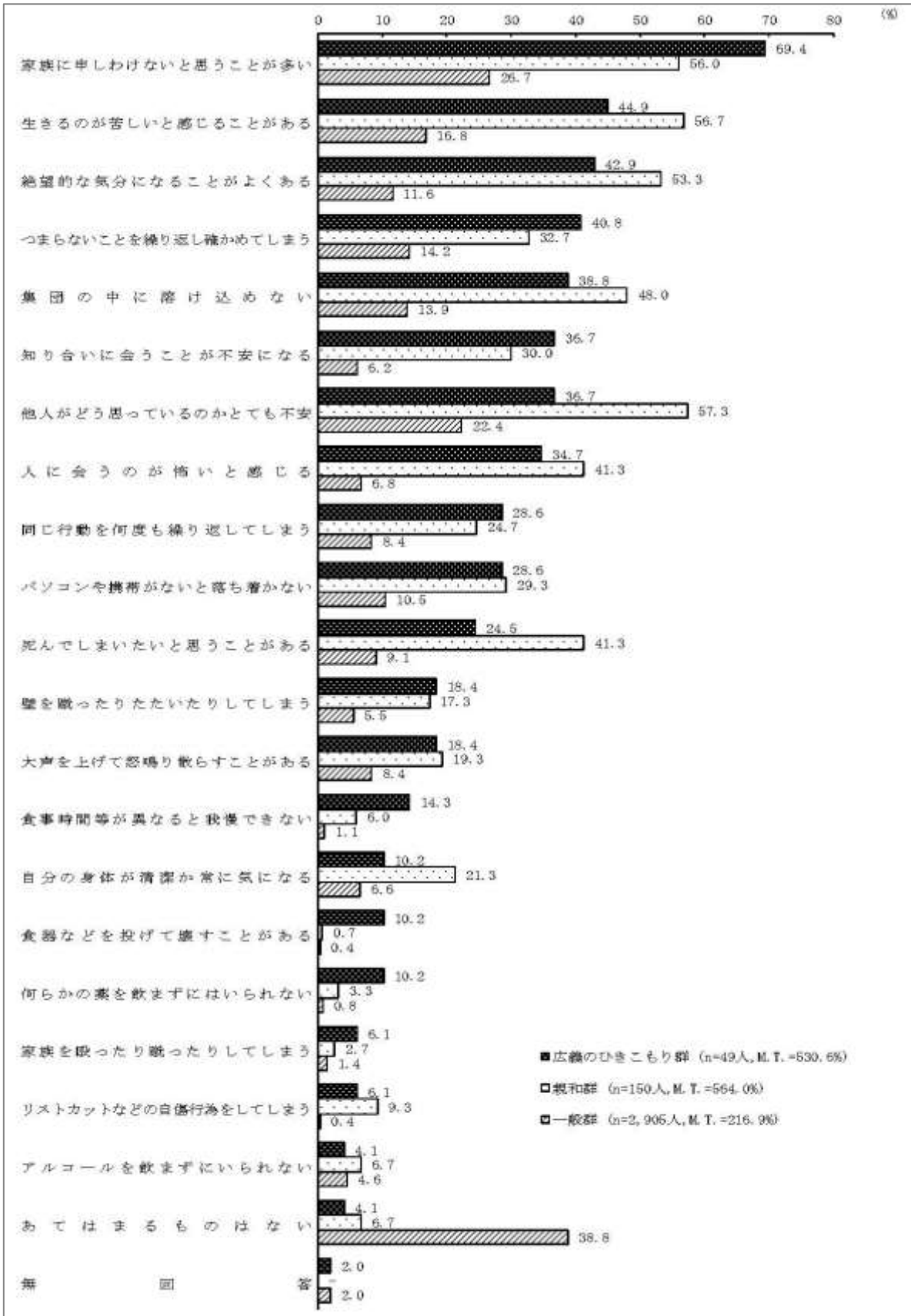
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



■ ふだんの生活状況について

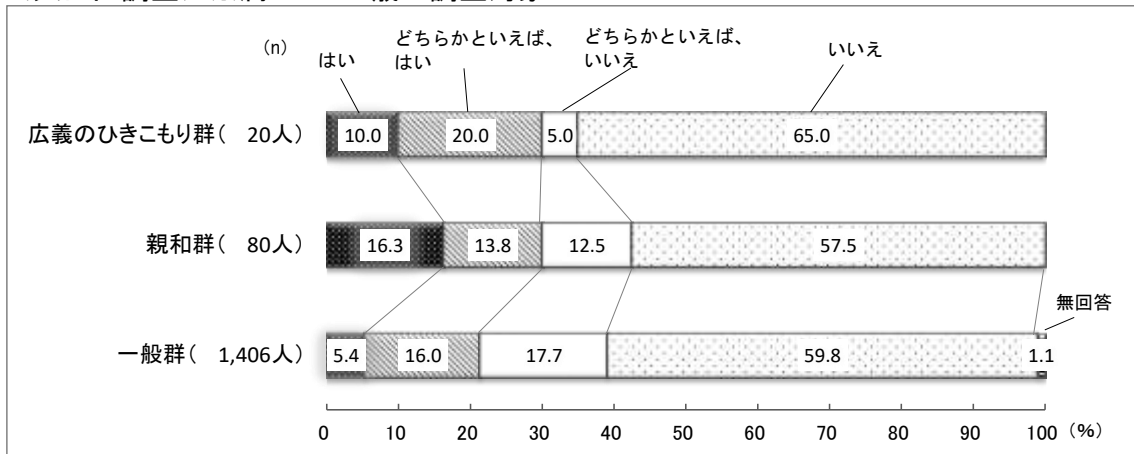
Q40次に挙げられたことについて、あなた自身にあてはまるものに○をつけてください。

(単一回答)

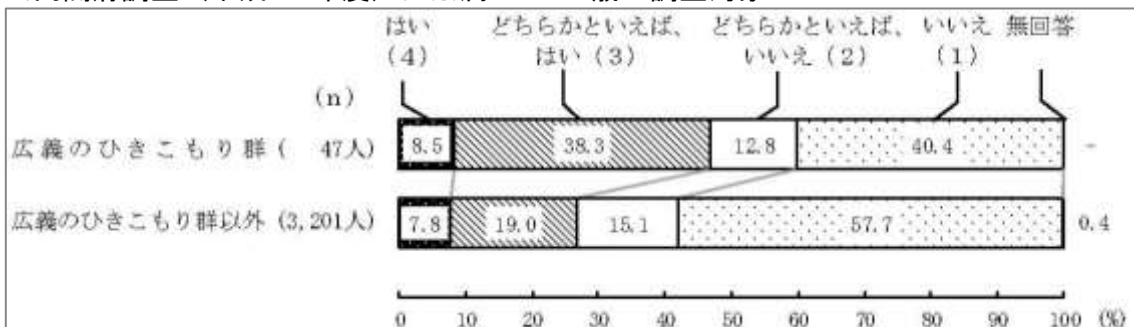
(1) 身の回りのことは家族がしている

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が65.0%、「どちらかといえば、はい」が20.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて「いいえ」の割合が高く、家族への依存度は低く、自立した生活を送っていることがうかがえる。

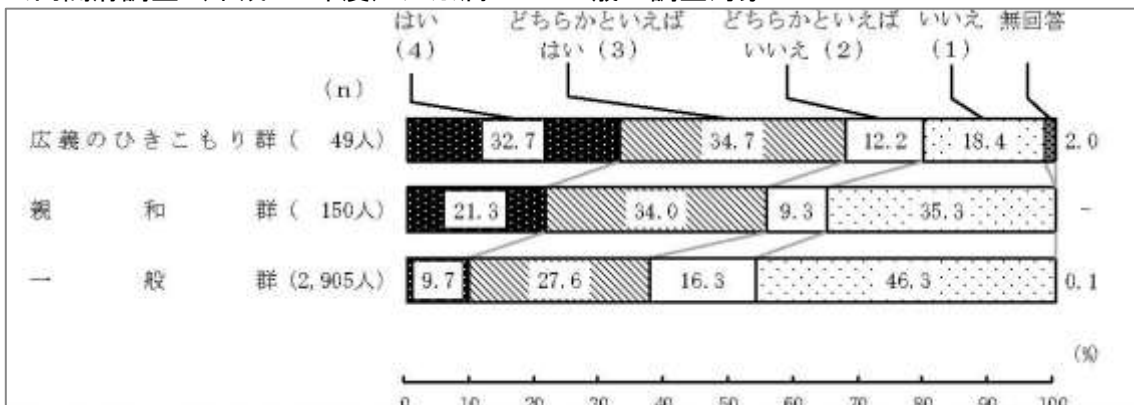
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



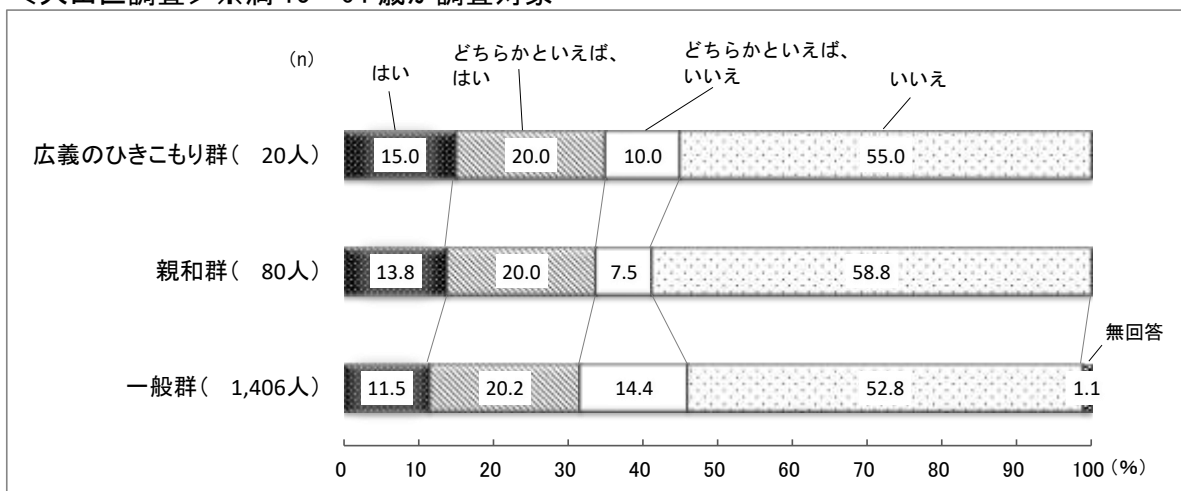
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象



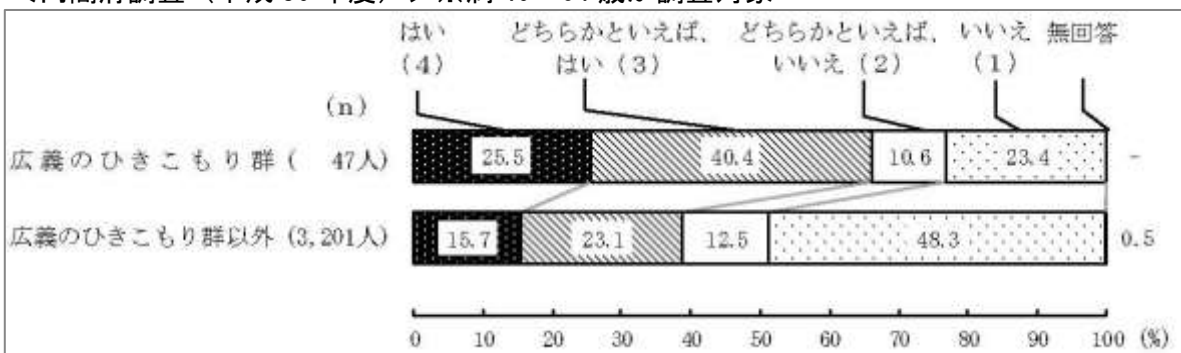
(2) 食事や掃除は家族がしている

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が55.0%、「どちらかといえば、はい」が20.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が、内閣府調査（平成27年度）では「はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて「いいえ」の割合が高く、家族への依存度は低く、自立した生活を送っていることがうかがえる。

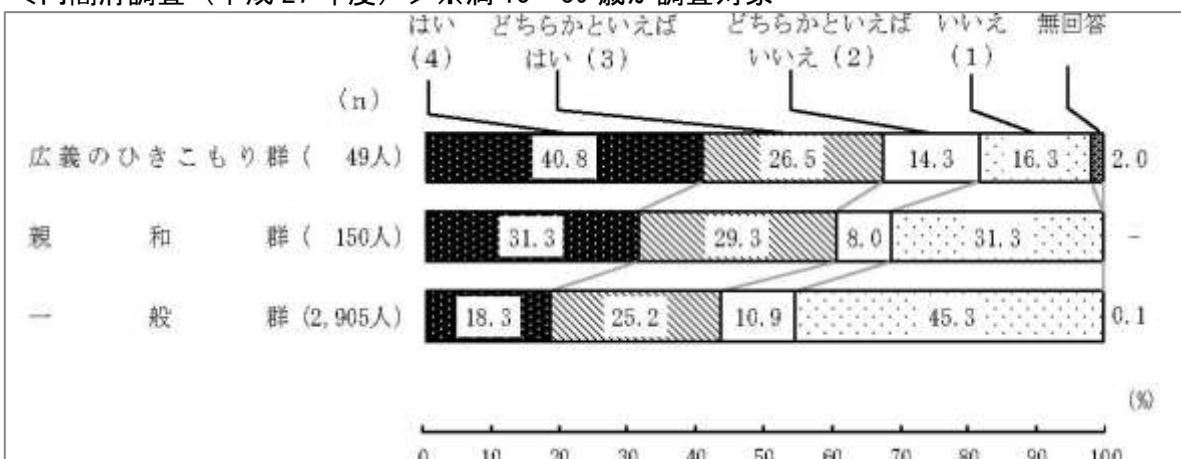
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



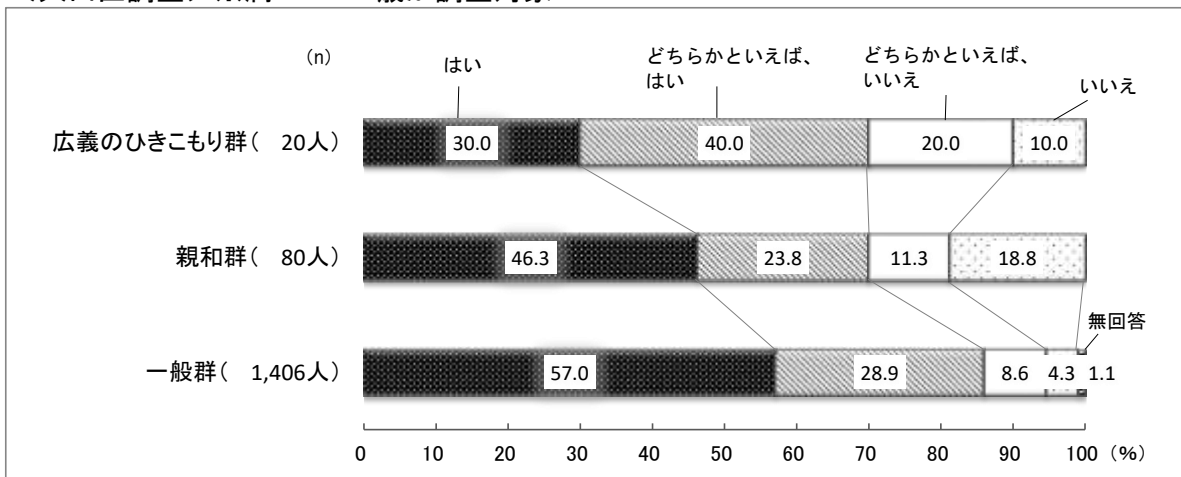
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



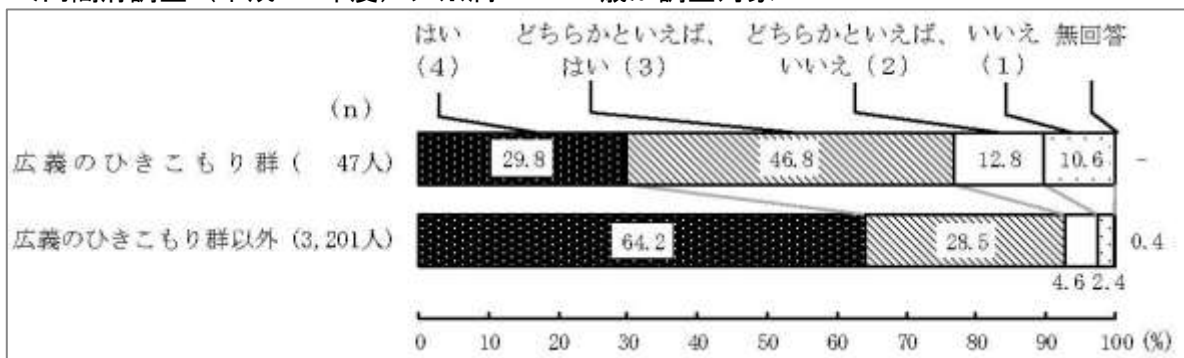
(3) 朝、決まった時間に起きられる

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が40.0%、「はい」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が、内閣府調査（平成27年度）では「はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30年度）と同様に、「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせて7割を占めており、生活リズムは概ね整っている傾向にある。

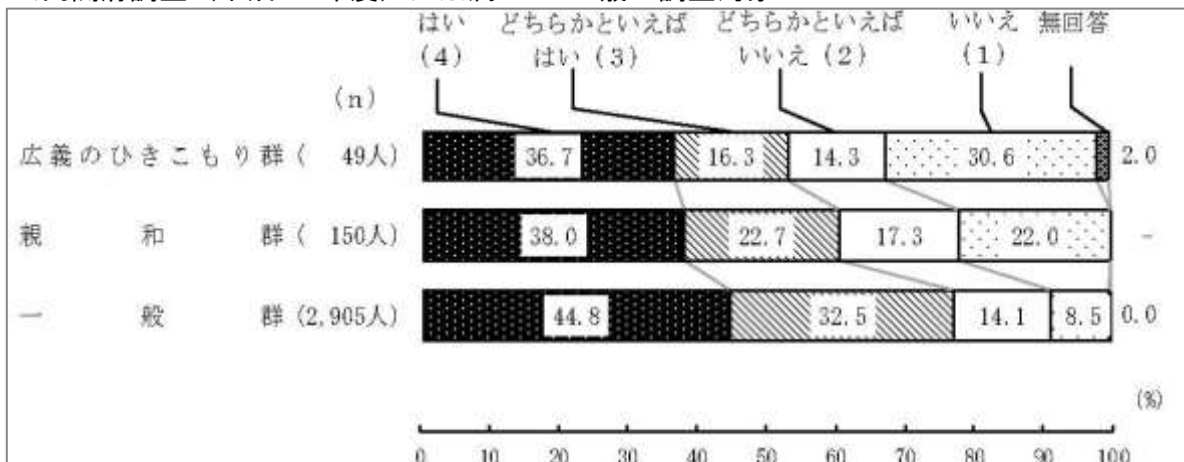
<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）>※満40～64歳が調査対象



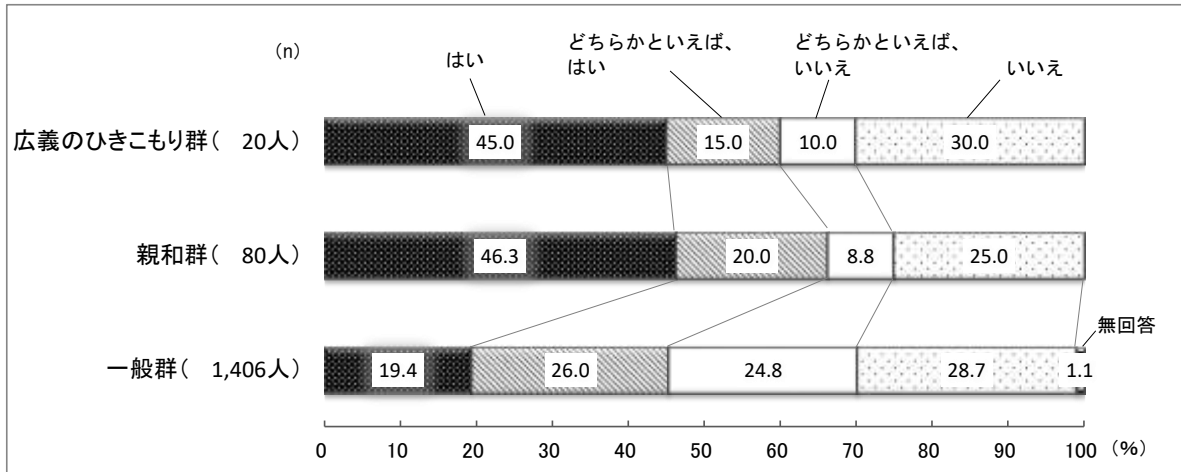
<内閣府調査（平成27年度）>※満15～39歳が調査対象



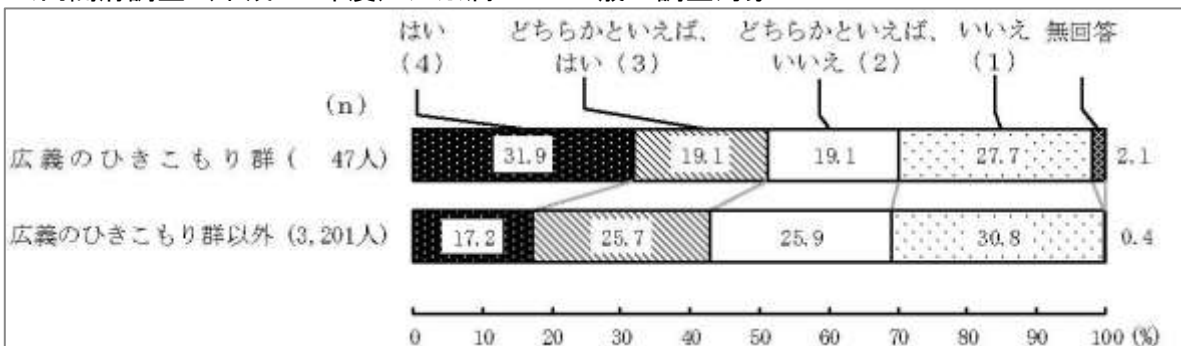
(4) 深夜まで起きていることが多い

- ・大田区のひきこもり群は「はい」が45.0%、「いいえ」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「はい」が、内閣府調査（平成27年度）では「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と同様に、「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせて5割を超え、就寝時間は遅い傾向にある。

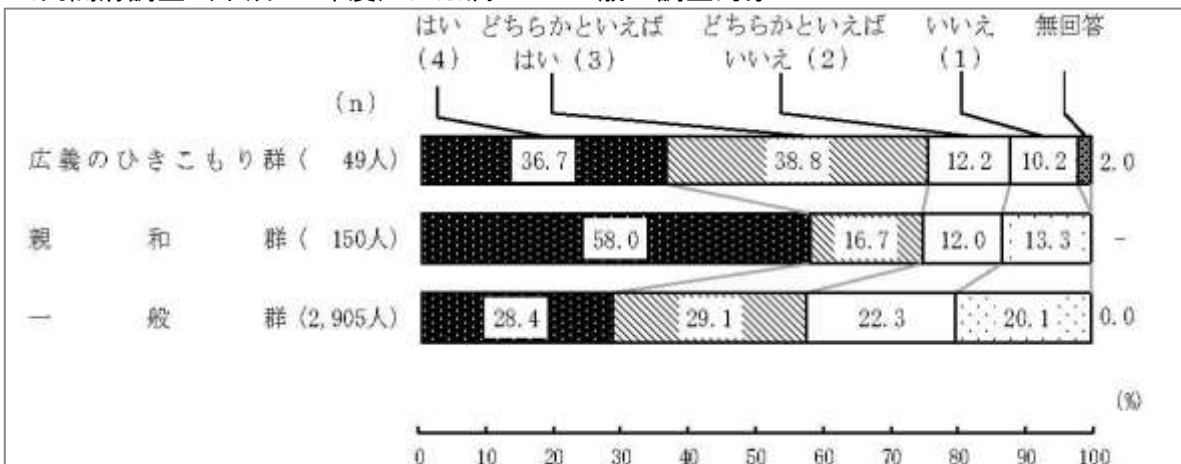
<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）>※満40～64歳が調査対象



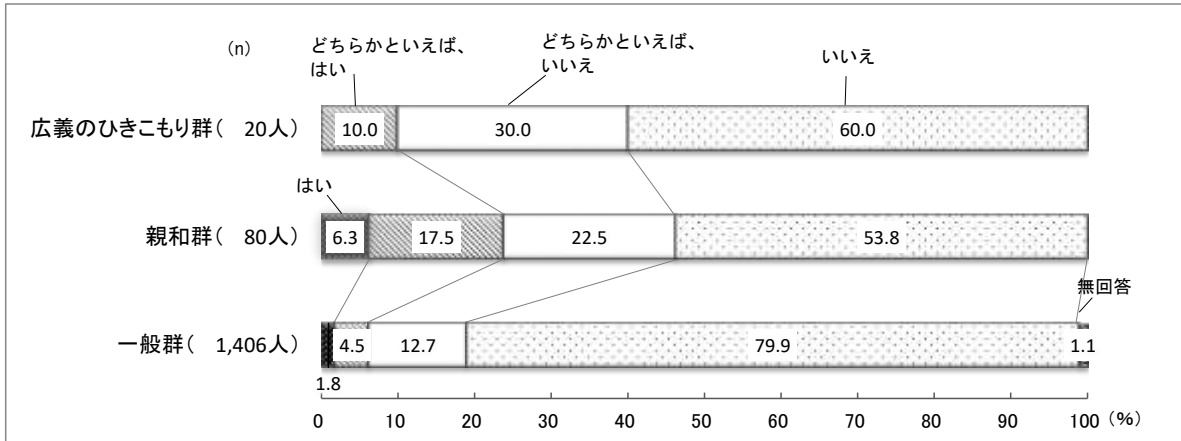
<内閣府調査（平成27年度）>※満15～39歳が調査対象



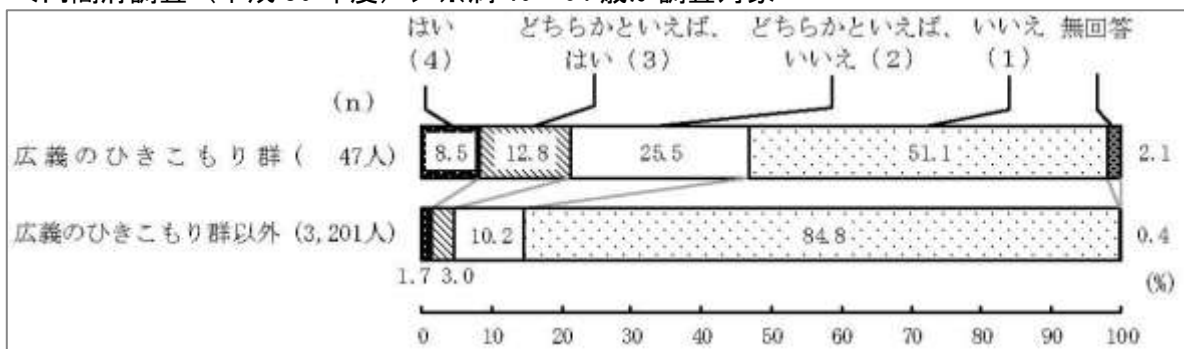
(5) 昼夜逆転の生活をしている

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が60.0%、「どちらかといえば、いいえ」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「いいえ」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」を合わせて9割を占めており、生活リズムは概ね整っている傾向にある。

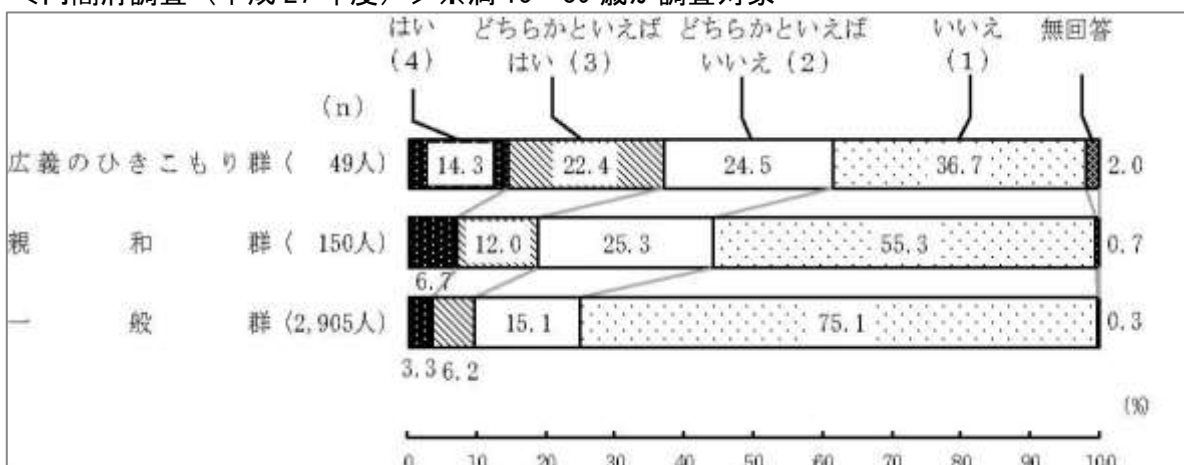
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



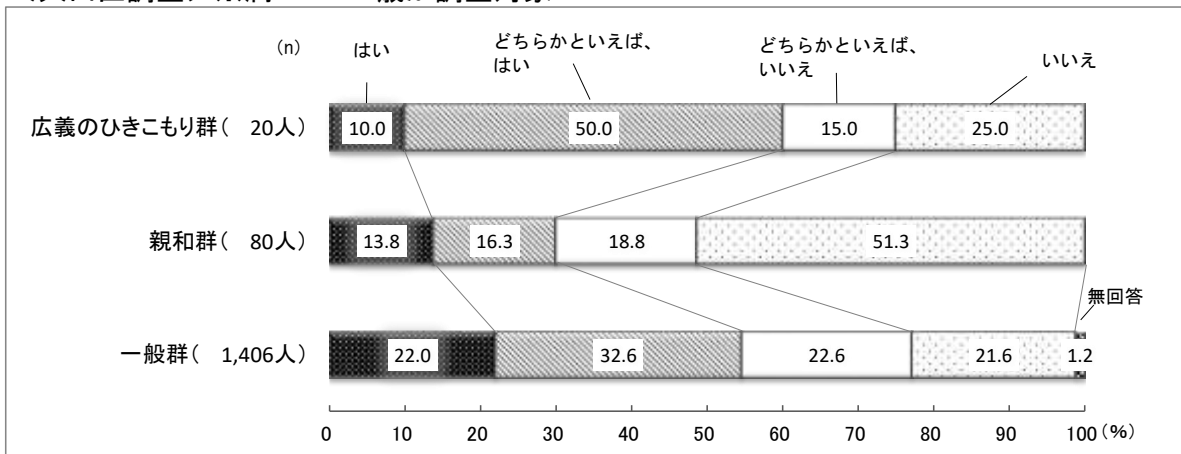
＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象



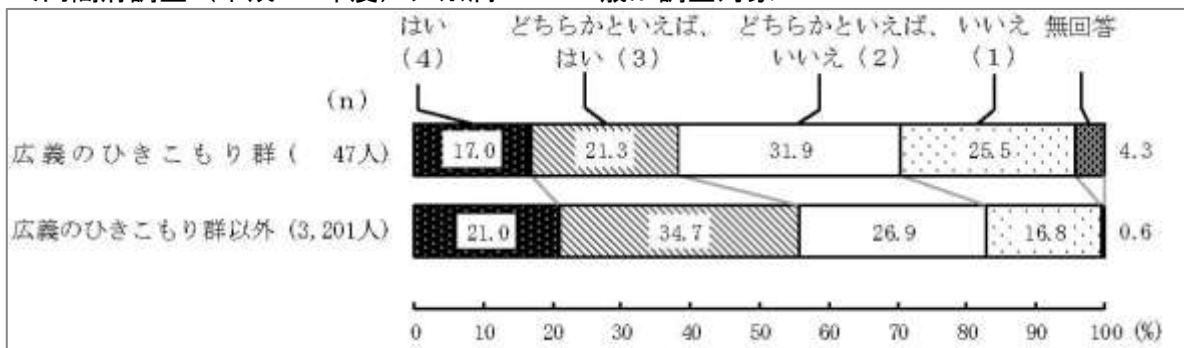
(6) 新聞の政治や経済・社会報道によく目を通す

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が50.0%、「いいえ」が25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせた割合が高く、社会への関心が高い傾向にある。

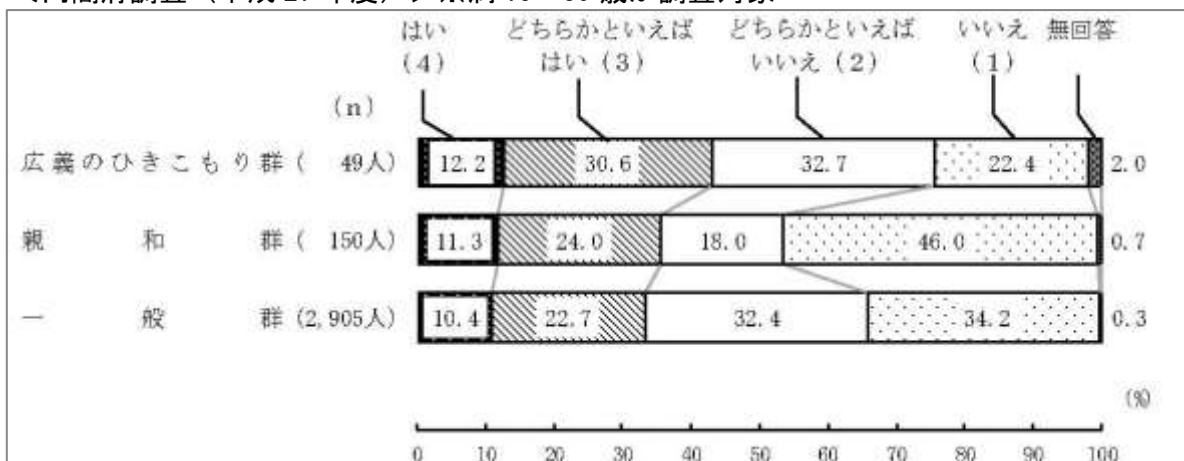
<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）>※満40～64歳が調査対象



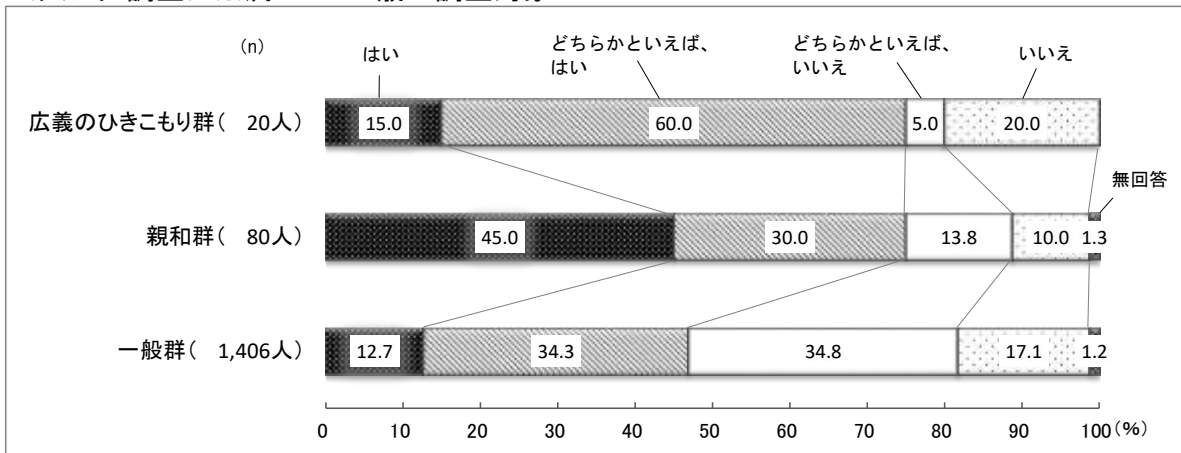
<内閣府調査（平成27年度）>※満15～39歳が調査対象



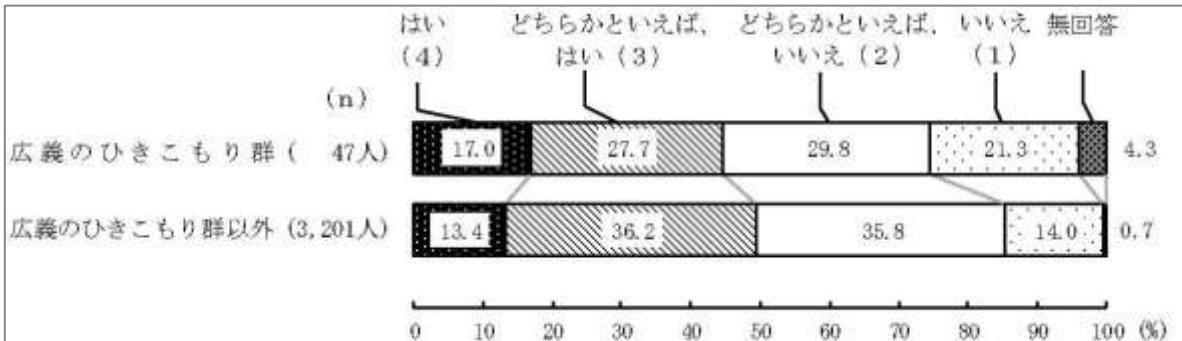
(7) 自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある

- 大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が60.0%、「いいえ」が20.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて「どちらかといえば、はい」の割合が高く、物事を理不尽と感じやすい傾向にある。

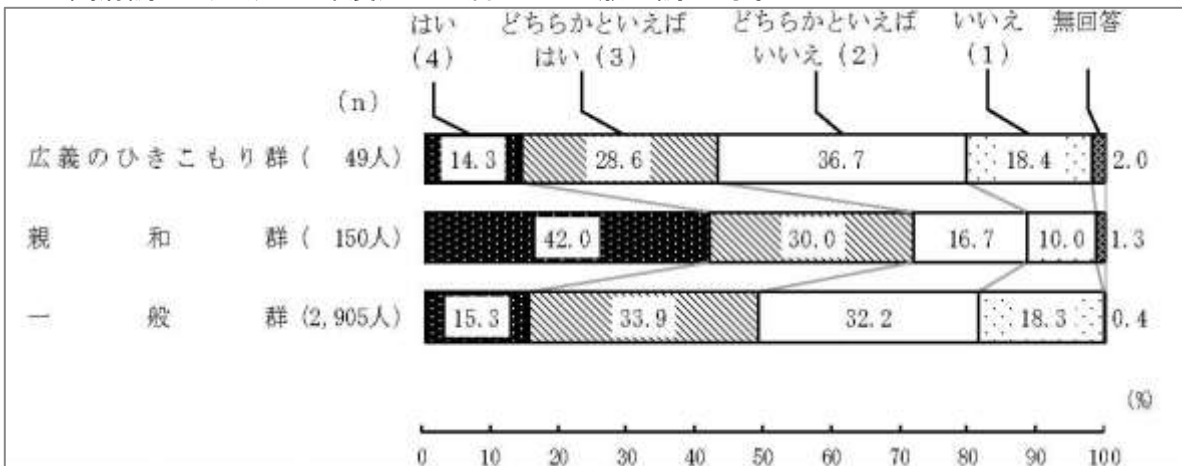
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



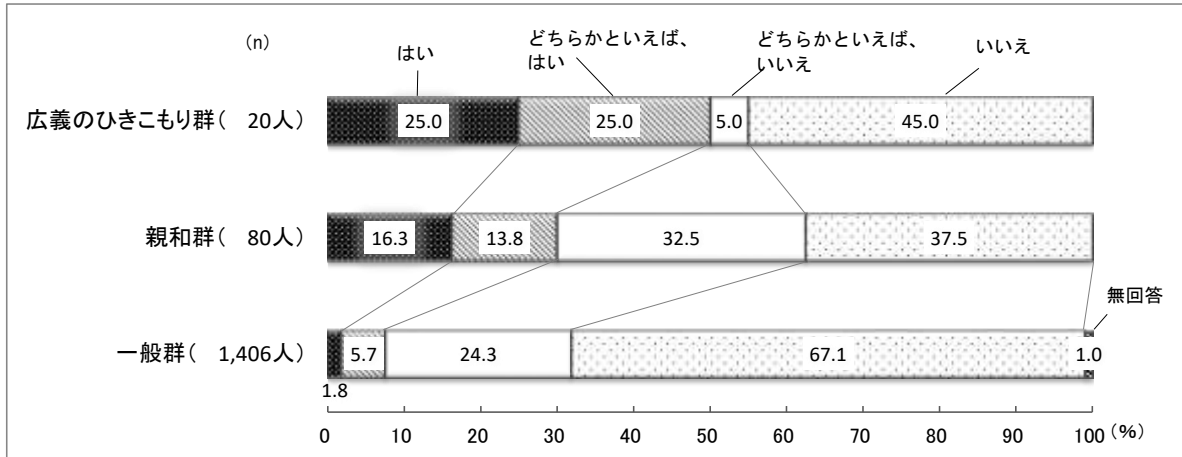
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



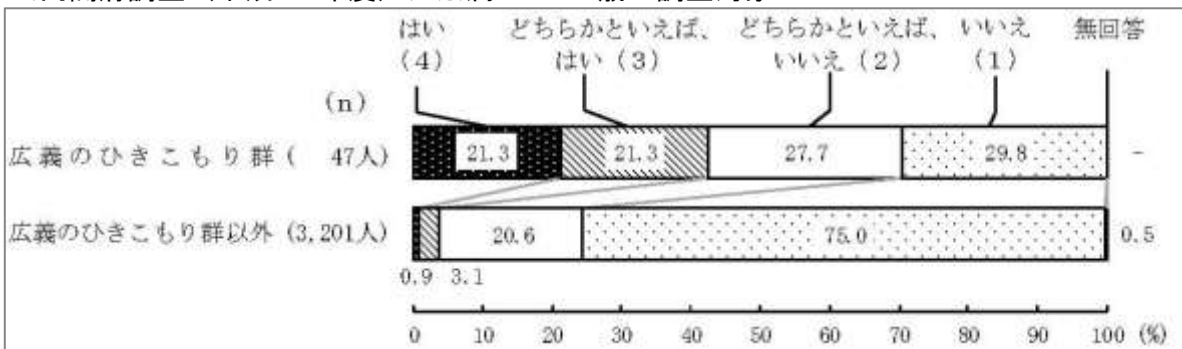
(8) 誰とも口を利かずに過ごす日が多い

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が 45.0%、「はい」「どちらかといえば、はい」がそれぞれ 25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 30・27 年度）のひきこもり群は「いいえ」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成 30・27 年度）や一般群と比べて「はい」「どちらかといえば、はい」の割合が高く、対人交流の機会が少ない傾向にある。

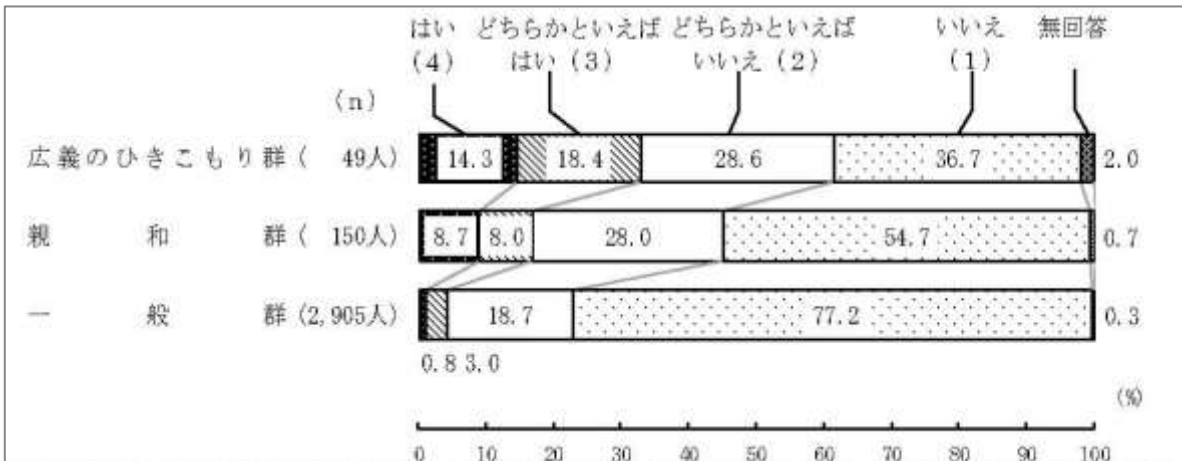
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



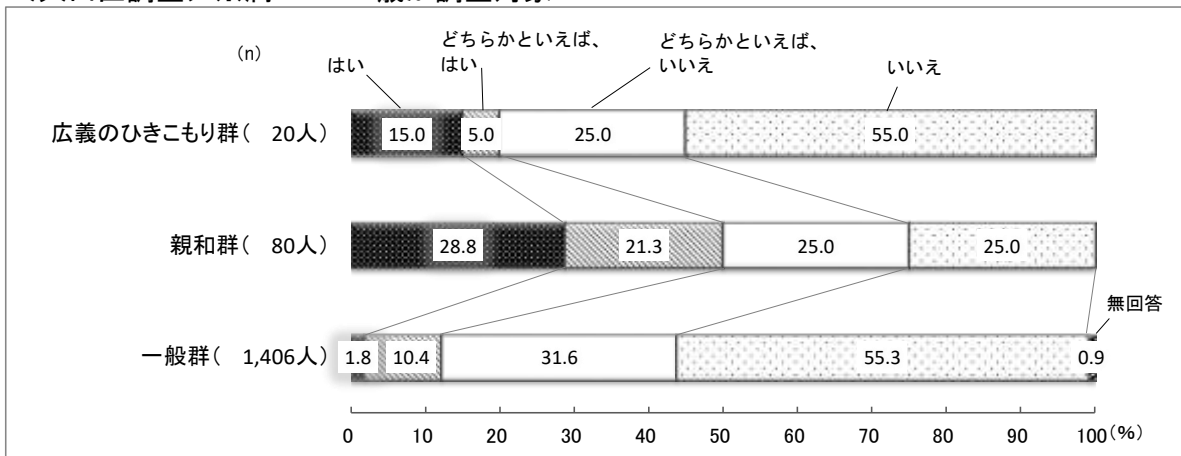
<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象



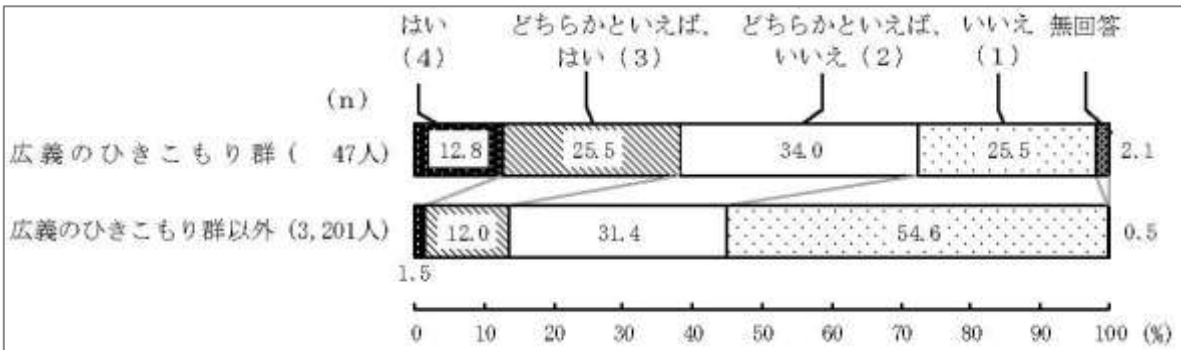
(9) 人と会話をするのはわずらわしい

- ・大田区のひきこもり群は「いいえ」が55.0%、「どちらかといえば、いいえ」が25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」が、内閣府調査（平成27年度）では「いいえ」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて「いいえ」の割合が高く、対人交流をわずらわしく感じていない傾向にある。

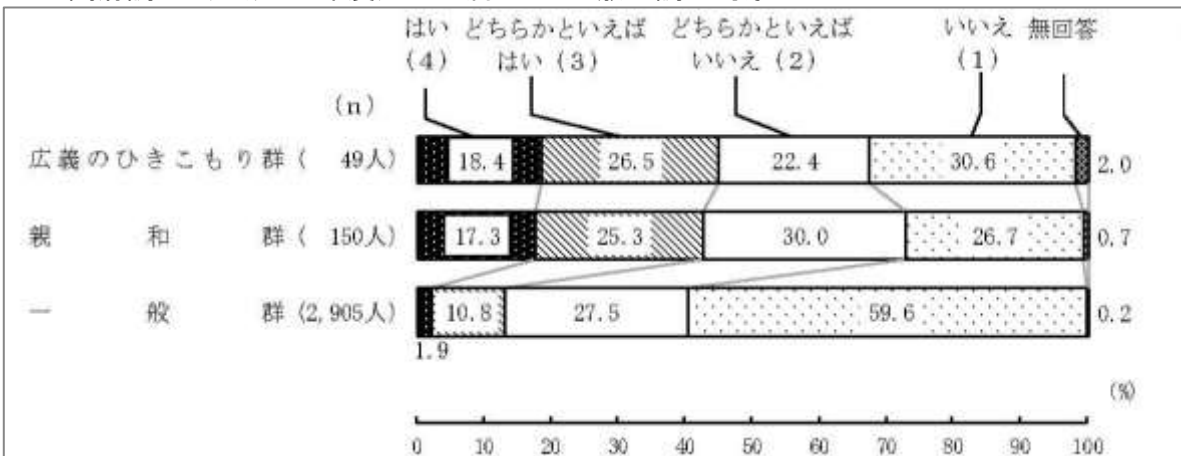
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



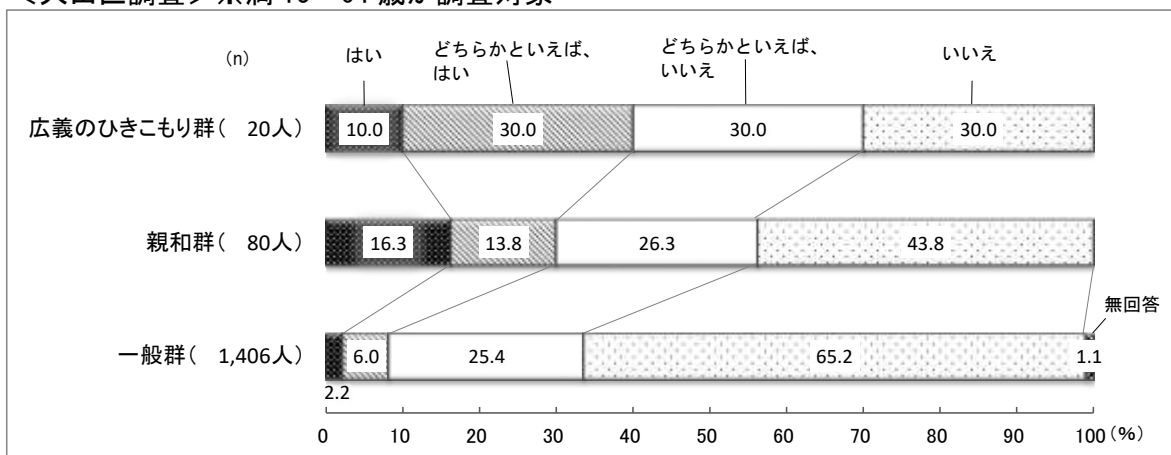
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



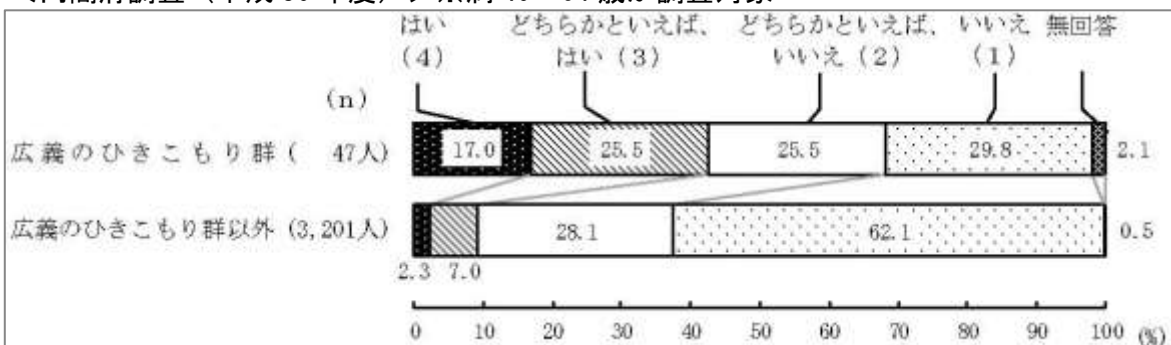
(10) 過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」がそれぞれ30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「いいえ」の割合が高い。
- ・大田区では、「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」を合わせた割合が高く、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられない。一方、一般群と比べると、「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせた割合が高く、信頼できる人が身近にいないと感じている方もいることがうかがえる。

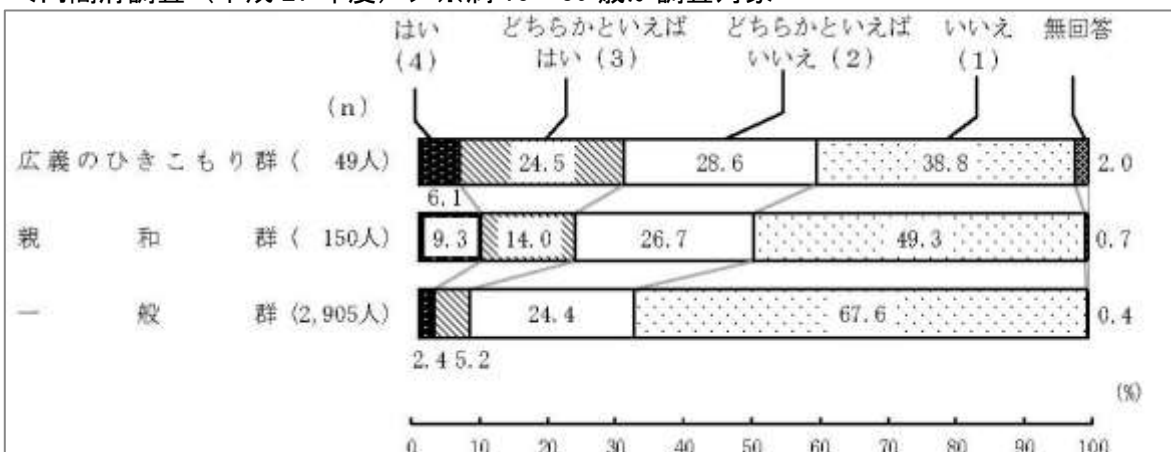
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



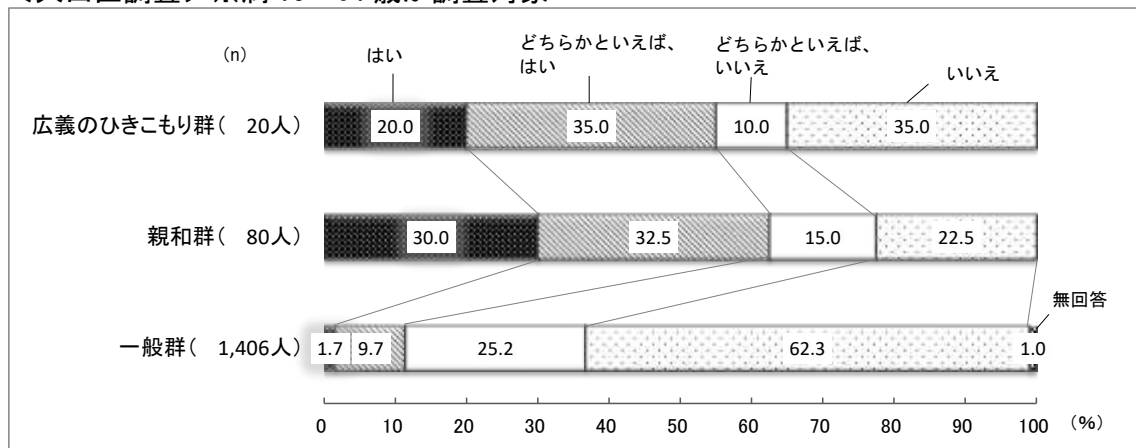
＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象



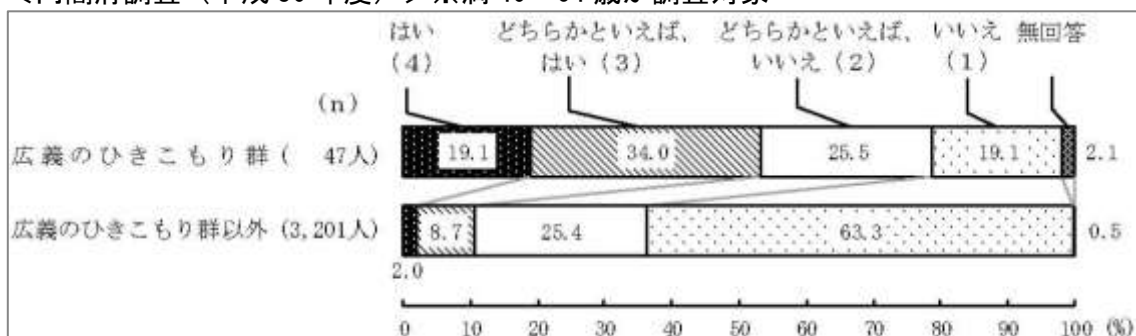
(11) 自分の精神状態は健康ではないと思う

- 大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」「いいえ」がそれぞれ 35.0%、「はい」が 20.0%となっている。
- 内閣府調査（平成 30 年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が、内閣府調査（平成 27 年度）では「いいえ」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成 30・27 年度）と比べると、「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせた割合は同程度である。一方、一般群と比べると、「はい」の割合が高く、精神面の不調を感じている傾向にある。

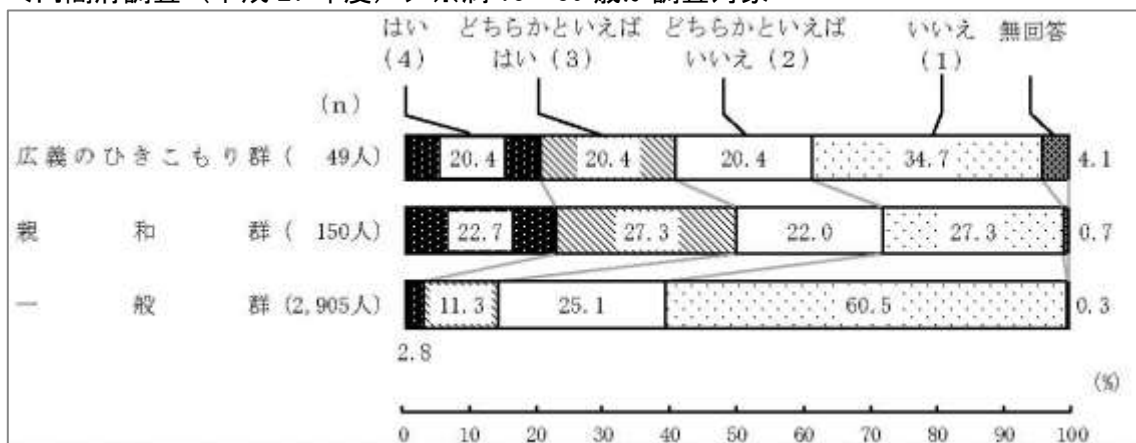
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



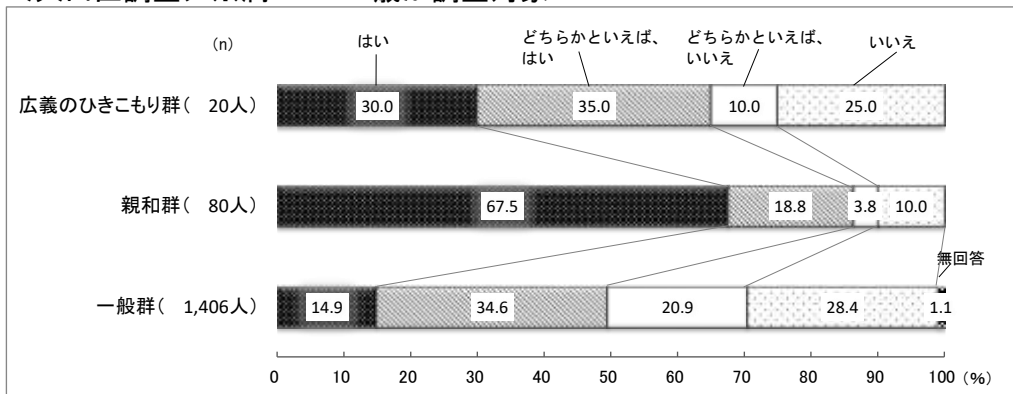
<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象



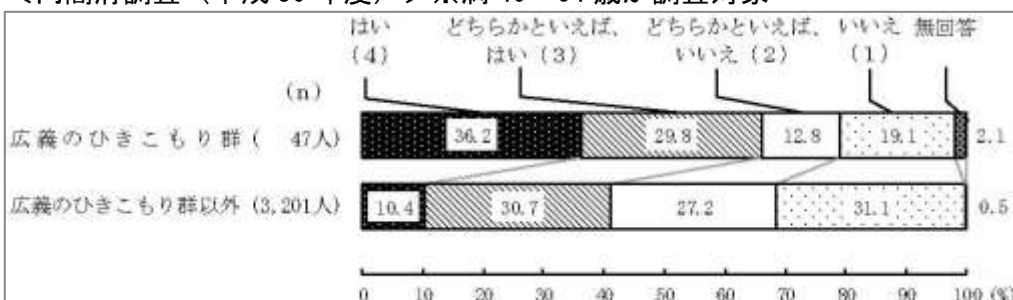
(12) 自分の今の状態について考えることがよくある

- 大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が35.0%、「はい」が30.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「はい」が、内閣府調査（平成27年度）では「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と同様に、「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせた割合が高く、一般群と比べて今の状態に悩みを抱えている傾向にある。

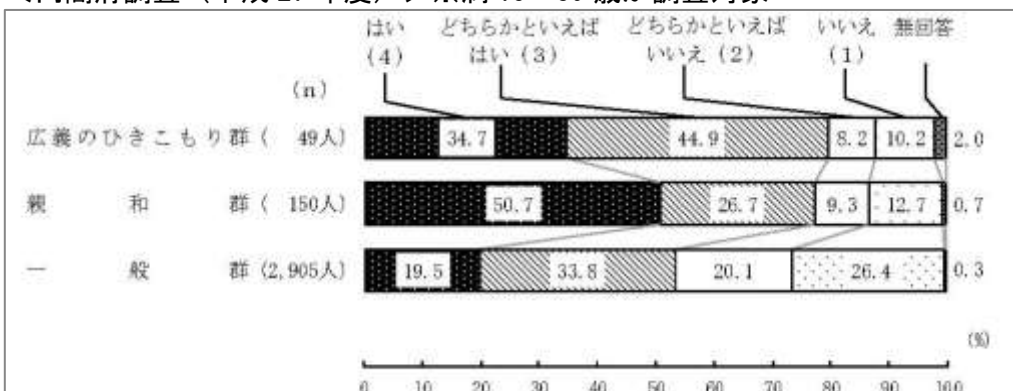
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象

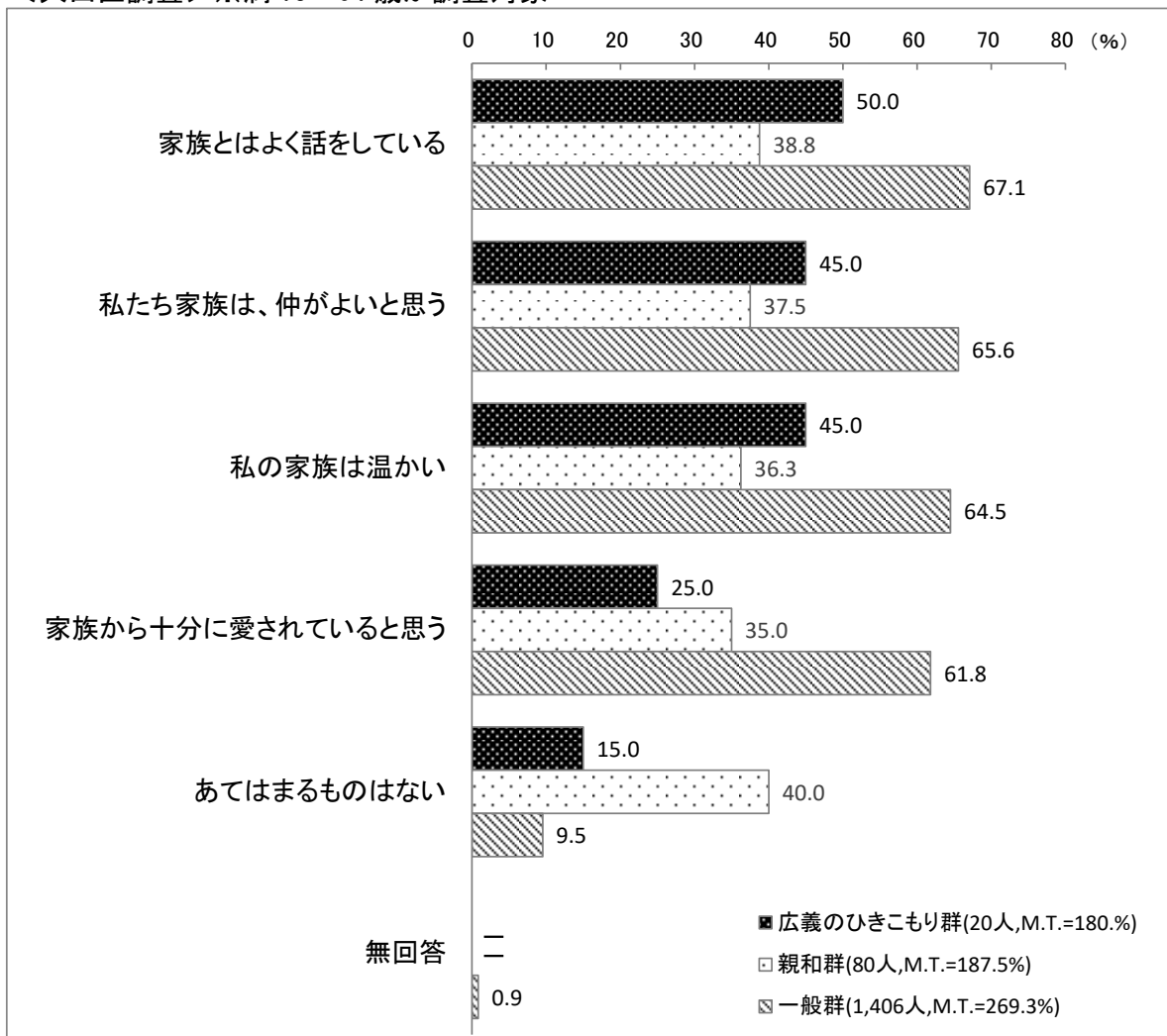


Q40(1)~(12)の結果をまとめると、大田区のひきこもり群は、自立した生活を送り、社会への関心を持ち、概ね整った生活リズムで過ごしていることがうかがえる。一方、信頼できる人が身近にいないと感じており、精神状態など今の自身の状態について考え、不安や悩みを抱えていることがうかがえる。

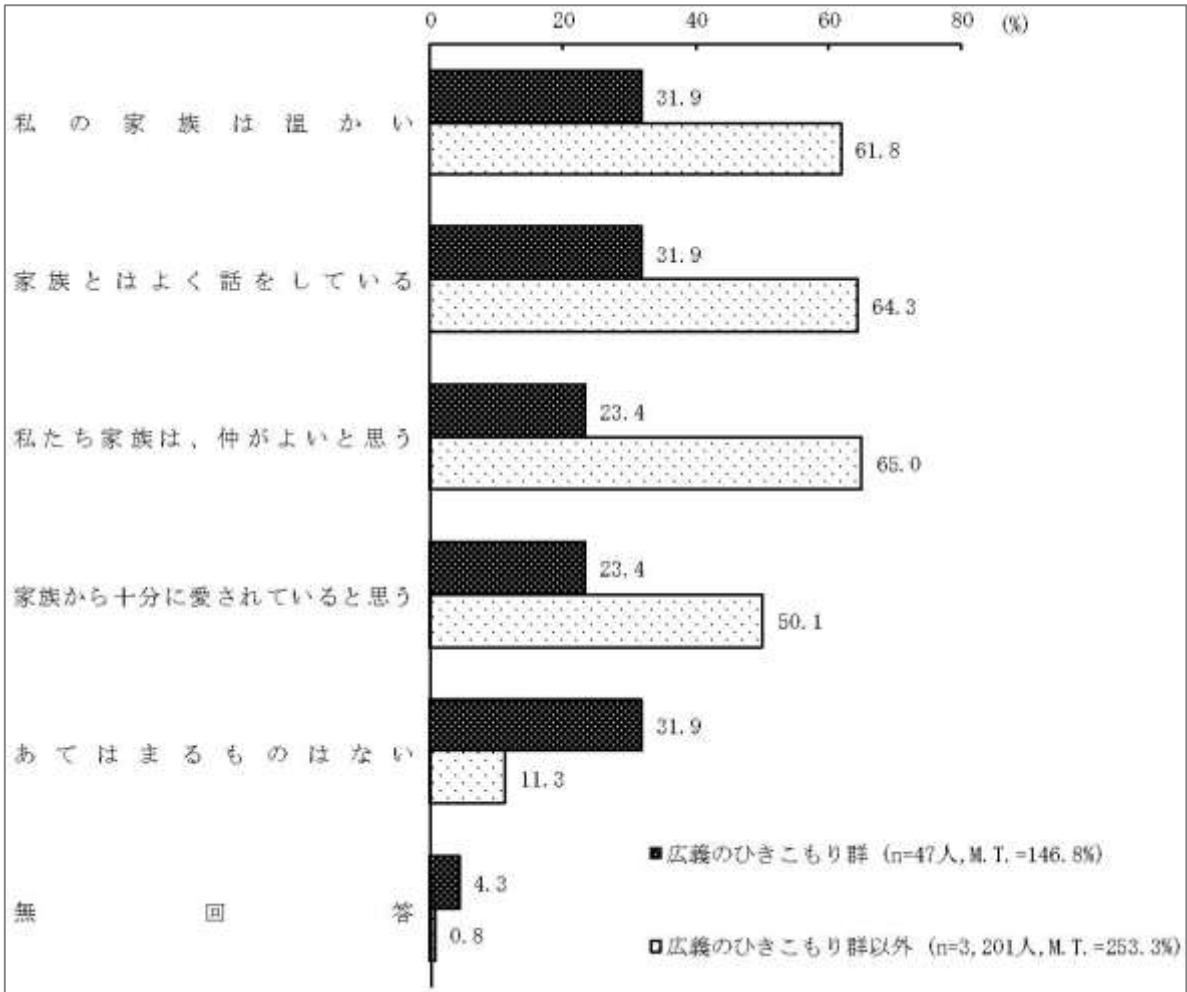
Q 4 1 次に挙げられたことの中で、あなたのご家族にあてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- 大田区のひきこもり群は「家族とはよく話をしている」が50.0%、「私たち家族は、仲がよいと思う」「私の家族は温かい」がそれぞれ45.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「私の家族は温かい」「家族とはよく話をしている」が上位となっている。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と同様の傾向にある。

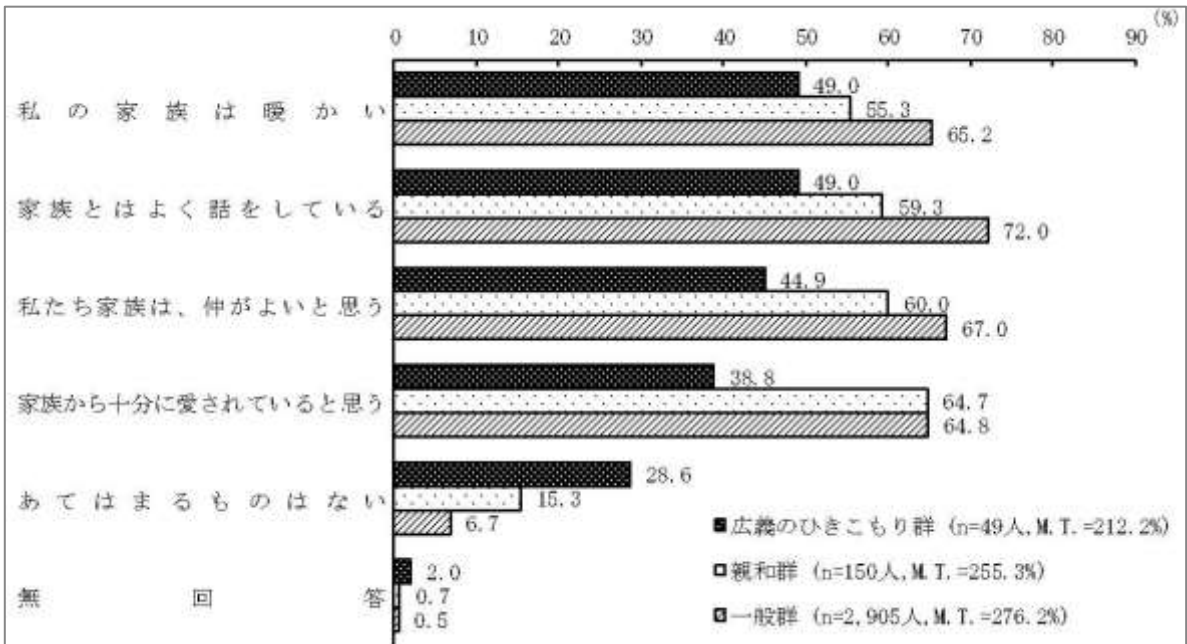
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

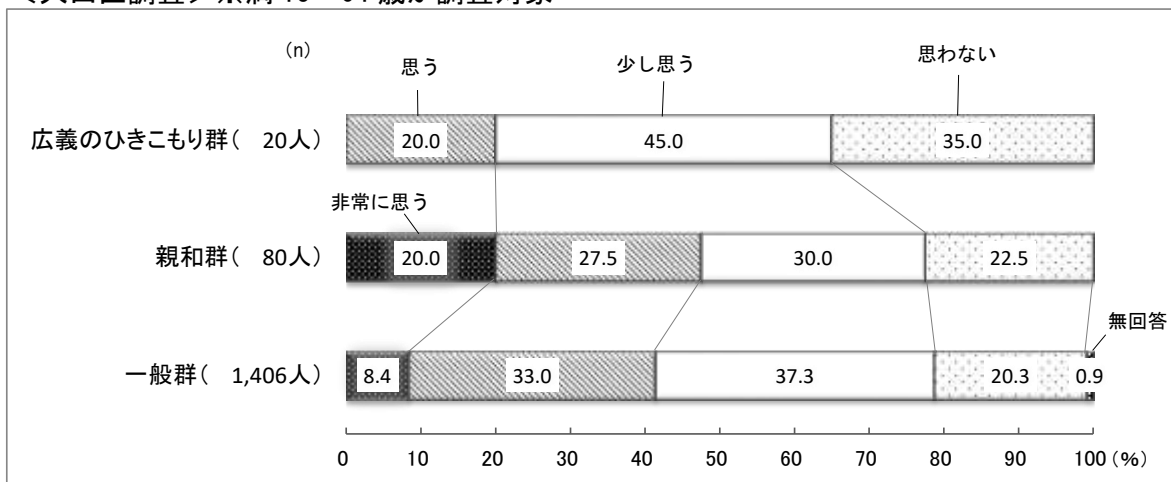


■ 悩みごとの相談について

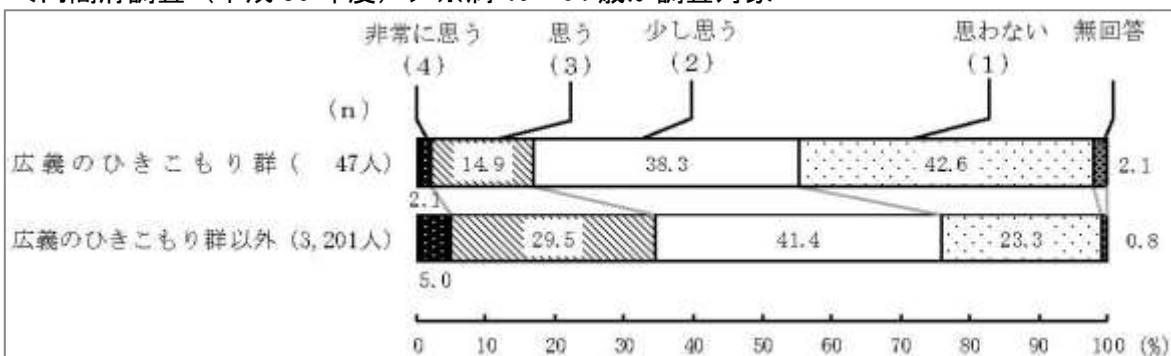
Q 4 2 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(単一回答)

- ・大田区のひきこもり群は「少し思う」が45.0%、「思わない」が35.0%となっている。
- ・内閣府調査(平成30・27年度)のひきこもり群は「思わない」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査(平成30・27年度)と比べて、「非常に思う」の回答はみられないものの、「思う」「少し思う」を合わせて6割以上を占めている。

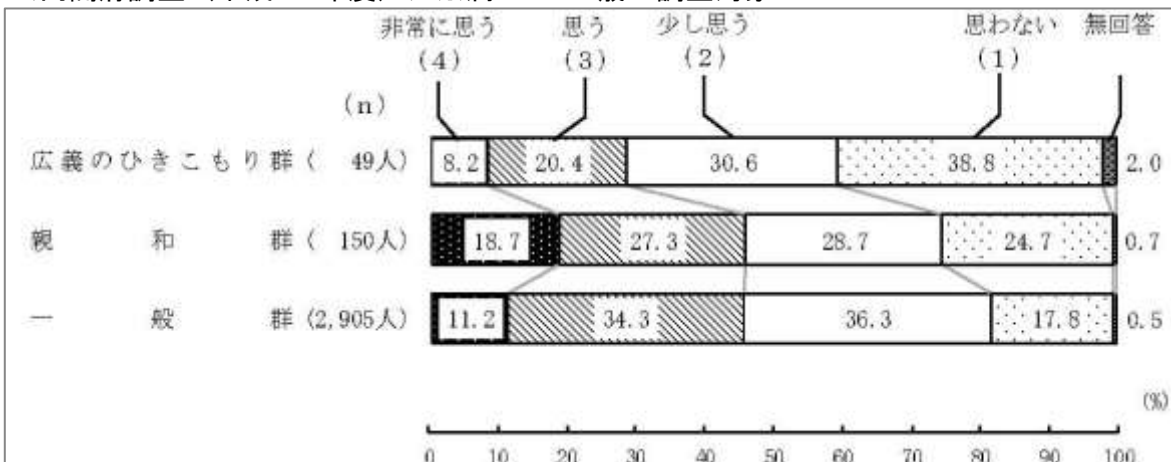
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査(平成30年度)＞※満40～64歳が調査対象



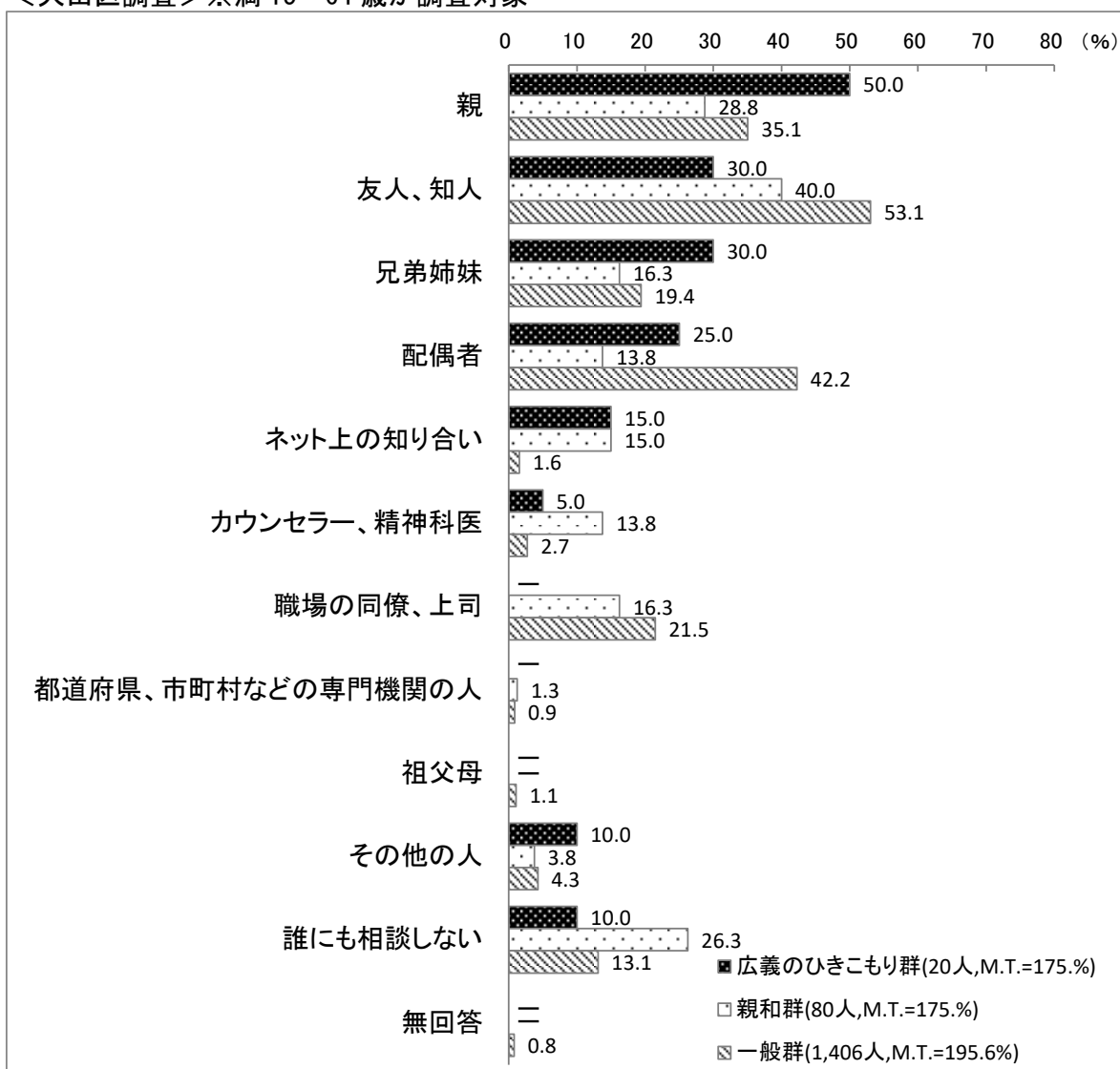
＜内閣府調査(平成27年度)＞※満15～39歳が調査対象



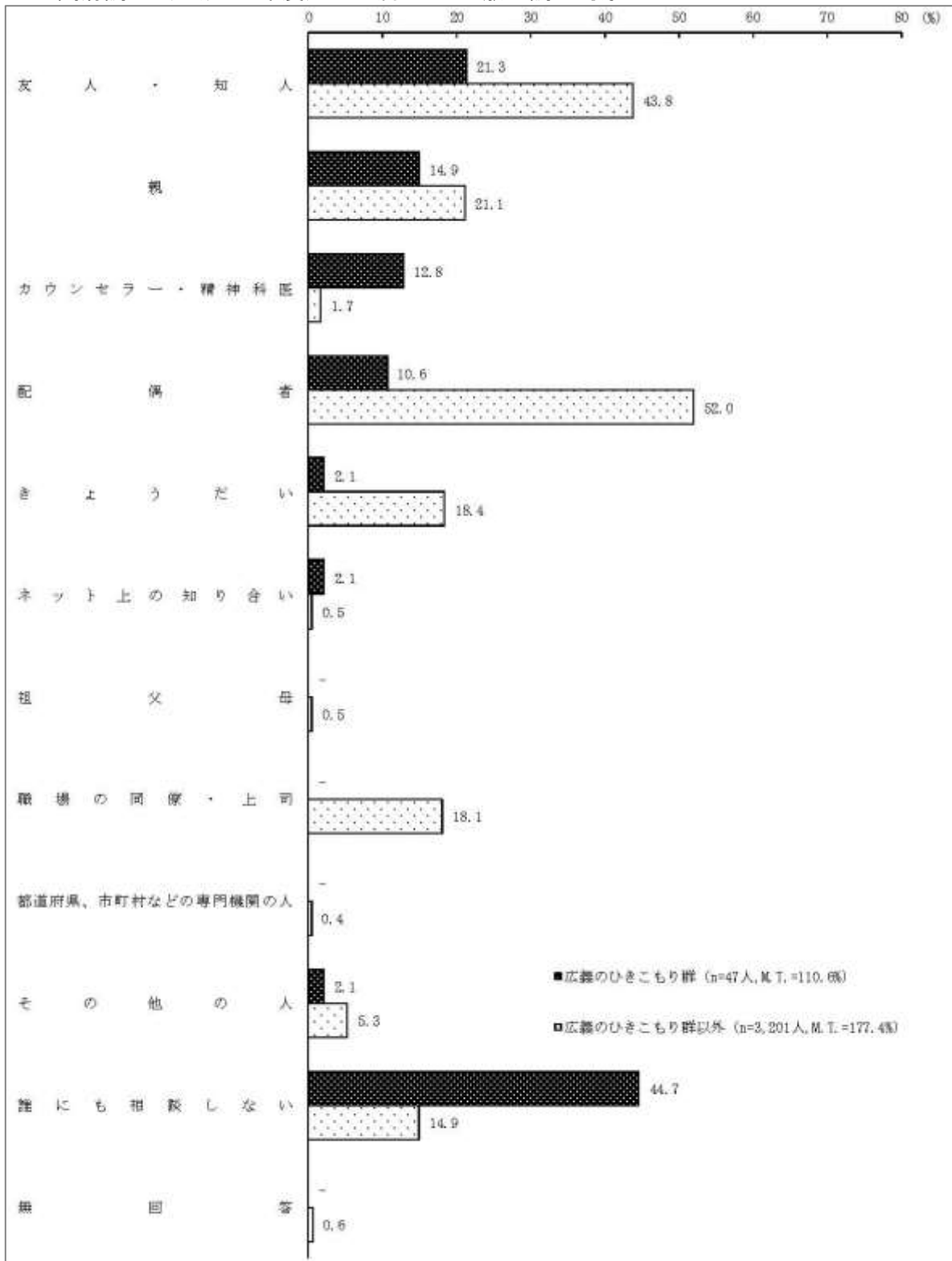
Q 4 3 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(複数回答)

- ・大田区のひきこもり群は「親」が50.0%、「友人、知人」「兄弟姉妹」がそれぞれ30.0%となっている。
- ・内閣府調査(平成30・27年度)のひきこもり群は「友人・知人」「親」が上位となっている。
- ・大田区では、内閣府調査(平成30・27年度)と比べて大きな差はみられず、相談相手として「友人、知人」「親」など身近な相手の割合が高い。一方、「誰にも相談しない」との回答は少ない。

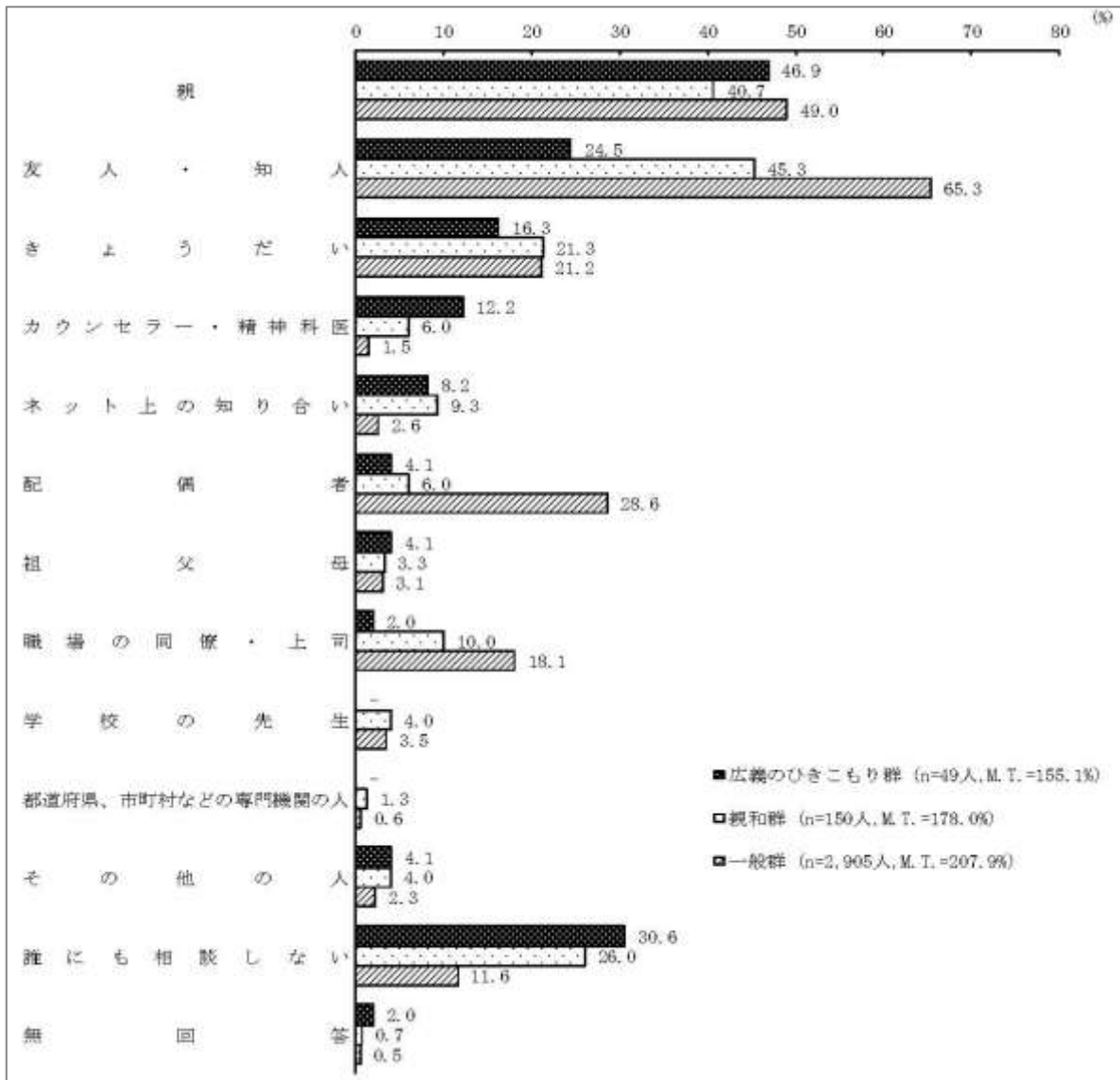
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

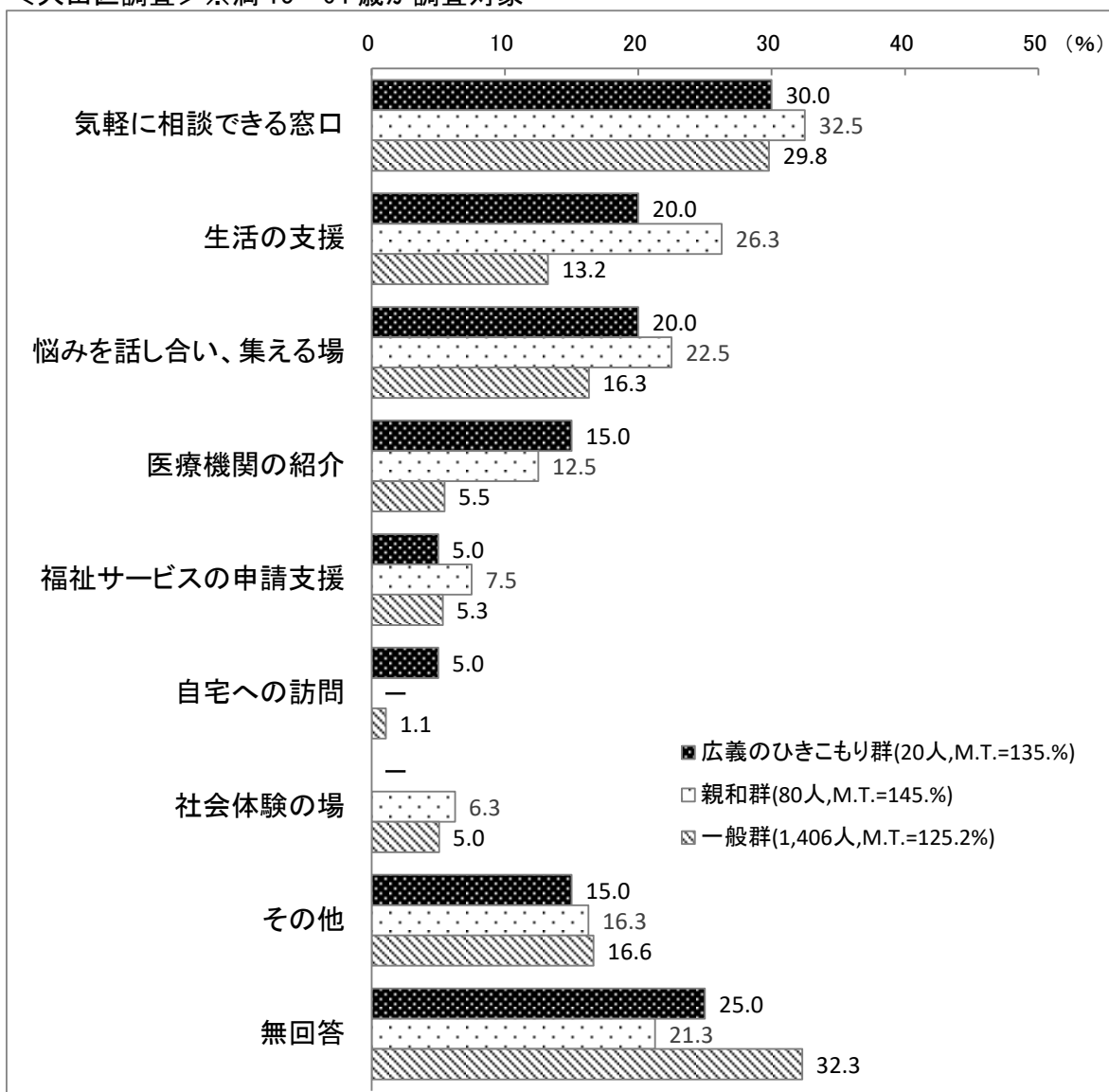


■ 必要な支援・あり方について

Q 4 4 現在の状態について、どのような支援が必要と感じますか。(複数回答)

- ・大田区のひきこもり群は「気軽に相談できる窓口」が30.0%、「生活の支援」「悩みを話し合い、集える場」がそれぞれ20.0%となっている。
- ・親和群や一般群でも同様の結果となっており、支援の中でも「気軽に相談できる窓口」の必要性を感じている割合が最も高い。

<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



Q 4 5 現在、大田区では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

- 支援の必要性を感じている回答が多く、相談できる場の設置やオンラインなど当事者とその家族に直接届くような支援体制に関する回答が多かった。

<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象

記述概要	回答数
支援が必要である	63
相談やカウンセリングの実施	28
当事者同士のグループ活動、居場所づくり等の設置	25
専門的な支援の構築	23
訪問や声かけなどの見守り実施	22
オンライン支援	21
当事者第一の支援	20
情報・広報の充実	20
当事者の家族へのサポートや支援の実施	12
社会との関わりを作るための支援	11
当事者への就労支援	10
関係機関とのネットワークづくり	4
当事者への経済的な支援	3
その他	66
	328

■ 不安なことについて

Q 4 6 現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。ご自由にお書きください。

- ・経済面や生活面に関する不安が高かった。新型コロナウイルスに関連した不安も多く、調査時の社会情勢が影響したとうかがえる。

<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象

記述概要	回答数
お金 (生活資金、教育資金、社会保障費、税金等)	71
新型コロナウイルス (就職活動、収入減、ストレス、アフターコロナの生活等)	65
老後 (生活資金、年金、健康、孤立等)	49
仕事 (仕事・職場が合わない、転職、失業、やりたいことがわからない等)	41
家族 (親の介護、子どもの将来、夫婦間トラブル等)	28
健康 (病気、孤独死等)	28
行政 (待機児童問題、子育て支援、高齢者への介護支援等)	25
政治 (政治不信、格差社会、経済、税金、少子高齢化等)	22
生活 (自立、不安定な生活、信頼できる人がいない等)	22
制度 (年金、社会保障、ジェンダー不平等等)	21
恋愛・結婚 (独身、相手が見つからない等)	11
勉強 (卒業・合格できるか、進路等)	6
その他	109
	498

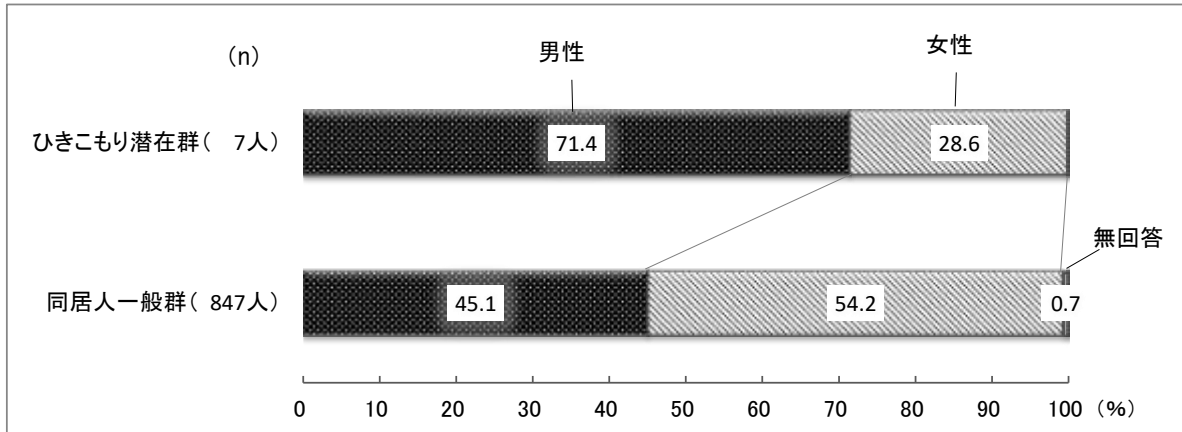
3-2 同居人票

■ 基本属性

Q 1 調査対象の方の性別をお答えください。(単一回答)

- ・ひきこもり潜在群は「男性」が71.4%、「女性」が28.6%となっている。

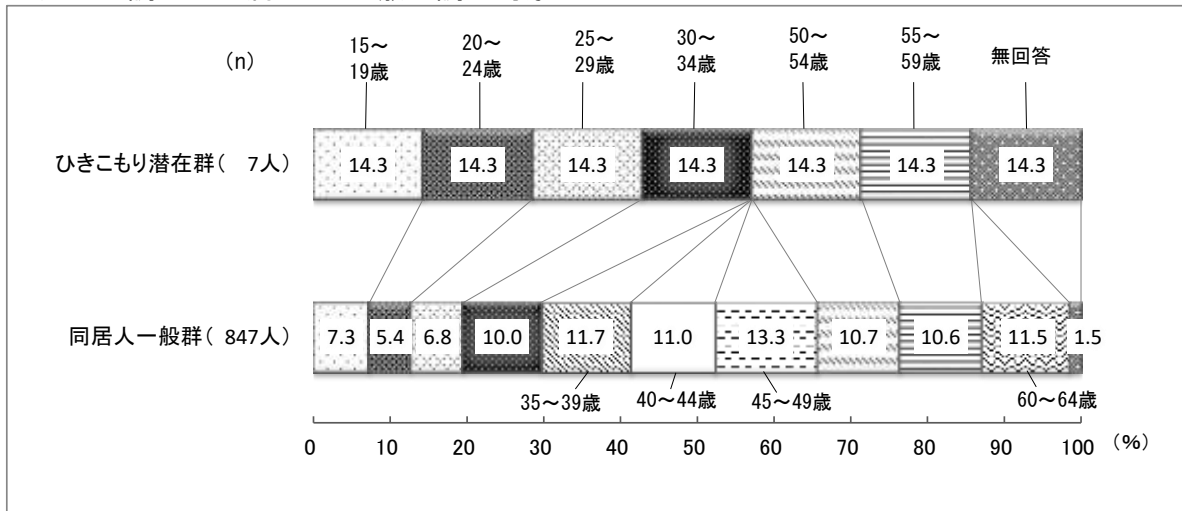
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



Q 2 調査対象の方の年齢をお答えください。(単一回答)

- ・ひきこもり潜在群は「15～34 歳」「50～59 歳」となっている。30 代後半～40 代は該当者なし。

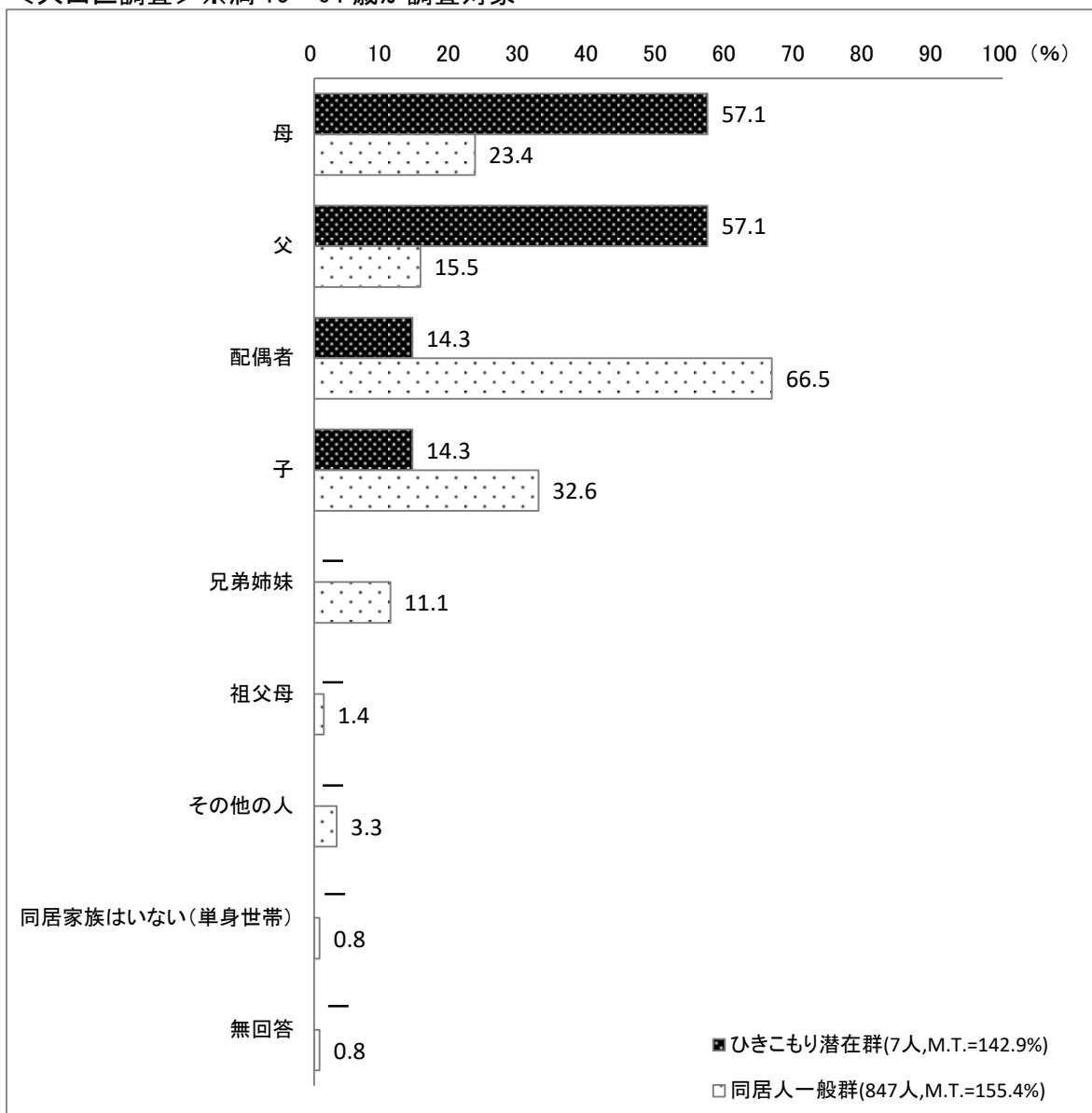
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



Q3 現在、調査対象の方と同居している方について、調査対象の方から見て該当するものに○をつけてください。(複数回答)

- ひきこもり潜在群は「母」「父」が57.1%、同居人一般群では「配偶者」が66.5%、「子」が32.6%となっている。
- ひきこもり潜在群では、同居人一般群と比べて両親と同居の割合が高い。

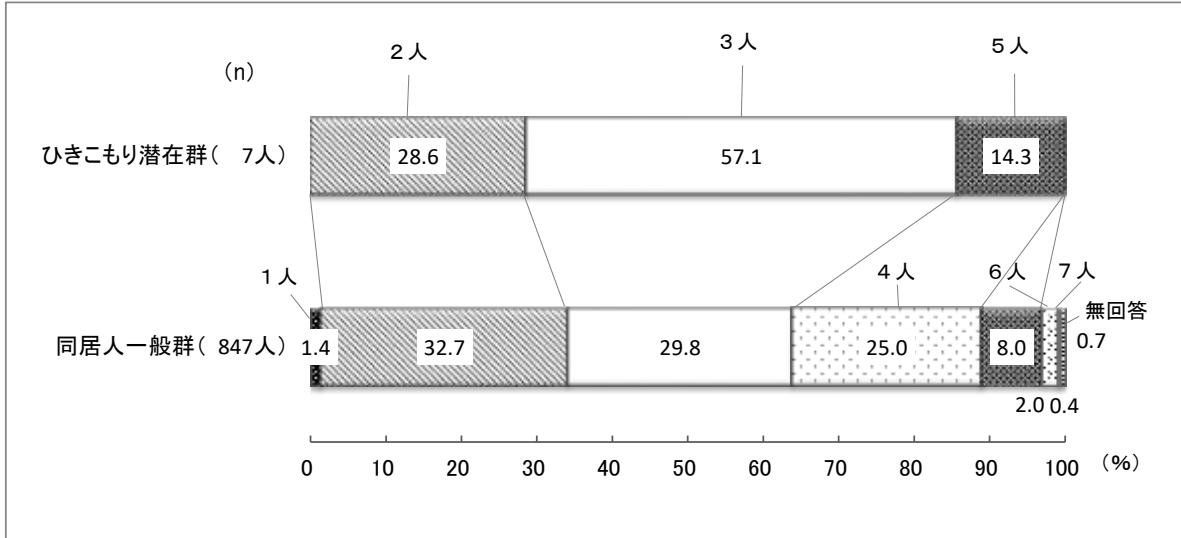
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



Q 4 現在、同居している人は合計で何人ですか。調査対象の方も含めた人数を記入してください。(数字で具体的に)

- ・ひきこもり潜在群は「3人」が57.1%、「2人」が28.6%となっている。

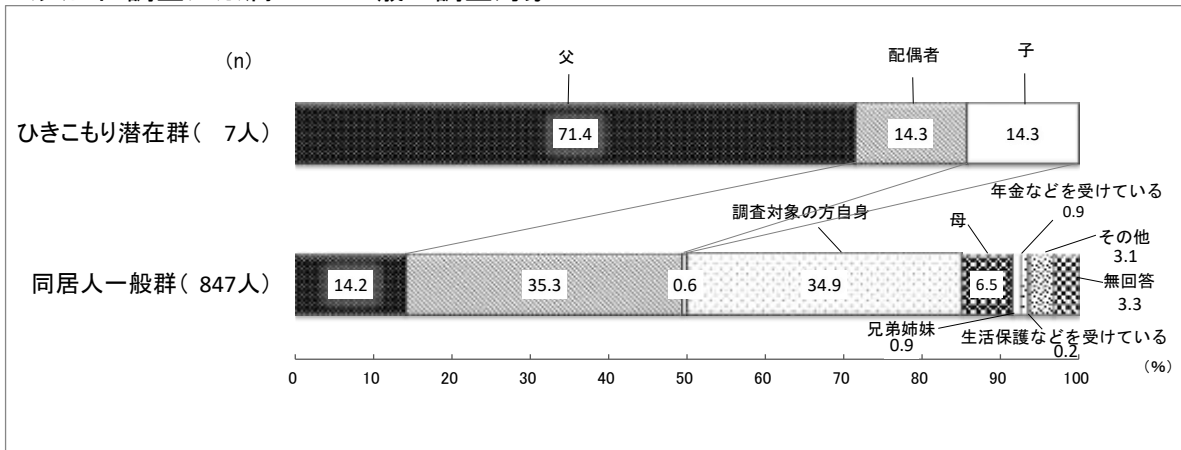
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



Q 5 調査対象の方の家の生計を立てているのは、主に調査対象の方から見てどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、調査対象の方が、主に仕送りで生計を立てている場合は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(単一回答)

- ・ひきこもり潜在群は「父」が71.4%、同居人一般群は「配偶者」が35.3%、「調査対象の方自身」が34.9%となっている。
- ・ひきこもり潜在群では、同居人一般群と比べて父の割合が高い。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

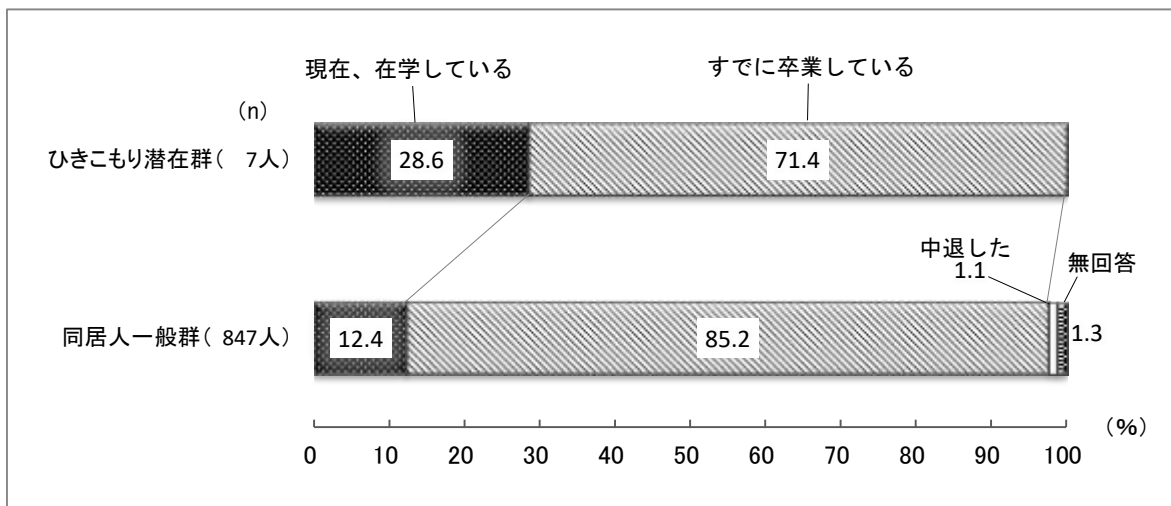


■ 学校のことについて

Q 6 調査対象の方は現在、学校に通っていますか。(単一回答)

- ひきこもり潜在群は「すでに卒業している」が71.4%、「現在、在学している」が28.6%となっている。

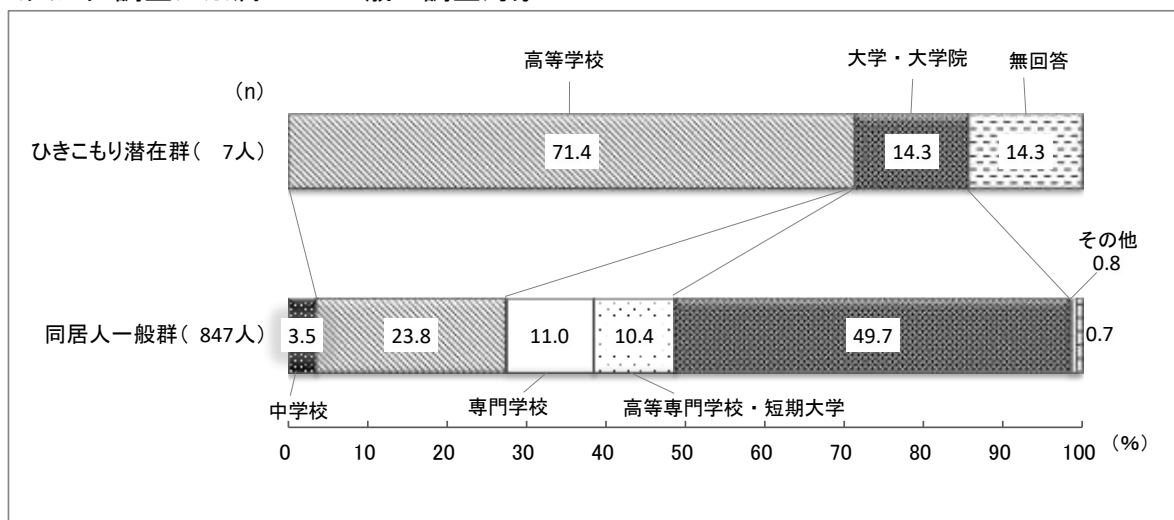
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



Q 7 調査対象の方が最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。(単一回答)

- ひきこもり潜在群は「高等学校」が71.4%、「大学・大学院」が14.3%、同居人一般群は「大学・大学院」が49.7%、「高等学校」が23.8%となっている。
- ひきこもり潜在群では、同居人一般群と比べて「高等学校」の割合が高い。

＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象

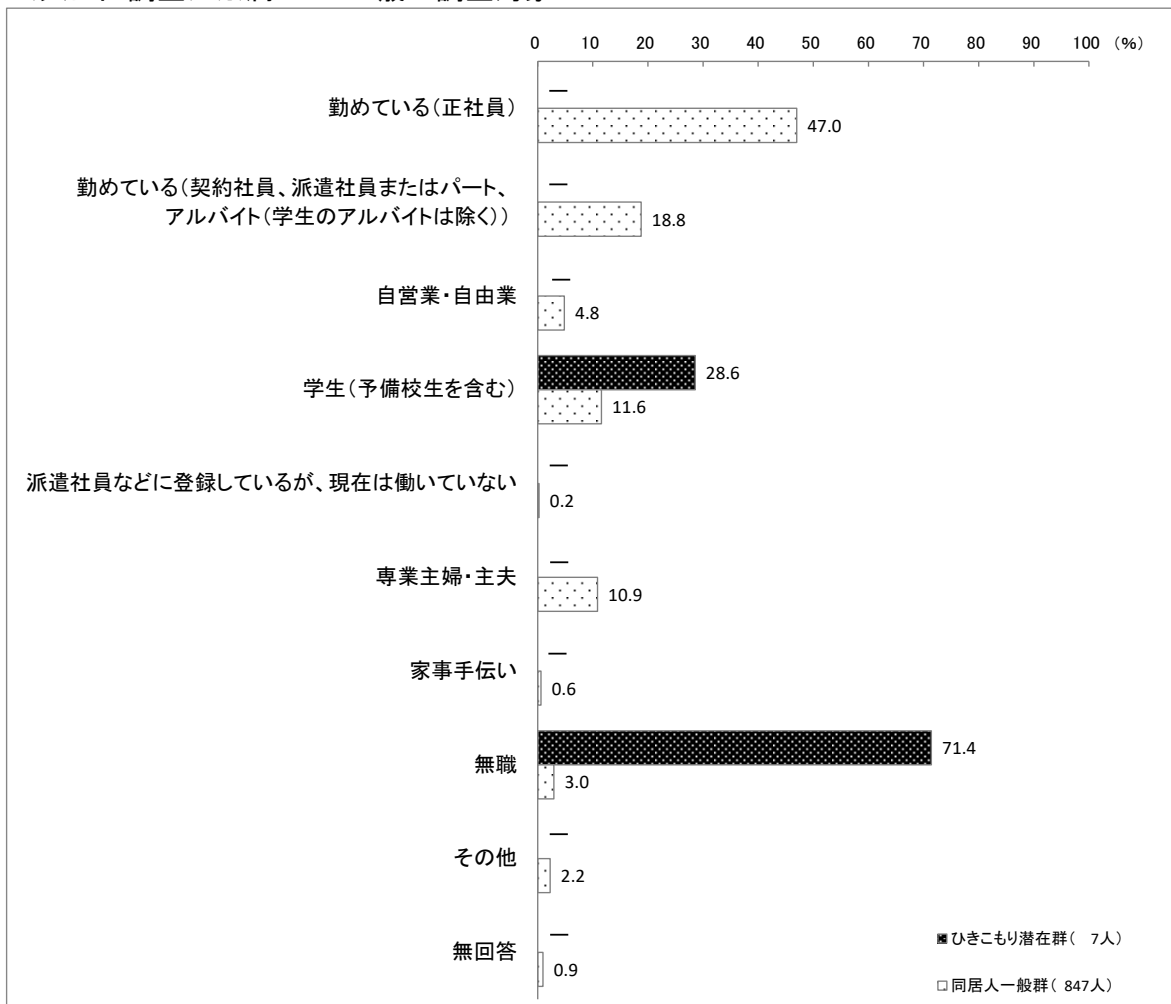


■ 仕事のことについて

Q 8 調査対象の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(単一回答)

・ひきこもり潜在群は「無職」が71.4%、「学生(予備校生を含む)」が28.6%となっている。

<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象

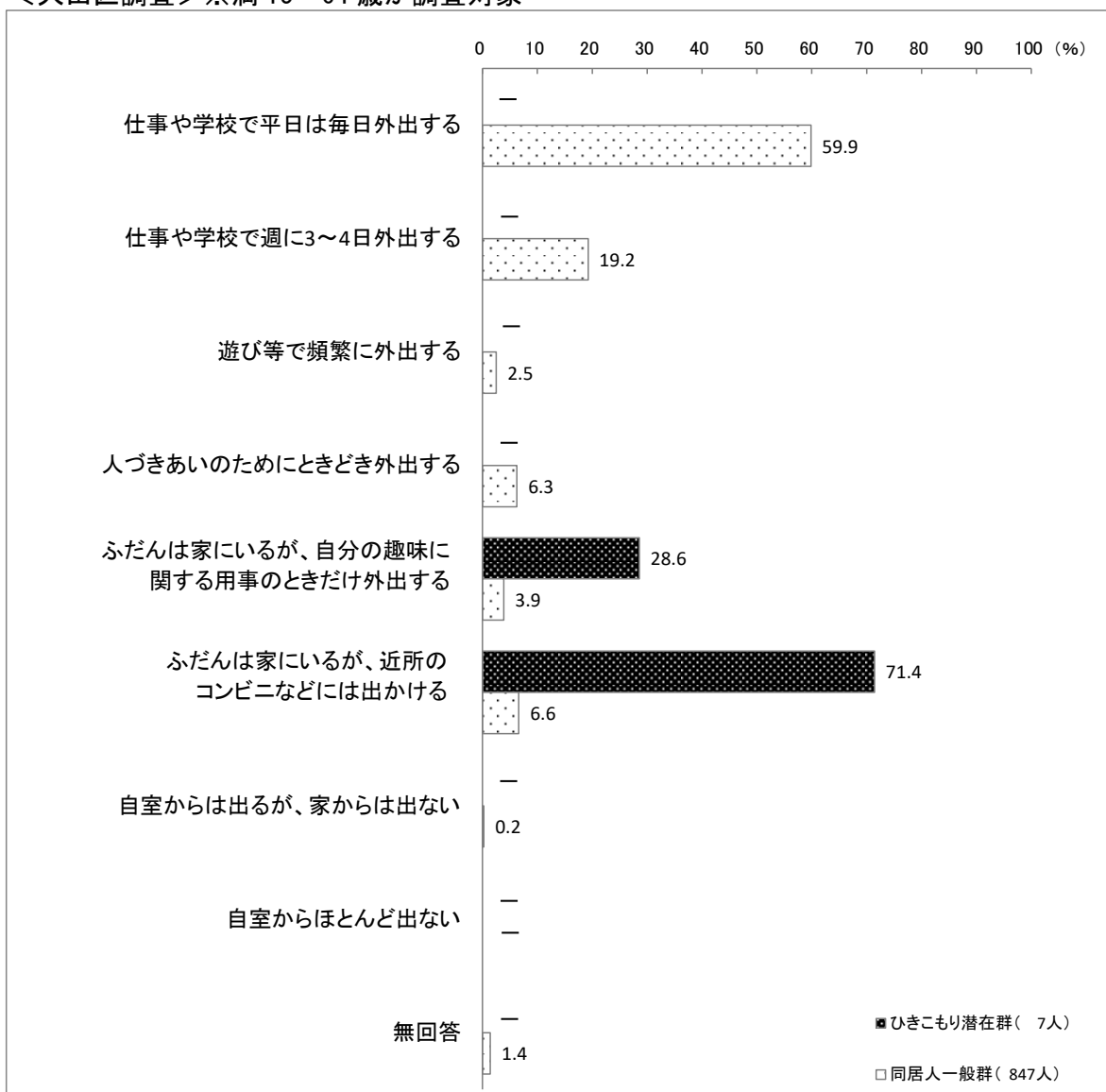


■ ふだんの生活について

Q 9 調査対象の方は、ふだんのくくらい外出しますか。(単一回答)

- ひきこもり潜在群は「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 71.4%、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が 28.6%となっている。
- 本人票 Q21 と同様に、自室もしくは自宅から出ないという回答はみられない。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

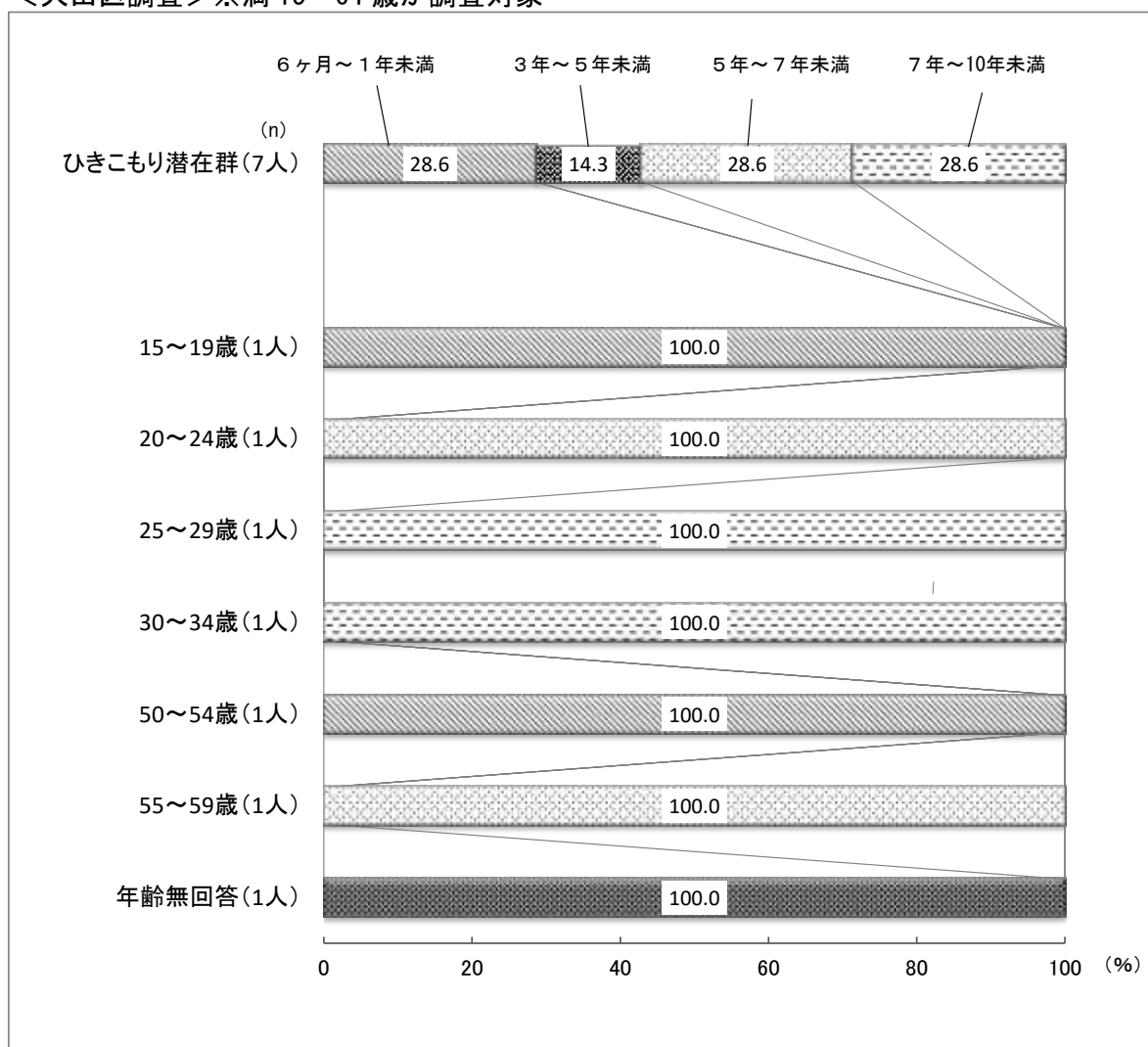


Q10 調査対象の方が、現在の状態となってどのくらい経ちますか。(単一回答)

※Q9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ひきこもり潜在群は「6ヶ月～1年未満」「5年～7年未満」「7年～10年未満」がいずれも28.6%、「3年～5年未満」が14.3%となっている。

<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象

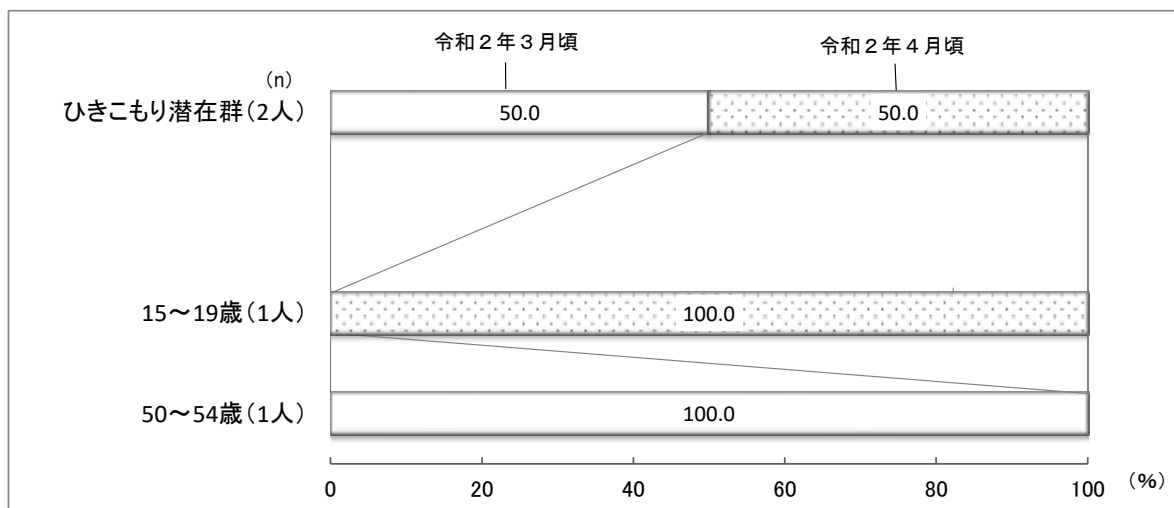


Q 1 1 おおよその時期を記入してください。(数字で具体的に)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 1 0 現在の状態になってからの期間に関する設問で「1～2」の6か月未満又は6か月～1年未満と選択した方のみ回答

- ひきこもり潜在群は「令和2年3月頃」及び「令和2年4月頃」が50.0%となっている。これについては、新型コロナウイルスの影響が考えられる。

<大田区調査>※満15～64歳が調査対象

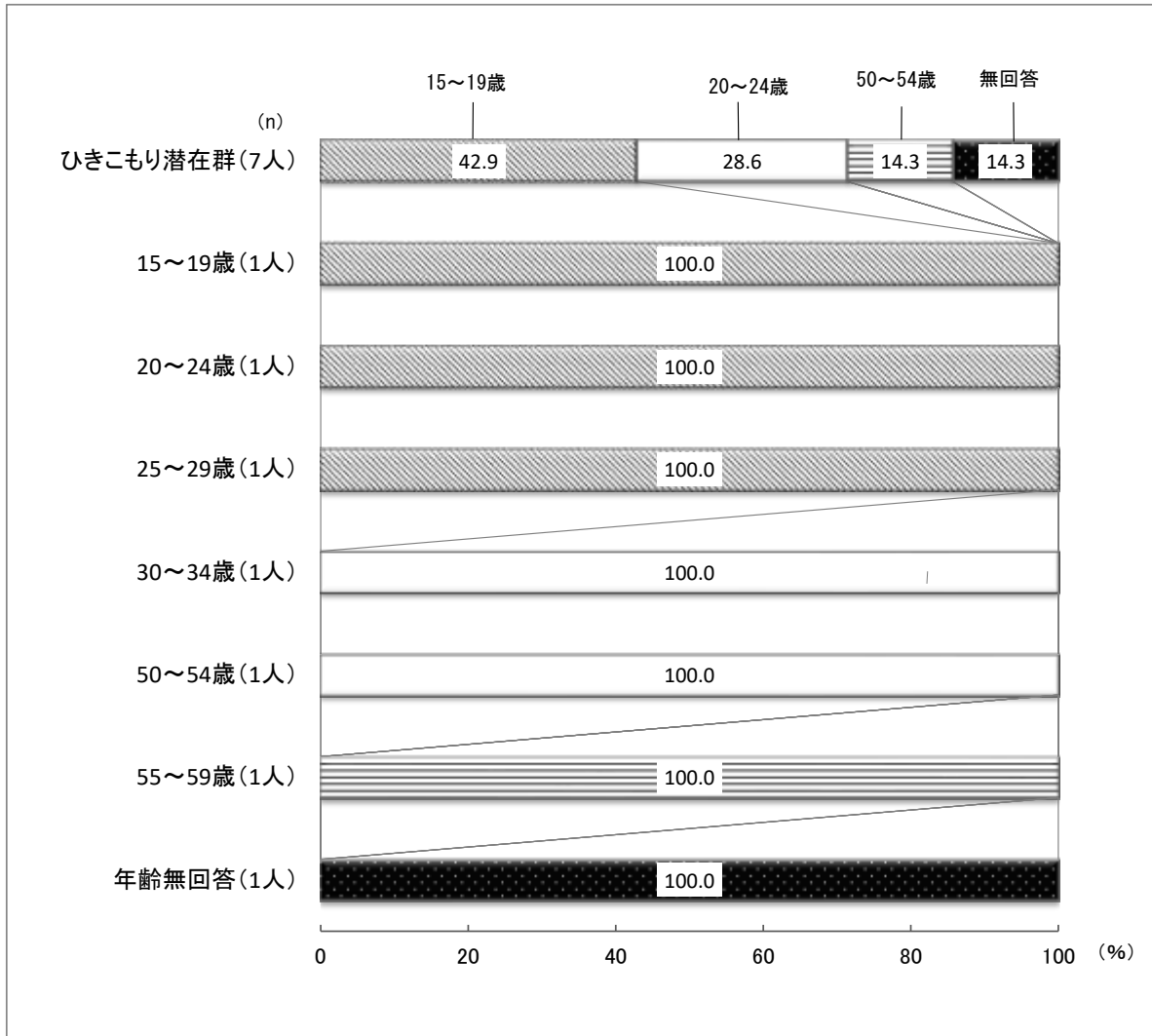


Q 1 2 初めて現在の状態になったのは、調査対象の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ひきこもり潜在群は「15～19歳」が42.9%、「20～24歳」が28.6%となっている。
- 本人票Q24と同様に、10～20代との回答が7割以上を占めており、きっかけが若年の時期にあることがうかがえる。

<大田区調査>※満15～64歳が調査対象

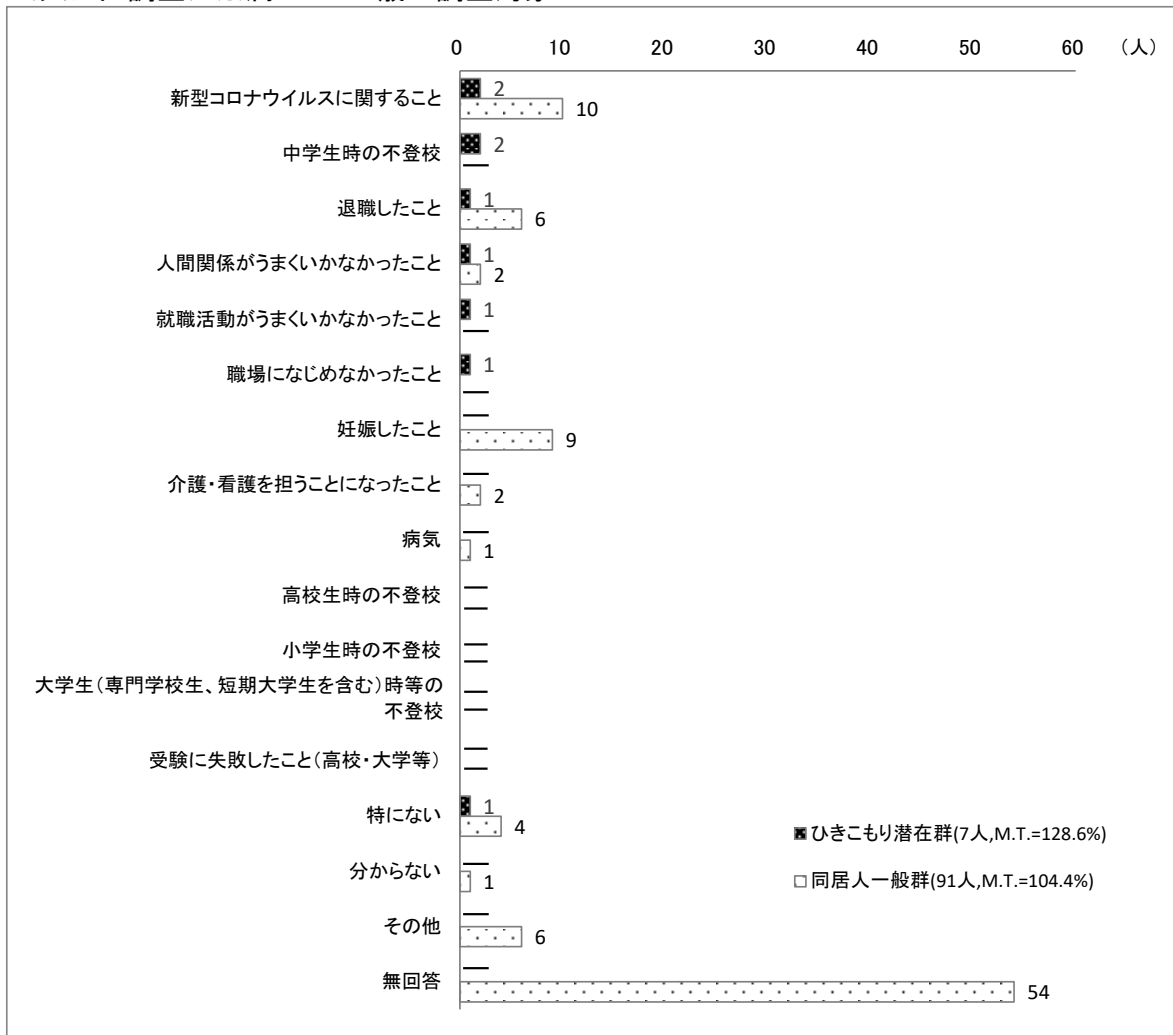


Q 13 調査対象の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ひきこもり潜在群は「新型コロナウイルスに関すること」「中学生時の不登校」が上位になっている。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



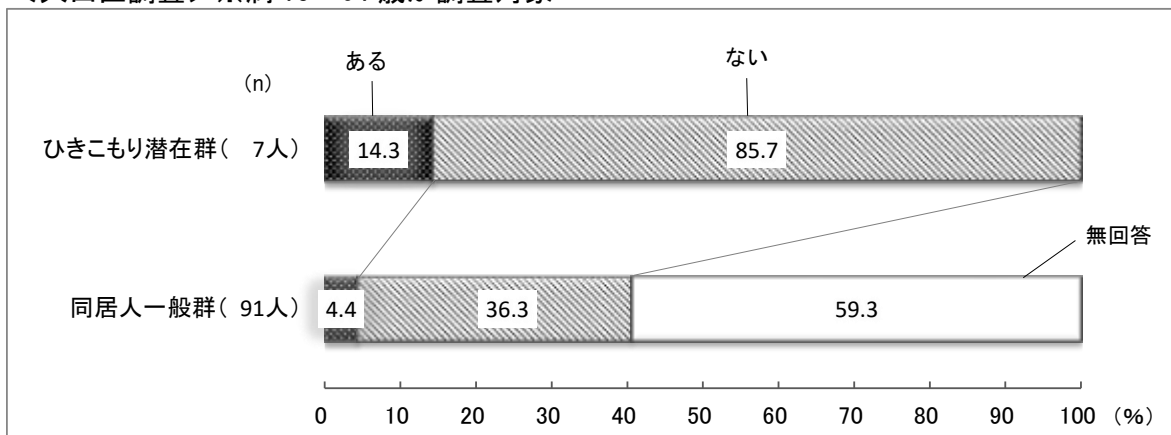
Q 1 4現在の状態について、調査対象の方が関係機関に相談したことはありますか。

(単一回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ・ひきこもり潜在群は「ない」が85.7%、「ある」が14.3%となっている。
- ・本人票 Q30 と同様に、相談したことがない割合が高いが、一方、「ある」との回答もあり、当事者の状況によって相談につながっていることがうかがえる。

<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象



Q 1 5どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことの機関に○をつけてください。

(複数回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 1 4現在の状態について、関係機関への相談の有無に関する設問で「1」のあると選択した方のみ回答

<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象

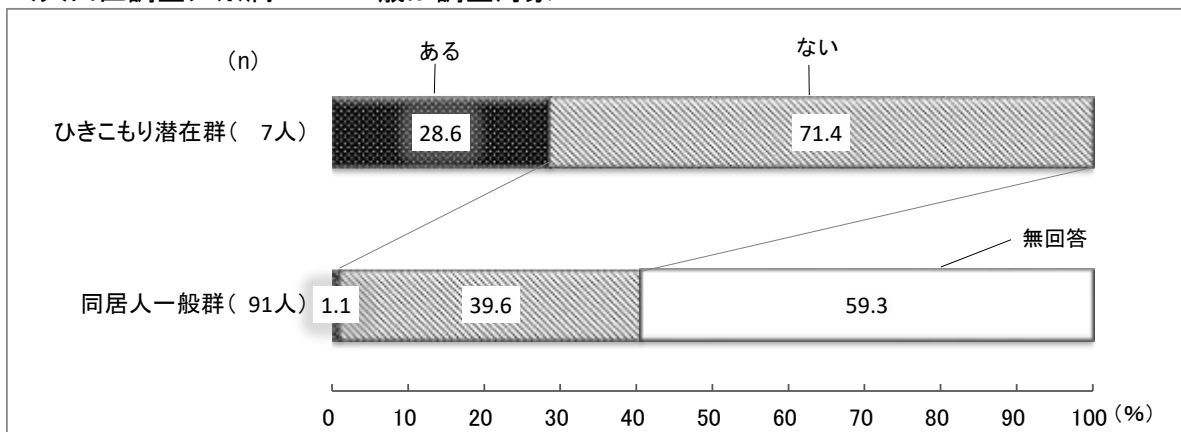
	ひきこもり潜在群(2人)	同居人一般群(4人)
生活福祉課、福祉事務所	1	
適応指導教室	1	
病院、診療所		2
職業安定所(ハローワーク)、ジョブカフェ、地域若者サポートステーションなどの就労支援機関		1
その他の施設・機関		1

Q 1 6現在の状態について、調査対象者と同居されている方が関係機関に相談したことはありますか。(単一回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ひきこもり潜在群は「ない」が71.4%、「ある」が28.6%となっている。
- 同居人票Q14 と比べて「ある」の割合が高く、当事者より同居している人の方が相談につながりやすい傾向にある。

＜大田区調査＞※満 15～64 歳が調査対象



Q 1 7どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことの機関に○をつけてください。(複数回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 1 6現在の状態について、関係機関への相談の有無に関する設問で「1」のあると選択した方のみ回答

＜大田区調査＞※満 15～64 歳が調査対象

	ひきこもり潜在群(3人)	同居人一般群(1人)
病院、診療所	1	
教育センター・教育相談室	1	
職業安定所(ハローワーク)、ジョブカフェ、地域若者サポートステーションなどの就労支援機関		1
上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)	1	

Q 1 8 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 1 6 現在の状態について、関係機関への相談の有無に関する設問で「1」のあると選択した方のみ回答

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

	ひきこもり潜在群(1人)
今の状況を継続していく。	1

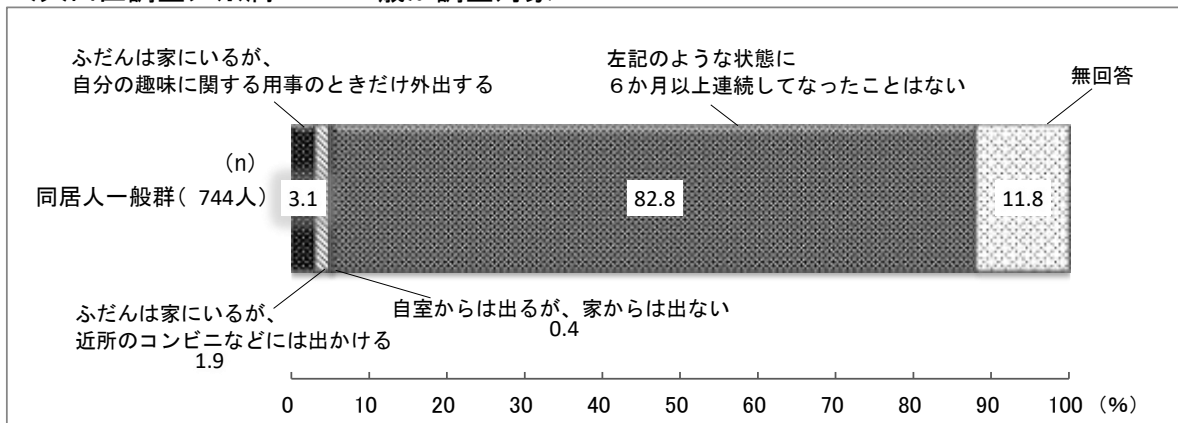
■ 過去の生活について

Q 1 9 調査対象の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。(単一回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「1～4」の平日は仕事や学校で外出する又は人づきあいのためときどき外出すると選択した方のみ回答

- ・ひきこもり潜在群は該当者なし。
- ・同居人一般群は「左記のような状態に6か月以上連続してなったことはない」が82.8%となっている。一方、外出機会が限定的な方や家から出ない生活をしていた方も合わせて5%程度みられた。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

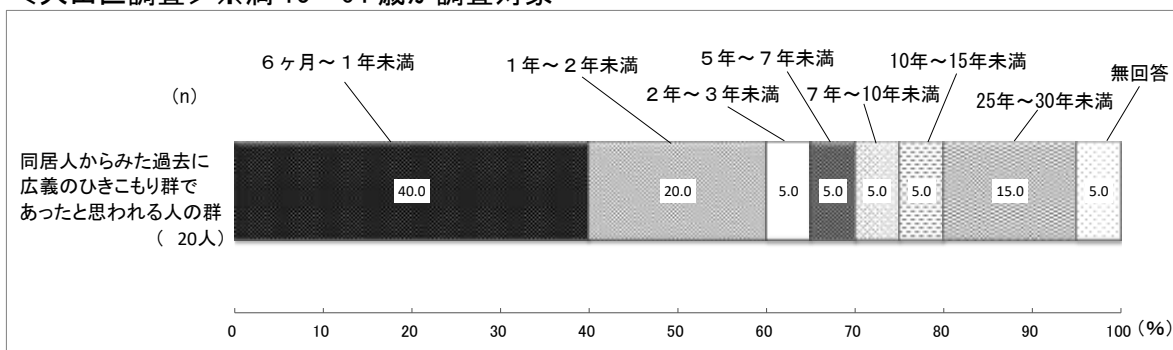


Q 2 0 その状態はどれくらい続きましたか。(単一回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「1～4」の平日は仕事や学校で外出する又は人づきあいのためときどき外出すると選択した方かつ、Q 1 9 過去の外出状況に関する設問で「1～4」の6か月以上連続して趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ・大田区の同居人票からみた過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群（以下、「同居人票からみた過去の広義のひきこもり群」という。）は「6か月～1年未満」が40.0%、「1年～2年未満」が20.0%となっている。
- ・本人票 Q34 の過去の広義のひきこもり群と同様に短期間の傾向にある。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

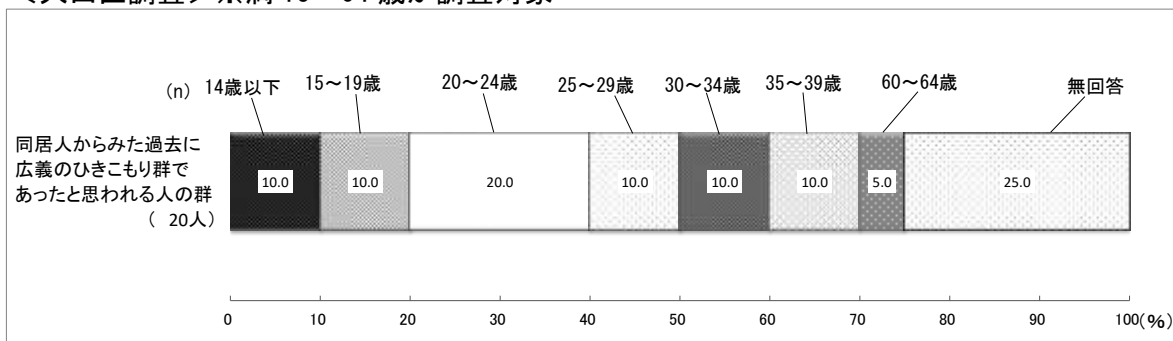


Q 2 1 初めてその状態になったのは、調査対象の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「1～4」の平日は仕事や学校で外出する又は人づきあいのためときどき外出すると選択した方かつ、Q 1 9 過去の外出状況に関する設問で「1～4」の6か月以上連続して趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ・大田区の同居人票からみた過去の広義のひきこもり群は「20～24歳」が20.0%となっている。
- ・本人票 Q35 の過去の広義のひきこもり群と同様に、30歳未満の割合が高く5割を占めており、過去に外出頻度が限定的になったきっかけが若年の時期にあったことがうかがえる。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

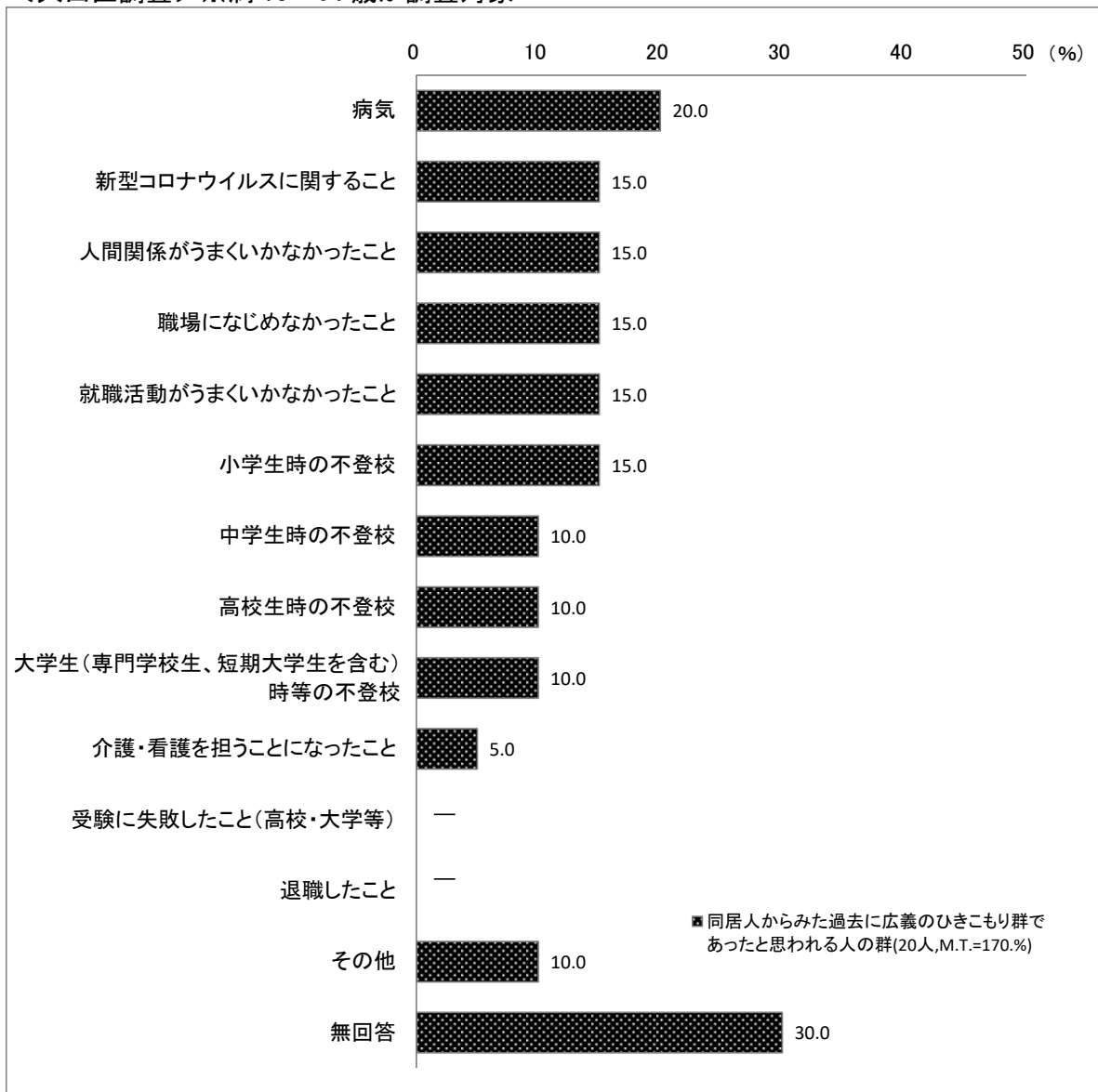


Q 2 2 調査対象の方がその状態になったきっかけは何でしたか。(複数回答)

※Q 9 ふだんの外出状況に関する設問で「1～4」の平日は仕事や学校で外出する又は人づきあいのためときどき外出すると選択した方かつ、Q 1 9 過去の外出状況に関する設問で「1～4」の6か月以上連続して趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ・大田区の同居人票からみた過去の広義のひきこもり群は「病気」が20.0%、「新型コロナウイルスに関すること」「人間関係がうまくいかなかったこと」「職場になじめなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」「小学生時の不登校」がそれぞれ15.0%となっている。
- ・本人票 Q36 の過去の広義のひきこもり群と比べて「病気」が多かったものの、人間関係や不登校などの回答が多く同様の傾向にある。

<大田区調査>※満15～64歳が調査対象

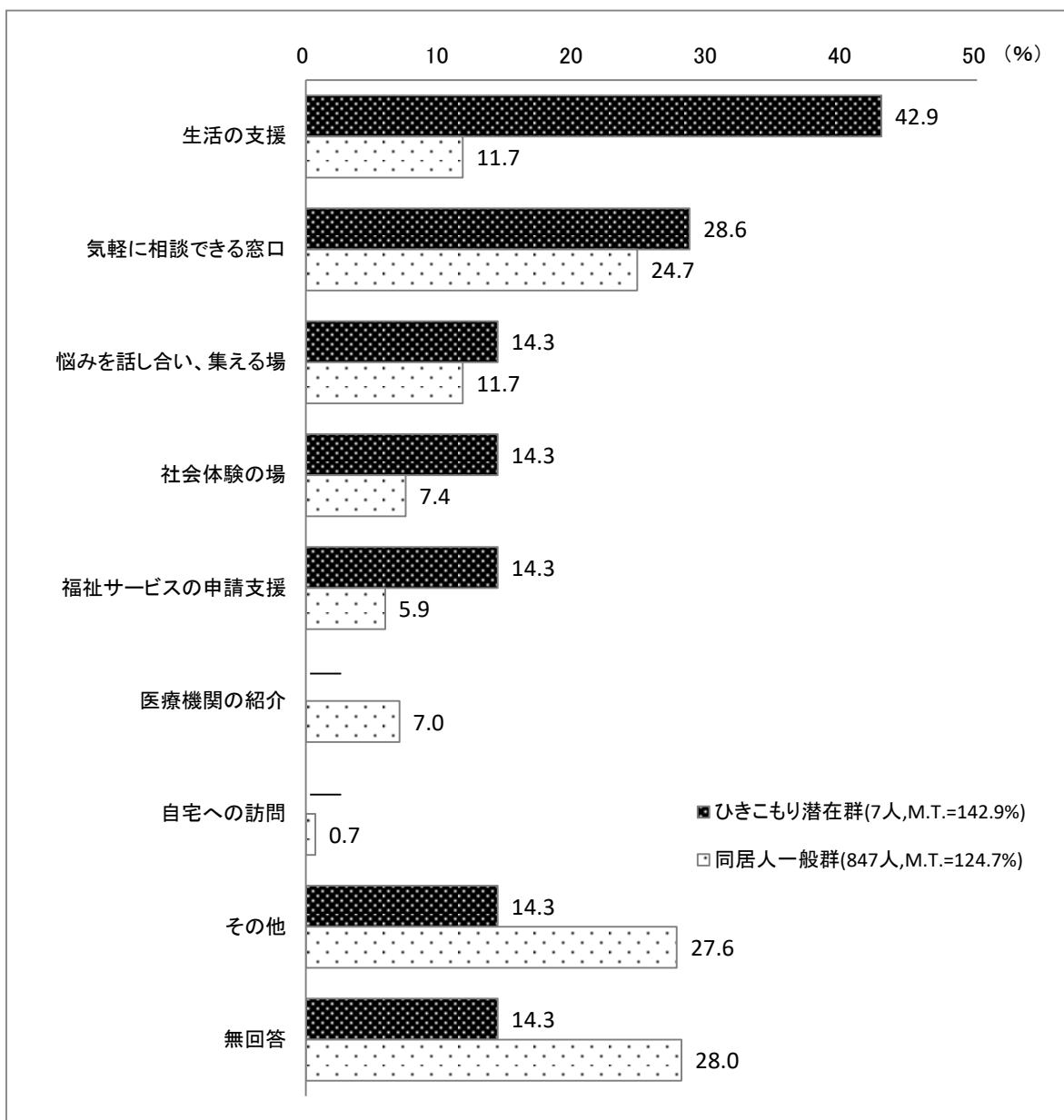


■ 必要な支援・あり方について

Q 2 3 調査対象の方の現在の状態について、どのような支援が必要と感じますか。(複数回答)

- ・ひきこもり潜在群は「生活の支援」が42.9%、「気軽に相談できる窓口」が28.6%、同居人一般群では「気軽に相談できる窓口」が24.7%となっており、「気軽に相談できる窓口」や「生活の支援」の必要性を感じている割合が高い。

<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



Q 2 4 現在、大田区では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

- 本人票 Q45 と同様に、支援の必要性を感じている回答が多く、相談できる場の設置やオンラインなど当事者とその家族に直接届くような支援体制に関する回答が多くみられた。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

記述概要	回答数
支援が必要である	15
オンライン支援	12
当事者の家族へのサポートや支援の実施	11
相談やカウンセリングの実施	10
専門的な支援の構築	10
社会との関わりを作るための支援	9
情報・広報の充実	9
訪問や声かけなどの見守り実施	7
当事者への就労支援	5
当事者第一の支援	4
関係機関とのネットワークづくり	3
当事者同士のグループ活動、居場所づくり等の設置	3
当事者への経済的な支援	2
その他	79
	179

Q 25 調査対象の方に関して、現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。ご自由にお書きください。

- ・生活面や経済面に関する不安が高かった。新型コロナウイルスに関連した不安も多く、調査時の社会情勢が影響したとうかがえる。

<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象

記述概要	回答数
生活 (不安定な生活、親亡き後の生活、子育て等)	25
新型コロナウイルス (就職活動、学校生活、収入減、ストレス、アフターコロナの生活等)	22
お金 (生活資金、収入減等)	18
行政 (待機児童問題、子育て支援、ひとり親への支援、高齢者への介護支援等)	16
仕事 (就職活動、雇用不安等)	14
健康 (病気、過労等)	13
老後 (生活資金、年金、老々介護等)	13
制度 (年金、働き方改革等)	6
勉強 (オンライン授業、進路等)	6
政治 (少子高齢化、経済、オリンピック等)	3
家族 (待機児童問題、こどもの生活態度)	2
恋愛・結婚 (出会いがないこと)	1
その他	86
	225

4 まとめ

今回の調査において、大田区のひきこもり群は、若年層と中高年層の割合が高いものの全世代にわたっており、ひきこもりの要因も人間関係の不調や不登校の経験など様々であった。平成 27 年度及び平成 30 年度に内閣府が行った調査と概ね同様の傾向であったが、大田区のひきこもり群は、ひきこもり期間が比較的短く、外出機会は限られるものの自室もしくは自宅から出ない方はいなかった。

こうした結果を踏まえ、大田区のひきこもり支援のあり方を検討するに当たり、重視すべき視点を整理した。

1 相談窓口の設置、専門性を有する相談員の配置

○関係機関へ相談したことのある方は少なく、相談しても解決できないと考える方は多いが、一方で悩み事を誰かに相談したいと思っている方は多い。また、本人より家族のほうが相談につながりやすい傾向にある。ひきこもりの予防や長期化を防ぐためには、早めの相談や早期支援が望ましいが、対人緊張や不安から関係機関への相談を躊躇する方も多いと考えられる。各世代について、本人または家族が身近な場所で安心して相談できる窓口を設け、開設場所や利用方法などを広く周知する必要がある。

○ひきこもり支援は、本人の年齢やひきこもりの要因、現在の状況、本人の意向などにより支援策は多様である。相談員には、本人や家族が抱える課題を包括的に受け止め、適切な支援プランの作成や様々なソーシャルキャピタルをコーディネートできる専門性が必要である。

2 複数の機関による連携した支援の必要性

○ひきこもりの開始年齢は 10～20 代の方が多く、ひきこもり状態になったきっかけを若年の時期にもつ方が多い。過去に不登校を経験した方や、不登校をきっかけにひきこもり状態になった方もおり、学校卒業後にスクールソーシャルワーカー等の支援が途切れることで社会的に孤立することのないよう、卒業後も地域の支援機関等で支援を継続できる仕組みが必要である。

○ひきこもりに関する相談は、本人の年齢や状況によって、教育、福祉、保健、医療機関などが個別に応じているが、特定の支援機関だけで解決することは難しい。複合的な課題について、関連する複数の機関で連携し、支援していく必要がある。

3 本人の社会参加に向けた支援の充実

○普段自宅でよくしていることはインターネットが最も多く、利用している通信手段もインターネットや携帯電話を用いるものの割合が高い。窓口や電話、訪問による相談のほか、ICTを活用した有効な支援のあり方を検討する必要がある。

○ひきこもり状態から改善したきっかけは、就労が最も多く、趣味活動や健康への取り組みなど様々である。ひきこもりの長期化を防止するためには、本人の心身の状態に合わせた段階的・継続的な支援が不可欠であり、本人の社会復帰への関心を育みながら、次のステップへ移行できる仕組みが必要である。また、周囲とのコミュニケーションも主な改善のきっかけの一つであった。本人が悩みや不安を安心して話し、自己の存在や役割を感じられる場が必要である。

○大田区のひきこもり群は、過去に就労経験のある方が多く、自分に適した仕事に就くことへの期待を持ち、定職に就く必要性を感じている割合が高い。就労経験のある方については、適職とマッチングすることで状況の改善が期待できる。就労支援に当たっては、在宅での就労の紹介や就労に向けた訓練の実施、ボランティアの参加を促すなど、本人の状況や意向、適性に合った段階的な提案が必要である。

4 家族への支援の充実

○大田区のひきこもり群は、単身または二人暮らしが多く、同居者が少ない傾向にある。悩みを親や配偶者に相談する方が多いことから、本人の相談を受ける中で、家族が家庭内で現状に対する悩みや将来的な不安を抱えてしまう可能性も考えられる。家族の悩みや不安を軽減し、本人と良好な関係を維持するためにも、家族がひきこもりについて学び、情報交換できる機会が必要である。

○ひきこもりの方が家族をはじめ身近な人と信頼関係を築くことで、孤独感の緩和や自己肯定感が高まり、状況の改善が期待できる。家庭において、本人の悩みや不安に対して家族が寄り添い応援できるよう、家族がひきこもりの方への適切な対応について専門家に助言を求められる場が必要である。

5 調査票

5-1 本人票

管理番号

ご本人様用_調査票

調査の回答方法

回答は、【郵送】又は【電子申請】のどちらか1つをお選びください。

●郵送による回答方法

- (1) 本調査票3頁以降に記載の設問文をお読みいただき、あなたの考えに近い選択肢やあてはまる選択肢を選んで、直接回答を書き込んでください。
- (2) 同封している返信用封筒（切手不要）に、回答を記入した調査票のみを入れて、締切日**令和2年12月21日（月曜日）**までにポストに投函してください。折り曲げて構いません。同居されている方が回答された場合は、同居されている方の調査票も同じ返信用封筒に入れてご返送ください。

●電子申請による回答方法

パソコン、スマートフォンのいずれの方法でも、**申請者 ID とパスワードが必要です**。申請者 ID とパスワードは、同封している別紙をご覧ください。

セキュリティ確保のため、調査票画面を開いてから 60 分でアクセスが自動的に切れる仕組みになっております。回答を途中で中断する場合は、「一時保存」機能をご利用ください。また、一度申請しますと、修正ができませんので、ご注意ください。

(パソコン) ※ご利用の際は動作環境をご確認ください。

- (1) 下記 URL にアクセスしてください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1594602508613>

- (2) 利用規約をご確認のうえ、「利用規約に同意する」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。別紙の申請者 ID とパスワードを入力し、ログインしてください。
- (3) お送りした調査票と同じ内容の画面が開きますので、順番に設問に沿ってお答えください。
- (4) すべての回答が終わりましたら、「回答内容確認」ボタンをクリックすると、入力した内容が表示されます。確認が済みましたら、「回答する」ボタンをクリックしていただきますと、回答は終了です。
- (5) 右上の「ログアウト」ボタンで画面を閉じてください。

(スマートフォン) ※ご利用の際は動作環境をご確認ください。

(1) 下記に記載の QR コードを読み取ると、電子申請の画面が開きます。

スマートフォン版 QR コード



- (2) 利用規約をご確認のうえ、「利用規約に同意する」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。別紙の申請者 ID とパスワードを入力し、ログインしてください。
- (3) お送りした調査票と同じ内容の画面が開きますので、順番に設問に沿ってお答えください。
- (4) すべての回答が終わりましたら、「回答内容確認」ボタンをクリックすると、入力した内容が表示されます。確認が済みましたら、「回答する」ボタンをクリックしていただきますと、回答は終了です。
- (5) 右上の「ログアウト」ボタンで画面を閉じてください。

※通信に必要なパケット料は、利用者様の負担となります

※スマートフォンの「戻る」機能は使えません。

【Q1～Q14はすべての方がお答えください。】

Q1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

Q2 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 1 15～19歳 | 3 25～29歳 | 5 35～39歳 | 7 45～49歳 | 9 55～59歳 |
| 2 20～24歳 | 4 30～34歳 | 6 40～44歳 | 8 50～54歳 | 10 60～64歳 |

Q3 現在、あなたと同居している方に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------|--------|------------------|
| 1 配偶者 | 4 子 | 7 その他の人 |
| 2 父 | 5 兄弟姉妹 | 8 同居家族はいない(単身世帯) |
| 3 母 | 6 祖父母 | |

Q4 現在、同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。
(数字で具体的に)

人

Q5 あなたの家の生計を立てているのは、主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。
また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてきている人をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|---------|-----------|----------------|
| 1 あなた自身 | 5 兄弟姉妹 | 8 年金などを受けている |
| 2 配偶者 | 6 子 | 9 生活保護などを受けている |
| 3 父 | 7 他の家族や親戚 | 10 その他 |
| 4 母 | [具体的に:] | |

Q6 あなたの家の暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 上の上 | 4 中の上 | 7 下の上 |
| 2 上の中 | 5 中の中 | 8 下の中 |
| 3 上の下 | 6 中の下 | 9 下の下 |

Q7 あなたがお住まいの地域に、あてはまるものすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 <u>住宅地区である</u> | 6 <u>近所づきあいが多い</u> |
| 2 <u>商店やサービス業が多い地域である</u> | 7 <u>自治会や婦人会などの活動が盛んである</u> |
| 3 <u>工場の多い地域である</u> | 8 <u>お祭りや地域の行事が盛んである</u> |
| 4 <u>農・林・漁業が盛んな地域である</u> | 9 <u>あてはまるものはない</u> |
| 5 <u>長年この地域に住んでいる人が多い</u> | |

Q 8 これまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。
通院・入院したことがある病気に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 心臓や血管の病気 | 6 皮膚の病気 |
| 2 肺の病気 | 7 骨折・大ケガ |
| 3 胃や腸の病気 | 8 その他の病気 |
| 4 精神的な病気 | 9 あてはまるものはない |
| 5 目や耳の病気 | |

Q 9 あなたは現在、学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 現在、在学している | 3 中退した |
| 2 すでに卒業している | 4 休学中である |

Q10 あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。
(○はひとつだけ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 中学校 | 4 高等専門学校・短期大学 |
| 2 高等学校 | 5 大学・大学院 |
| 3 専門学校 | 6 その他 |

Q11 あなたは小学校や中学校の頃に、学校で次のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 友達とよく話した | 6 友達にいじめられた |
| 2 親友がいた | 7 いじめを見て見ぬふりをした |
| 3 不登校を経験した | 8 我慢をすることが多かった |
| 4 友達といるよりも一人で遊んでいる方が楽しかった | 9 勉強についていけなかった |
| 5 友達をいじめた | 10 先生との関係がうまくいかなかった |
| | 11 あてはまるものはない |

Q12 あなたは小学校や中学校の頃に、家庭で次のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1 親とは何でも話すことができた | 10 両親の関係がよくなかった |
| 2 親はしつけが厳しかった | 11 引越しや転校をした |
| 3 困ったときは、親は親身に助言してくれた | 12 大きな病気をした |
| 4 何でも自分一人で決めて、家族に相談することはなかった | 13 両親が離婚した |
| 5 将来の職業などを親に決められた | 14 親と死別した |
| 6 家族に相談しても、あまり役に立たなかった | 15 親から虐待を受けた |
| 7 親は学校の成績を重視していた | 16 親が過保護であった |
| 8 小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた | 17 親が過干渉であった |
| 9 親と自分との関係がよくなかった | 18 経済的に苦しい生活を送った |
| | 19 我慢をすることが多かった |
| | 20 あてはまるものはない |

Q13 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものにすべて○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 小学生時の不登校
- 2 中学生時の不登校
- 3 高校生時の不登校
- 4 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校
- 5 ニート（15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）
- 6 初めての就職から1年以内に離職・転職した
- 7 35歳以上での無職
- 8 あてはまるものはない

Q14 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1 勤めている（正社員）2 勤めている（契約社員、派遣社員またはパート、アルバイト（学生のアルバイトは除く））3 自営業・自由業4 学生（予備校生を含む） | <ol style="list-style-type: none">5 派遣社員などに登録しているが、現在は働いていない6 専業主婦・主夫7 家事手伝い8 無職9 その他
〔具体的に： 〕 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【Q14で「5～8」に○をつけた方のみ、Q15～Q17にお答えください。】

Q15 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1 正社員として働いたことがある | 3 自営業・自由業をしたことがある |
| 2 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある | 4 その他の形態で働いたことがある |
- 〔具体的に： 〕
- ある
- 5 いままで働いたことはない
- (学生時代の経験は含めません)

Q16 現在、就職または進学を希望していますか。(○はひとつだけ)

- 1 就職希望 2 進学希望 3 どちらも希望していない

Q17 現在、就職活動をしていますか。(○はひとつだけ)

- 1 している 2 していない

【Q18～Q21はすべての方がお答え下さい。】

Q18 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつの項目につき、ひとつ)

(1) 自分にふさわしい仕事がどこかにあると思う

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(2) まだ自分の夢を実現させる仕事に就けていないと思う

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(3) 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(4) 定職に就かない方が自由でいいと思う

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

Q19 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|----------|---------------|
| 1 テレビを見る | 7 仕事をする |
| 2 ラジオを聴く | 8 家事をする |
| 3 本を読む | 9 育児をする |
| 4 新聞を読む | 10 介護・看護をする |
| 5 ゲームをする | 11 インターネットをする |
| 6 勉強をする | 12 あてはまるものはない |

Q20 以下に挙げられた通信手段の中で、ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 1 固定電話 | 7 ウェブサイト (電子掲示板、ウェブログを含む) の閲覧・書き込み |
| 2 ファックス | 8 ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Facebook、mixi など) の閲覧・書き込み |
| 3 携帯電話での通話 (LINE 等のアプリによる通話を含む) | 9 ツイッター (Twitter) |
| 4 携帯電話でのメール | 10 オンライン・ゲーム |
| 5 パソコンでのメール | 11 あてはまるものはない |
| 6 チャット (LINE 等のアプリによるものを含む) またはメッセージ | |

次のページもお答えください

Q21 ふだんのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1 仕事や学校で平日は毎日外出する | 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する |
| 2 仕事や学校で週に3~4日外出する | 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける |
| 3 遊び等で頻繁に外出する | 7 自室からは出るが、家からは出ない |
| 4 人づきあいのためにときどき外出する | 8 自室からほとんど出ない |

10 ページのQ33へ

【Q21で「5~8」に○をつけた方のみ、Q22~Q30にお答えください。】

Q22 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 6ヶ月未満 | 5 3年~5年未満 | 9 15年~20年未満 |
| 2 6ヶ月~1年未満 | 6 5年~7年未満 | 10 20年~25年未満 |
| 3 1年~2年未満 | 7 7年~10年未満 | 11 25年~30年未満 |
| 4 2年~3年未満 | 8 10年~15年未満 | 12 30年以上 |

【Q22で「1~2」に○をつけた方のみ、Q23にお答えください。】

Q23 おおよその時期を記入してください。(数字で具体的に)

月頃

Q24 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

歳

Q25 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしましたか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 よく会話をした | 3 ほとんど会話しなかった |
| 2 ときどき会話をした | 4 まったく会話しなかった |

Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 小学生時の不登校 | 10 妊娠したこと |
| 2 中学生時の不登校 | 11 退職したこと |
| 3 高校生時の不登校 | 12 介護・看護を担うことになったこと |
| 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校 | 13 新型コロナウイルスに関すること
[具体的に:] |
| 5 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 14 特にない |
| 6 就職活動がうまくいかなかったこと | 15 分からない |
| 7 職場になじめなかったこと | 16 その他
[具体的に:] |
| 8 人間関係がうまくいかなかったこと | |
| 9 病気 [病名:] | |

Q27 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

- 1 非常に思う 2 思う 3 少し思う 4 思わない

Q28 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1 親身に聴いてくれる | 7 無料で相談できる |
| 2 医学的な助言をくれる | 8 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体 (NPO など) である |
| 3 心理学の専門家がいる | 9 自宅に専門家が来てくれる |
| 4 精神科医がいる | 10 自宅から近い |
| 5 同じ悩みを持つ人と出会える | 11 あてはまるものはない |
| 6 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる | 12 どのような機関にも相談したくない |

Q30 へ

Q29 へ

【Q28で「12」に○をつけた方のみ、Q29にお答えください。】

Q29 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 自分のことを知られたくない | 7 相談機関が近くにない |
| 2 行っても解決できないと思う | 8 その他 |
| 3 何をきかれるか不安に思う | [具体的に:] |
| 4 相手にうまく話せないと思う | 9 特に理由はない |
| 5 行ったことを人に知られたくない | |
| 6 お金がかかると思う | |

次のページもお答えください

Q30 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

1 ある

2 ない



11 ページの Q38 へ

【Q30 で「1」に○をつけた方のみ、Q31～Q32 にお答えください。】

Q31 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 <u>生活福祉課、福祉事務所</u> | 10 <u>教育センター・教育相談室</u> |
| 2 <u>職業安定所(ハローワーク)、ジョブカフェ、地域若者サポートステーションなどの就労支援機関</u> | 11 <u>子ども・若者総合相談センター</u> |
| 3 <u>保健所、地域健康課、保健センター</u> | 12 <u>地域包括支援センター</u> |
| 4 <u>精神保健福祉センター</u> | 13 <u>JOBOTA(ジョボタ)、生活困窮者向けの相談窓口</u> |
| 5 <u>病院、診療所</u> | 14 <u>社会福祉協議会</u> |
| 6 <u>発達障害者支援センター</u> | 15 <u>当事者の会、家族会</u> |
| 7 <u>ひきこもり地域支援センター</u> | 16 <u>上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)</u> |
| 8 <u>適応指導教室</u> | 17 <u>その他の施設・機関</u> |
| 9 <u>子ども家庭支援センター・児童相談所</u> | [具体的に：] |

Q32 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。

ご自由にお書きください。



11 ページの Q38 へ

次のページもお答えください

【Q21で「1～4」に○をつけた方のみ、Q33にお答えください。】

Q33 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。

(○はひとつだけ)

1	<u>ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事</u> のときだけ外出する	5	<u>1～4のような状態に6か月以上連続して</u> なったことはない
2	<u>ふだんは家にいるが、近所のコンビニ</u> などには出かける		
3	<u>自室からは出るが、家からは出ない</u>		
4	<u>自室からほとんど出ない</u>		

次ページのQ38へ

【Q33で「1～4」に○をつけた方のみ、Q34～Q37にお答えください。】

Q34 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

1	6ヶ月～1年未満	5	5年～7年未満	9	20年～25年未満
2	1年～2年未満	6	7年～10年未満	10	25年～30年未満
3	2年～3年未満	7	10年～15年未満	11	30年以上
4	3年～5年未満	8	15年～20年未満		

Q35 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

歳

Q36 その状態になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

1	<u>小学生時の不登校</u>	9	<u>病気</u>
2	<u>中学生時の不登校</u>		[病名：]
3	<u>高校生時の不登校</u>	10	<u>妊娠したこと</u>
4	<u>大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校</u>	11	<u>退職したこと</u>
5	<u>受験に失敗したこと(高校・大学等)</u>	12	<u>介護・看護を担うことになったこと</u>
6	<u>就職活動がうまくいかなかったこと</u>	13	<u>新型コロナウイルスに関すること</u>
7	<u>職場になじめなかったこと</u>		[具体的に：]
8	<u>人間関係がうまくいかなかったこと</u>	14	<u>その他</u>
			[具体的に：]

Q37 その状態から、Q21で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思えますか。ご自由にお書きください。

【Q38 以降の質問はすべての方がお答えください。】

Q38 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまるものに○をつけてください。

(○は各項目につき、ひとつ)

- (1) 自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺(どうよう)する
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (2) 人というと、馬鹿にされたり軽く扱われたりはしないかと不安になる
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (3) 周りの人に自分が変な人に思われているのではないかと不安になる
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (4) 他人から間違いや欠点を指摘されると、憂うつな気分が続く
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (5) 大事なことを決めるときは、家族や目上の人の言うことに従わないと不安だ
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (6) 大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (7) 初対面の人とすぐに会話できる自信がある
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (8) 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (9) 自分の感情を表に出すのが苦手だ
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (10) 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (11) たとえ親であっても、自分のやりたいことに口出ししないで欲しい
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ
- (12) 自分の生活のことで、人から干渉されたくない
1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

次ページに続きます

前ページからの続きです

(13) 家や自室に閉じこもっていて、外に出ない人たちの気持ちがわかる

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(14) 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(15) 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(16) 理由があるなら、家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

Q39 次に挙げられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 <u>家族に申しわけないと思うことが多い</u> | 14 <u>壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしま</u> |
| 2 <u>生きるのが苦しいと感じることがある</u> | <u>うことがある</u> |
| 3 <u>死んでしまいたいと思うことがある</u> | 15 <u>食器などを投げて壊すことがある</u> |
| 4 <u>絶望的な気分になることがよくある</u> | 16 <u>大声を上げて怒鳴り散らすことがある</u> |
| 5 <u>人に会うのが怖いと感じる</u> | 17 <u>リストカットなどの自傷行為をしてし</u> |
| 6 <u>知り合いに会うことを考えると不安になる</u> | <u>まうことがある</u> |
| 7 <u>他人が自分をどのように思っているのかとて</u> | 18 <u>アルコールを飲まずにいられないこと</u> |
| <u>も不安になる</u> | <u>がある</u> |
| 8 <u>集団の中に溶け込めない</u> | 19 <u>何らかの薬を飲まずにはいられないこ</u> |
| 9 <u>つまらないことを繰り返し確かめてしまう</u> | <u>とがある</u> |
| 10 <u>同じ行動を何度も繰り返してしまう</u> | 20 <u>パソコンや携帯電話がないと一時も落</u> |
| 11 <u>食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なる</u> | <u>ち着かない</u> |
| <u>と我慢できない</u> | 21 <u>あてはまるものはない</u> |
| 12 <u>自分の身体が清潔かどうか常に気になる</u> | 22 <u>その他</u> |
| 13 <u>家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことが</u> | [具体的に:] |
| <u>ある</u> | |

次のページもお答えください

Q40 次に挙げられたことについて、あなた自身にあてはまるものに○をつけてください。

(○は各項目につき、ひとつ)

(1) 身の回りのことは家族がしている

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(2) 食事や掃除は家族がしている

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(3) 朝、決まった時間に起きられる

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(4) 深夜まで起きていることが多い

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(5) 昼夜逆転の生活をしている

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(6) 新聞の政治や経済・社会報道によく目を通す

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(7) 自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(8) 誰とも口を利かずに過ごす日が多い

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(9) 人と会話をするのはわずらわしい

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(10) 過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(11) 自分の精神状態は健康ではないと思う

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

(12) 自分の今の状態について考えることがよくある

1 はい 2 どちらかといえば、はい 3 どちらかといえば、いいえ 4 いいえ

次のページもお答えください

Q41 次に挙げられたことの中で、あなたのご家族にあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 私の家族は温かい | 4 家族から十分に愛されていると思う |
| 2 家族とはよく話をしている | 5 あてはまるものはない |
| 3 私たち家族は、仲がよいと思う | |

Q42 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思えますか。(○はひとつだけ)

- | | | | |
|---------|------|--------|--------|
| 1 非常に思う | 2 思う | 3 少し思う | 4 思わない |
|---------|------|--------|--------|

Q43 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 親 | 7 カウンセラー、精神科医 |
| 2 兄弟姉妹 | 8 都道府県、市町村などの専門機関の人 |
| 3 友人、知人 | 9 ネット上の知り合い |
| 4 配偶者 | 10 その他の人 |
| 5 祖父母 | [具体的に：] |
| 6 職場の同僚、上司 | 11 誰にも相談しない |

Q44 現在の状態について、どのような支援が必要と感じますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 気軽に相談できる窓口 | 6 医療機関の紹介 |
| 2 悩みを話し合い、集える場 | 7 自宅への訪問 |
| 3 生活の支援 | 8 その他 |
| 4 社会体験の場 | [具体的に：] |
| 5 福祉サービスの申請支援 | |

Q45 現在、大田区では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

Q46 現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。ご自由にお書きください。

【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。】

5-2 同居人票

管理番号

同居されている方用_調査票

調査の回答方法

回答は、【郵送】又は【電子申請】のどちらか1つをお選びください。

●郵送による回答方法

- (1) 調査票3頁以降に記載の設問文をお読みいただき、あなたの考えに近い選択肢やあてはまる選択肢を選んで、直接回答を書き込んでください。
- (2) 同封している返信用封筒（切手不要）に回答を記入した調査票のみを入れて、締切日**令和2年12月21日（月曜日）**までにポストに投函してください。折り曲げて構いません。ご本人様が回答された場合は、ご本人様の調査票も同じ返信用封筒に入れてご返送ください。

●電子申請による回答方法

パソコン、スマートフォンのいずれの方法でも、申請者IDとパスワードが必要です。申請者IDとパスワードは、同封している別紙をご覧ください。

セキュリティ確保のため、調査票の画面を開いてから60分でアクセスが自動的に切れる仕組みになっております。途中で中断する場合は、「一時保存」機能をご利用ください。また、一度申請しますと、修正ができませんので、ご注意ください。

(パソコン) ※ご利用の際は動作環境をご確認ください。

- (1) 下記URLにアクセスしてください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1594860621663>

- (2) 利用規約をご確認のうえ、「利用規約に同意する」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。別紙の申請者IDとパスワードを入力し、ログインしてください。
- (3) お送りした調査票と同じ内容の画面が開きますので、順番に設問に沿ってお答えください。
- (4) すべての回答が終わりましたら、「回答内容確認」ボタンをクリックすると、入力した内容が表示されます。確認が済みましたら、「回答する」ボタンをクリックしていただきますと、回答は終了です。
- (5) 右上の「ログアウト」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

(スマートフォン) ※ご利用の際は動作環境をご確認ください。

(1) 下記に記載の QR コードを読み取ると、電子申請の画面が開きます。

スマートフォン版 QR コード



(2) 利用規約をご確認のうえ、「利用規約に同意する」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。別紙の申請者 ID とパスワードを入力し、ログインしてください。

(3) お送りした調査票と同じ内容の画面が開きますので、順番に設問に沿ってお答えください。

(4) すべての回答が終わりましたら、「回答内容確認」ボタンをクリックすると、入力した内容が表示されます。確認が済みましたら、「回答する」ボタンをクリックしていただきますと、回答は終了です。

(5) 右上の「ログアウト」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

※通信に必要なパケット料は、利用者様の負担となります。

※スマートフォンの「戻る」機能は使えません。

【Q1～Q9はすべての方がお答えください。】

※ここでいう「調査対象の方」とは、封筒の宛て名の方です。質問文に「調査対象の方」とあるものは、封筒の宛て名の方のことに、お答えください

Q1 調査対象の方の性別をお答えください。(○はひとつだけ)

- 1 男性 2 女性 3 その他

Q2 調査対象の方の年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

- 1 15歳～19歳 3 25歳～29歳 5 35歳～39歳 7 45歳～49歳 9 55歳～59歳
2 20歳～24歳 4 30歳～34歳 6 40歳～44歳 8 50歳～54歳 10 60歳～64歳

Q3 現在、調査対象の方と同居している方について、調査対象の方から見て該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 父 4 祖父母 7 その他の人
2 母 5 配偶者 8 同居家族はいない(単身世帯)
3 兄弟姉妹 6 子

Q4 現在、同居している人は合計で何人ですか。調査対象の方も含めた人数を記入してください。
(数字で具体的に)

人

Q5 調査対象の方の家の生計を立てているのは、主に調査対象の方から見てどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、調査対象の方が、主に仕送りで生計を立てている場合は、その仕送りを主にしてあげている人をお答えください。(○はひとつだけ)

- 1 調査対象の方自身 5 兄弟姉妹 9 生活保護などを受けている
2 父 6 子 10 その他
3 母 7 他の家族や親戚 [具体的に:]
4 配偶者 8 年金などを受けている

Q6 調査対象の方は現在、学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

- 1 現在、在学している 3 中退した
2 すでに卒業している 4 休学中である

Q 7 調査対象の方が最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。（○はひとつだけ）

- | | |
|--------|---------------|
| 1 中学校 | 4 高等専門学校・短期大学 |
| 2 高等学校 | 5 大学・大学院 |
| 3 専門学校 | 6 その他 |

Q 8 調査対象の方の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。（○はひとつだけ）

- | | |
|---------------------------------------------|----------------------------|
| 1 勤めている（正社員） | 5 派遣社員などに登録しているが、現在は働いていない |
| 2 勤めている（契約社員、派遣社員またはパート、アルバイト（学生のアルバイトは除く）） | 6 専業主婦・主夫 |
| 3 自営業・自由業 | 7 家事手伝い |
| 4 学生（予備校生を含む） | 8 無職 |
| | 9 その他 |
| | [具体的に：] |

Q 9 調査対象の方は、ふだんどのくらい外出しますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------------------------|----------------------------------------|
| 1 <u>仕事や学校で平日は毎日外出する</u> | 5 <u>ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する</u> |
| 2 <u>仕事や学校で週に3～4日外出する</u> | 6 <u>ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける</u> |
| 3 <u>遊び等で頻繁に外出する</u> | 7 <u>自室からは出るが、家からは出ない</u> |
| 4 <u>人づきあいのためにときどき外出する</u> | 8 <u>自室からほとんど出ない</u> |

6 ページのQ19へ

【Q 9で「5～8」に○をつけた方のみ、Q10～Q17にお答えください。】

Q10 調査対象の方が、現在の状態となってどのくらい経ちますか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 6ヶ月未満 | 5 3年～5年未満 | 9 15年～20年未満 |
| 2 6ヶ月～1年未満 | 6 5年～7年未満 | 10 20年～25年未満 |
| 3 1年～2年未満 | 7 7年～10年未満 | 11 25年～30年未満 |
| 4 2年～3年未満 | 8 10年～15年未満 | 12 30年以上 |

【Q10で「1～2」に○をつけた方のみ、Q11にお答えください。】

Q11 おおよその時期を記入してください。（数字で具体的に）

月頃から

Q12 初めて現在の状態になったのは、調査対象の方が何歳の頃ですか。（数字で具体的に）

歳

次のページもお答えください

Q13 調査対象の方が現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 小学生時の不登校 | 10 妊娠したこと |
| 2 中学生時の不登校 | 11 退職したこと |
| 3 高校生時の不登校 | 12 介護・看護を担うことになったこと |
| 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校 | 13 新型コロナウイルスに関すること
〔具体的に: 〕 |
| 5 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 14 特にない |
| 6 就職活動がうまくいかなかったこと | 15 分からない |
| 7 職場になじめなかったこと | 16 その他 |
| 8 人間関係がうまくいかなかったこと | 〔具体的に: 〕 |
| 9 病気〔病名: 〕 | |

Q14 現在の状態について、調査対象の方が関係機関に相談したことはありますか。

(〇はひとつだけ)



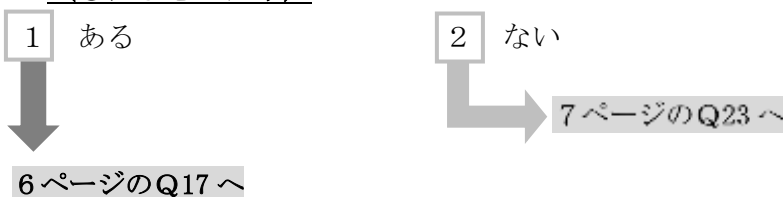
【Q14で「1」に〇をつけた方のみ、Q15にお答えください。】

Q15 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------------------|------------------------------|
| 1 生活福祉課、福祉事務所 | 10 教育センター・教育相談室 |
| 2 職業安定所(ハローワーク)、ジョブカフェ、地域若者サポートステーションなどの就労支援機関 | 11 子ども・若者総合相談センター |
| 3 保健所、地域健康課、保健センター | 12 地域包括支援センター |
| 4 精神保健福祉センター | 13 JOBOTA(ジョボタ)、生活困窮者向けの相談窓口 |
| 5 病院、診療所 | 14 社会福祉協議会 |
| 6 発達障害者支援センター | 15 当事者の会、家族会 |
| 7 ひきこもり地域支援センター | 16 上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等) |
| 8 適応指導教室 | 17 その他の施設・機関 |
| 9 子ども家庭支援センター・児童相談所 | 〔具体的に: 〕 |

Q16 現在の状態について、調査対象者と同居されている方が関係機関に相談したことはありますか。

(〇はひとつだけ)



【Q16で「1」に○をつけた方のみ、Q17～Q18にお答えください。】

Q17 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。
(○はいくつでも)

1 <u>生活福祉課、福祉事務所</u>	10 <u>教育センター・教育相談室</u>
2 <u>職業安定所（ハローワーク）、ジョブ カフェ、地域若者サポートステーショ ンなどの就労支援機関</u>	11 <u>子ども・若者総合相談センター</u>
3 <u>保健所、地域健康課、保健センター</u>	12 <u>地域包括支援センター</u>
4 <u>精神保健福祉センター</u>	13 <u>JOBOTA（ジョボタ）、生活困窮者 向けの相談窓口</u>
5 <u>病院、診療所</u>	14 <u>社会福祉協議会</u>
6 <u>発達障害者支援センター</u>	15 <u>当事者の会、家族会</u>
7 <u>ひきこもり地域支援センター</u>	16 <u>上記以外の民間の相談機関・支援機関 (NPO等)</u>
8 <u>適応指導教室</u>	17 <u>その他の施設・機関</u>
9 <u>子ども家庭支援センター・児童相談所</u>	[具体的に：]

Q18 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。
ご自由にお書きください。

7ページのQ23へ

【Q9で「1～4」に○をつけた方のみ、Q19にお答えください。】

Q19 調査対象の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。
(○はひとつだけ)

1 <u>ふだんは家にいるが、自分の趣味に関 する用事の時だけ外出する</u>	5 <u>1～4のような状態に6か月以上連続し てなったことはない</u>
2 <u>ふだんは家にいるが、近所のコンビニ などには出かける</u>	
3 <u>自室からは出るが、家からは出ない</u>	
4 <u>自室からほとんど出ない</u>	

次ページのQ20へ

次ページのQ23へ

【Q19で「1～4」に○をつけた方のみ、Q20～Q22にお答えください。】

Q20 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

1 6ヶ月～1年未満	5 5年～7年未満	9 20年～25年未満
2 1年～2年未満	6 7年～10年未満	10 25年～30年未満
3 2年～3年未満	7 10年～15年未満	11 30年以上
4 3年～5年未満	8 15年～20年未満	

Q21 初めてその状態になったのは、調査対象の方が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

歳

Q22 調査対象の方がその状態になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

1 小学生時の不登校	9 病気
2 中学生時の不登校	[病名:]
3 高校生時の不登校	10 妊娠したこと
4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	11 退職したこと
5 受験に失敗したこと(高校・大学等)	12 介護・看護を担うことになったこと
6 就職活動がうまくいかなかったこと	13 新型コロナウイルスに関すること
7 職場になじめなかったこと	[具体的に:]
8 人間関係がうまくいかなかったこと	14 その他
	[具体的に:]

【Q23以降の質問はすべての方がお答えください。】

Q23 調査対象の方の現在の状態について、どのような支援が必要と感じますか。

(○はいくつでも)

1 気軽に相談できる窓口	6 医療機関の紹介
2 悩みを話し合い、集える場	7 自宅への訪問
3 生活の支援	8 その他
4 社会体験の場	[具体的に:]
5 福祉サービスの申請支援	

Q24 現在、大田区では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

Q25 調査対象の方に関して、現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。
ご自由にお書きください。

【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。】